

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021101001
開設科目名	学校教育総合研究 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	未 定			区分	
授業の概要					
わが国の学校教育の諸問題を教育学、特別支援教育、幼児教育の各分野から総合的に考察し、今後の課題について検討する。					
授業の一般目標					
(1) 教育哲学、教育史、教育方法学、教育社会学、教育制度、社会教育についての概要と課題を理解する。					
(2) 特別支援教育についての概要と課題を理解する。					
(3) 幼児教育についての概要と課題を理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1. 教育哲学、教育史、教育方法学、教育社会学、教育制度、社会教育、特別支援教育、幼児教育についての概要と課題が理解できる。					
思考・判断の観点: 1. 各専門分野の学習を通して、学校教育に対する思考力や判断力を高めることができる。					
関心・意欲の観点: 1. 各専門分野の学習を通して、学校教育に対する関心や意欲を高めることができる。					
態度の観点: 1. 日常生活の中で学校教育の諸問題について主体的に考えることができる。					
成績評価方法(総合)					
各授業担当の教員が評価したものを総合して平均値を出す。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
授業には欠席しないようにして下さい。					
連絡先					
各授業担当の教員					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021101002
開設科目名	学校教育総合研究 I (特別支援教育)			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	松田 信夫			区分	
授業の概要					
<p>わが国の特別支援教育の諸問題について、学校教育全般を視野におきつつ、現代の教育動向を踏まえながら総合的に考察する。特に、特別支援学校並びに小学校・中学校の特別支援学級及び一般学級に在籍する知的障害児と肢体不自由児を中心とした教育的対応のあり方について、教育史、教育課程、教育方法、教育行政等の教育学的観点より講義する。学校教育現場等における具体的な指導事例や取り組みの内容について視聴覚機器等で紹介し、理論と実践の融合をはかる。</p>					
授業の一般目標					
<p>特別支援教育の基本原則である「個に応じた教育的対応」について、教育学的立場からの実践的知識を獲得し、さらに実践事例との融合をはかることで、知的障害児と肢体不自由児を中心とした教育をめぐる現状と課題を総合的に理解する。</p>					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1. 特別支援教育についての概要と課題が理解できる。					
思考・判断の観点: 1. 専門分野の学習を通して、特別支援教育に対する思考力や判断力を高めることができる。					
関心・意欲の観点: 1. 専門分野の学習を通して、特別支援教育に対する関心や意欲を高めることができる。					
態度の観点: 1. 日常生活の中で特別支援教育の諸問題について主体的に考えることができる。					
成績評価方法(総合)					
レポートによる評価を中心とする。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021101003
開設科目名	教育哲学特論			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	西村 正登			区分	
授業の概要					
<p>シュプランガーの教育哲学を基盤にした教員養成論について学ぶ。シュプランガーは20世紀のドイツを代表する哲学者・教育学者であるが、1920年に公開された彼の『教員養成論』は、その後のドイツ教員養成に賛否両論を含む大きな波紋を投げかけた。この授業では、シュプランガーの教員養成論や学校改革論を解釈しながら、第一次世界大戦やワイマール共和国というドイツの時代背景の中で、その理論がどのように形成されていったかについて学び、考察する。</p>					
授業の一般目標					
<ol style="list-style-type: none"> 1. シュプランガーの教員養成論の内容が理解できる。 2. シュプランガーの教員養成論の形成過程が理解できる。 3. シュプランガーの学校改革論の内容が理解できる。 4. シュプランガーの教員養成論に関する先行研究が理解できる。 5. シュプランガーの生涯が理解できる。 					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点:1. シュプランガーの教員養成論の内容が説明できる。 2. シュプランガーの教員養成論の形成過程が説明できる。 3. シュプランガーの学校改革論の内容が説明できる。 4. シュプランガーの教員養成論に関する先行研究が説明できる。 5. シュプランガーの生涯が説明できる。</p> <p>思考・判断の観点:1. シュプランガーの教員養成論が、プロイセン文部省やドイツ教員連盟・ライプチヒ教員連盟との係の中で、どのように形成されていったかについて考察する。 2. シュプランガーの教員養成論が、第一次世界大戦やワイマール共和国という時代背景の中で、どのように形成されていったかについて考察する。</p> <p>関心・意欲の観点:1. シュプランガーの教員養成論への理解を深めることによって、教員養成や教育実習への関心や意欲を高めることができる。 2. シュプランガーの学校改革論への理解を深めることによって、学校改革への関心や意欲を高めることができる。</p> <p>態度の観点:1. シュプランガーの教員養成論への理解を深めることによって、教員養成や教育実習への積極的な態度を形成することができる。 2. シュプランガーの学校改革論への理解を深めることによって、学校改革への積極的な態度を形成することができる。</p> <p>技能・表現の観点:1. シュプランガーの教員養成論を、教育実習や学校での教育に活用して実践することができる。</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>毎時間、受講者が作成してくるレジュメと発表時のプレゼンテーションに、授業への出席状況を加味して評価する。定期試験は行わない。</p>					
教科書					
シュプランガーの教員養成論と教師教育の課題／西村正登:風間書房, 2008					
参考書					
メッセージ					
シュプランガーの教育哲学を基盤にした教員養成論と学校改革論を、第一次世界大戦やワイマール共和国という時代背景の中で、生き活きと理解するようにして下さい。					
連絡先					
<p>教育学部・教育哲学研究室 内線:5450 メールアドレス:masaton@yamaguchi-u.ac.jp</p>					
オフィスアワー					
金曜日 12時～12時50分					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021101004
開設科目名	教育史特論			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	福田 修			区分	
授業の概要					
古代から現代までを視野におき、日本の現代教育の諸問題との関連を踏まえ、特に近代の教育の歴史的展開を考える。文献講読。					
授業の一般目標					
日本の教育の歴史的構造・展開を理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 日本の教育の歴史的構造・展開が説明できる。					
思考・判断の観点: 授業で取り上げた問題について、自分の考えをわかりやすく論理的に説明できる。					
関心・意欲の観点: 教育問題を歴史的に考察しようとする。					
態度の観点: 教育について継続的に考え議論を積み上げることができる。					
成績評価方法(総合)					
毎回の発表内容を評価する。欠席回数が授業実施回数の3分の1以上に及んだ場合は単位は認められない。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021101005
開設科目名	教育メディア特論			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	林 徳治			区分	
授業の概要					
<p>授業における学習者・教師間における教育的コミュニケーション活動(含メディア)の改善をめざした手法を演習を通して学び、PDCAサイクル(Plan-DO,Check-Action)による授業改善について探究する。具体的な項目は以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.教育メディアの特性を知り効果的な教材作成ができる 2.教育的コミュニケーション能力向上に必要な要素の手法(方法・実施・評価)を知る 3.主体的な学習参画型授業の設計・実施・評価ができる。 					
授業の一般目標					
<p>教授・学習過程(授業)において、教授者・学習者間での相互理解を深めるコミュニケーション活動を重視した授業設計や評価方法について習得する。また、コミュニケーション能力の向上につながる各種手法について演習を通して習得し、授業設計・実施・評価による授業技術の改善ができる。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 教授・学習過程(授業)における教育的コミュニケーションの定義 教育的コミュニケーション能力の向上のための基本的な要素の分析および手法 教育的コミュニケーション能力の評価</p> <p>思考・判断の観点: 論理的、批判的な思考力と判断力 妥協、受容能力 オーディエンス(聴き手)能力 強制連結法などによる知識の外化 プレゼンテーション能力 情報モラルなど道徳性</p> <p>関心・意欲の観点: コミュニケーション活動の向上を図る手法を取り入れた授業設計 学習者の主体的参画授業の設計・実施・評価</p> <p>態度の観点: 自発的、独創的に取り組む姿勢 グループワーキングを通じた協調性 グループワーキングにおける役割の実施、責任</p> <p>技能・表現の観点: メディア利用によるプレゼンテーションの計画・実施・評価を通しての実践力 レポート作成</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>受講者個々の評価(課題レポート)、およびグループ全体(グループレポート、プレゼン)としての評価を総合的に行う。</p>					
教科書					
<p>必携! 相互理解を深めるコミュニケーション実践学/林徳治・沖裕貴:ぎょうせい</p>					
参考書					
<p>情報社会を生き抜くプレゼンテーション技術/林徳治:ぎょうせい 情報教育の理論と実践/林徳治・宮田仁:実教出版</p>					
メッセージ					
<p>Learning by Doing「体験して学ぶ」を重視します。 学習者が主体的に参画する授業をめざしています。 したがって教員は、新規知識の教授、手続き、支援を行います。 総合的な評価ではなく、レポートなど学習者ポートフォリオによる形成的な評価を重視し、自らの変容を自己診断して評価することを重視しています。 本授業では、コンピュータスキルは重視していません。パワーポイントによる教材作成は多くの受講生がプレゼンで利用しますが、メディアはコミュニケーションの一つのツールとして考えています。授業がうまく先生すべてがパワーポイントを利用していません。板書、印刷物もメディアです。 本授業で得た知識や技能を、実際の授業に活かし授業技術の改善に結びつけてください。</p>					
連絡先					
<p>hayashi@ic.ritsumeai.ac.jp</p>					

オフィスアワー

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021101006
開設科目名	教育制度特論			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	佐々木 司			区分	
授業の概要					
教育制度について、毎回指定文献(和文・英文)をすべての参加者が読んできて議論する。主にアメリカと日本の学校を取り扱う。					
授業の一般目標					
教育制度の諸課題を把握し、それを踏まえた上で自分なりの教育制度改革案を作成・発表する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
各種レポート、受講者の発表を総合して評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
授業の詳細については、第1回目の授業(オリエンテーション)で詳しく伝える。相当量の予習を前提としている。					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021101007
開設科目名	国際理解教育特論			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	石井 由理			区分	
授業の概要					
国際理解教育の用語、歴史、理念、含まれる事項、実践事例等について講義する。 文献やビデオ、エクササイズを用いて受講者が批判的思考ができるように支援する。					
授業の一般目標					
国際理解教育の理念や誕生の背景、現状について知る。 メディアが伝える他文化に関する情報に対して、批判的な視点をもって判断ができる。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 国際理解教育についての知識を広げる。 国際理解教育の複雑さについて理解する。 地球システムの中にいる自分を認識する。					
思考・判断の観点: 国際理解教育について自分の意見をもつことができる。 批判的思考ができる。					
関心・意欲の観点: 国際理解教育の視点をもって自分の生活スタイルに関心をもってみつめなおす。 授業で紹介された事例以外にも自分で関心のある分野を発展的に研究する。					
態度の観点: ユネスコの提唱する「平和の文化」に参加しようとする態度をもつ。					
技能・表現の観点: 討議に参加し、自分の意見を論理的に述べるができる。 自分の関心のあるテーマを見つけ、調査し、レポートにまとめることができる。					
成績評価方法(総合)					
学期中のレポートによる					
教科書					
参考書					
国際理解教育／永井滋郎:第一学習社, 1989 イギリスのグローバル教育／木村一子:勁草書房, 2001 異文化コミュニケーション教育／青木順子:溪水社, 1999 ハリウッド 100 年のアラブ／村上由見子:朝日新聞社, 2007 日本人の境界／小熊英二:新曜社, 1999					
メッセージ					
連絡先					
教育学部200-1研究室					
オフィスアワー					
初回授業時ご指示。					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021101008
開設科目名	特別支援教育特論			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	松田 信夫			区分	
授業の概要					
特別支援学校並びに小学校・中学校の特別支援学級に在籍する知的障害児と肢体不自由児を中心とした教育の意義、教育史、制度、教育課程等について、その今日的課題と今後の展望を含めつつ講義する。学校教育現場等での具体的な指導事例や取り組みの内容について視聴覚機器等で紹介しつつ、理論と実践の高度な融合をはかる。					
授業の一般目標					
実践事例との融合をはかることで、知的障害児と肢体不自由児を中心とした教育における現状と課題についての実践的知識を獲得させ、特別な支援を必要とする児童生徒への教育、福祉、雇用等をめぐる現状と課題を総合的に理解させる。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1. 特別支援教育の概念、歴史、教育課程の現状と課題等を説明できる。 2. 特別支援教育の基本原則である「個に応じた指導」の具体と課題を説明できる。					
思考・判断の観点: 1. 特別支援教育における歴史と現状をふまえて、課題を解決に導く具体的方策を指摘できる。					
関心・意欲の観点: 1. 障害児の生涯を見通した教育のあり方を考察し、学校教育段階における望ましい指導の具体的内容を探求する態度を身につける。					
成績評価方法(総合)					
(1) 教育の意義・理念・方法等を中心とした講義と文献講読を交互に繰り返す形式で進める。討議(協議)への積極的な参画が評価の重要な要素である。(2) 特別な理由なく、出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021101009
開設科目名	特別支援教育指導法特論			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	松田 信夫			区分	
授業の概要					
特別支援学校並びに小学校・中学校の特別支援学級に在籍する知的障害児と肢体不自由児を中心とした指導の実際について、実践事例をもとに検討し、個に応じた指導の望ましいあり方について、その今日的課題と今後の展望を含めつつ講義する。なお、指導事例や取り組みの内容については視聴覚機器等で具体的に紹介しつつ、理論と実践との高度な融合をはかる。					
授業の一般目標					
知的障害児に対する言語指導の理論的背景と実践事例について理解させ、知的障害児と肢体不自由児に対する授業の分析と個別の指導計画、LD等のある児童生徒への教育的支援も含めつつ、指導における現状と課題についての実践的知識を獲得させる。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1. 特別支援教育における学習指導の基本原則である「個に応じた指導」の実施に関する現状と課題について具体的に説明できる。					
思考・判断の観点: 1. 特別支援教育における歴史をふまえて、現状と課題を具体的に説明できる。					
関心・意欲の観点: 1. 特別支援教育の指導事例を分析することにより、知的障害児、自閉症児等への望ましい指導のあり方を具体的に探求する態度を身につける。					
成績評価方法(総合)					
(1)主に指導法に関する講義に文献講読も適宜加える形式で進める。討議(協議)への積極的な参画が評価の重要な要素である。(2)特別な理由なく、出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021101010
開設科目名	特別支援教育心理学特論 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	松岡 勝彦			区分	
授業の概要					
知的障害、自閉性障害、LD、ADHD、アスペルガー障害等(肢体不自由を含む)の児童生徒への支援方法を習得すること、教育、家庭(地域)等の現場でいかに応用されているのかを知ること、これらを踏まえ、受講生が上記のような現場において適切な支援ができるための基礎力を身につけることを目標とする。					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021101011
開設科目名	特別支援教育心理学特論II			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	吉田 一成			区分	
授業の概要					
自閉症を中心として障害児の心理特性と支援の具体に関する先行研究について論考する。					
授業の一般目標					
1. 臨床心理学の視点から発達障害児やその家族に対する支援を論究できるか					
2. 教育・医療・福祉・労働等が連携した障害児支援と心理臨床との関係性を理解できるか					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021101012
開設科目名	幼児教育方法特論			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	未 定			区分	
授業の概要					
幼児教育の歴史から、保育の思想や方法について概観するとともに、実践事例より現在の保育の営みについて理解を深めていく。					
授業の一般目標					
幼児教育の歴史、保育思想や方法についての理解を深め、保育の営みについて自分なりのイメージを整理する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席、授業への関心・意欲、及び、レポートをもとに総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021101013
開設科目名	幼児臨床心理特論			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	白石 敏行			区分	
授業の概要					
幼児期におけるカウンセリングマインドの必要性およびその意義について講義する。					
授業の一般目標					
幼児教育(学校教育)におけるカウンセリングマインドの必要性について理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 幼児期の保育臨床に関する諸課題を説明することができる。					
関心・意欲の観点: 他者との討議に積極的に参加することができる。					
成績評価方法(総合)					
出席、授業への参加、および学期末のレポートをもとに総合的に評価する。 特別な事情を除き、3回以上欠席した場合には、評価対象外とする。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
保育臨床に興味・関心のある方の受講を望みます。					
連絡先					
研究室:教育学部4階 404室 電話・ファックス:083-933-5330 メールアドレス:t-shira@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
随時					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021101014
開設科目名	保育内容特論			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	越中 康治			区分	
授業の概要					
各自の興味・関心に基づき、保育内容、幼児教育、幼児心理等に関する文献の講読を行う。					
授業の一般目標					
各自の興味・関心に応じて論文を読み、自らの問題意識を明確にする。					
各自の興味・関心に応じて、研究に必要な基本的事項を理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 各自が興味・関心をもった事柄に関する基本的事項を理解することができる。					
思考・判断の観点: 各自の興味・関心に応じて論文を読み、自らの問題意識を明確にすることができる。					
関心・意欲の観点: 文献の講読に主体的に取り組むことができる。					
技能・表現の観点: 各自の興味・関心に応じて論文を読み、その内容を適切な方法・表現でわかりやすく説明できる。					
成績評価方法(総合)					
授業への参加及び授業における発表をもとに評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
教育学部4F(406室)越中研究室					
083-933-5443					
etchu@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
随時					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021101015
開設科目名	教育方法学特論演習			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	未定			区分	
授業の概要					
現象学を手法とした教育方法研究論文を精読する					
授業の一般目標					
教育方法研究論文を適切に深く読めるようになる					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 自分の関心のある論文についてしっかり理解できるまで繰り返し読む					
思考・判断の観点: 読んだ内容を適切な言葉で伝えられるようになる					
関心・意欲の観点: 広義での教育方法について自分自身にひきつけて考え論文を書くうえでの基礎力を養う					
態度の観点: 他者の発表を能動的に聴く、自分の発表を積極的に創る					
成績評価方法(総合)					
発表					
教科書					
参考書					
メッセージ					
一つの論文を丁寧に読み表現する力を養うことが目標です。積極的な参加を求めます。					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021101016
開設科目名	教育社会学特論演習			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	田中 理絵			区分	
授業の概要					
教育社会学的研究方法による教育問題事象の理解を図るため、教育社会学者あるいは教育社会学的研究を行っている者による論文・書籍および様々な資料を用いて文献講読を行う。					
授業の一般目標					
(1)教育社会学的研究方法と学術用語の理解。 (2)問題事象に対する問題解決的思考力の深化。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: ①教育領域における問題事象に対する教育社会学的研究方法・知識の深い習得。					
思考・判断の観点: ①批判的・客観的視点の取得。					
関心・意欲の観点: ①問題解決への意欲関心を向上させる。					
態度の観点: ①真摯な態度で問題に迫ることができる。					
成績評価方法(総合)					
発表・討論を総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
田中理絵・教育社会学研究室(ta-na@yamaguchi-u.ac.jp)					
オフィスアワー					
水曜日 10:20-12:00					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021101017
開設科目名	障害児臨床心理学特論 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	吉田 一成			区分	
授業の概要					
自閉症をはじめとする発達障害の心理臨床について先行研究・先行指導事例について論考する。					
授業の一般目標					
1. 臨床心理学の視点から発達障害児やその家族に対する支援を論究できるか					
2. 教育・医療・福祉・労働等が連携した障害児支援と心理臨床との関係性を理解できるか					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期集中	曜日時限	集中	時間割コード	2021101233
開設科目名	学校教育実践研究(特別支援)			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	松田 信夫			区分	
授業の概要					
特別支援学校並びに小学校・中学校の特別支援学級に在籍する知的障害児、肢体不自由児、病弱児、発達障害児に対する指導に必要な知識・技能・態度に関する高度な実践的指導力を育成し、特別支援教育の理論と実践との融合を図る。					
授業の一般目標					
知的障害児、肢体不自由児、病弱児、発達障害児に対する指導における高度な実践的指導力を培う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1. 特別支援教育の教育現場における実践課題を具体的に理解し、もって指導力の向上につなげることができる。					
思考・判断の観点: 1. 特別支援教育の教育現場における実践課題への対応の在り方を具体的に思考・判断し、もって指導力の向上につなげることができる。					
関心・意欲の観点: 1. 特別支援教育の教育現場における実践課題への対応の在り方を常に究明しようとする態度を有し、もって指導力の向上につなげることができる。					
成績評価方法(総合)					
実践事例の詳細な分析や、指導方針の綿密な構築が中心の実践的学習である。理論に裏打ちされた綿密な分析に加え、主体的な創意工夫も求められる。こうした面への主体的な参画が評価の重要な要素となる。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021101234
開設科目名	課題研究			単位	1 単位
対象学生				学年	～
担当教員	未 定			区分	
授業の概要					
修士論文の作成にあたり、研究テーマに関連する国内外の論文を講読し、理解を深めるとともに、研究テーマの設定や方法論等について検討する。					
授業の一般目標					
研究テーマに関連する論文を講読し、比較検討する際の基本的技法を理解する。					
研究テーマの位置づけや方法論について、主体的に考える姿勢を身につける。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 国内外の論文を講読して、その方法論や内容を理解できる。研究テーマに関連する専門用語や基本的な考え方が理解できる。					
思考・判断の観点: 内外の論文を講読して比較検討し、研究テーマやその方法論について考えることができる。					
関心・意欲の観点: 研究テーマの位置づけについて、主体的に考えることができる。					
態度の観点: 研究のための時間を自ら積極的に作り出すとともに、研究を進めるにあたって生じる諸問題の解決に向けて自主的に取り組むことができる。					
技能・表現の観点: 論文の内容を適切な方法・表現でわかりやすく説明できる。					
成績評価方法(総合)					
研究テーマに対する知識・理解や思考・判断力に加え、出席、研究への熱意や努力など、態度や意欲の観点も重視して、総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
各指導教員					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021101235
開設科目名	課題研究			単位	1単位
対象学生				学年	～
担当教員	未定			区分	
授業の概要					
研究テーマに関する予備実験や予備調査の結果を踏まえて、本実験や本調査の研究計画を立案し、それに基づいて本実験や本調査を実施し、得られた結果の整理を行う。					
授業の一般目標					
研究テーマに関連する国内外の論文や予備実験や予備調査の結果を踏まえて、研究テーマに関する実験や調査の計画立案ができる。 研究テーマに関する実験や調査を適切に実践できる能力を身につける。また、得られた結果の適切な整理の仕方を身につける。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 研究テーマに関連する実験や調査により得られた結果の良否を科学的に判断できる知識と理解力を身につける。					
思考・判断の観点: 研究テーマに関する実験や調査の妥当な方法論や得られた結果の適切な整理の仕方について考えることができる。					
関心・意欲の観点: 研究計画の遂行について、主体的に考えることができる。					
態度の観点: 結果を科学的・客観的に捉えようとする可以尝试。					
技能・表現の観点: 研究テーマに関する実験や調査を適切に実践できる能力を身につける。研究の進捗状況を、適切な方法・表現で説明することができる。					
成績評価方法(総合)					
研究成果の進捗状況およびそのために費やした努力や創意工夫などを、総合的に評価する。また、結果を科学的・客観的に捉えようとする姿勢を保つことができたかも重要な評価項目とする。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
各指導教員					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021102018
開設科目名	教育心理学特論			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	小杉 考司			区分	
授業の概要					
各自が今日の教育場面に於ける様々な現象について評論し、討論する。 具体的には「教育心理学研究」より、各自が関心のある論文を選び、要約を発表しながら討論する。					
授業の一般目標					
教育の新しい問題点、トピックス、研究法について理解する。					
授業の到達目標					
思考・判断の観点: 研究現場にアプローチするための方法論を幅広く知る。					
成績評価方法(総合)					
各自の発表および討論の内容を評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
小杉研究室					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021102019
開設科目名	人格心理学特論			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	田邊 敏明			区分	
授業の概要					
児童・生徒の発達援助の方法としての人格心理学の理論について詳述し、特に子どもの心をどのように見ていくかについて具体的に提言する。					
授業の一般目標					
児童の問題行動を明らかにするため、幅広い見方を修得し考察を深めていく。特に、心の地盤や土台、から抱えたり守ったりする必要性、さらには強さの感化、心の調和と統合、しなやかさと揺れや遊びの必要性について触れていく。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 子どもの心の発達には重要なポイントがあることを理解する。					
思考・判断の観点: 子どもの不適応行動を見ていく上で、さまざまな見方があることを理解する。					
関心・意欲の観点: さまざまな心理療法の考えの中で自分ほどの療法の考えに依拠して探求していくかが主張できる。					
態度の観点: 実際の事例で自分は実際にどのような心の見立てをするかシミュレーションできる。					
成績評価方法(総合)					
授業中のディスカッションへ参加する態度を重視する。また発表を義務づけ、その準備状況や内容も評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
心を多面的に見られるような柔軟な視点をもっていただきたい。					
連絡先					
E-mail ttanabe@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
火曜日 18:00～19:00					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021102020
開設科目名	心理学研究法特論			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	福田 廣			区分	
授業の概要					
心理学における実証的アプローチの中で、量的及び質的データへの迫り方についての理論的背景について論考し、具体的研究論文への批判的創造的読みのトレーニングを行う。					
授業の一般目標					
心理学研究における方法論の課題について論考する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
下記の観点で総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021102021
開設科目名	臨床心理学特論 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	名島 潤慈			区分	
授業の概要					
教育臨床・病院臨床・産業臨床など、さまざまな臨床場面において問題となるさまざまな事柄について考究する。そのさい、できるだけ具体的な臨床事例を呈示しながら講義する。また、いろいろな心理療法の特性についても講義する。					
授業の一般目標					
査定にしろ援助・介入にしろ、臨床心理学の基礎的・実践的な部分に焦点をあて、受講者が臨床心理学というものがどのようなものを理解できるようにする。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 臨床場面におけるさまざまな問題について深く理解できる。					
思考・判断の観点: 臨床場面におけるさまざまな問題についてどのように対処したらよいかを判断できる。					
関心・意欲の観点: 臨床心理学に強い関心を抱く。					
態度の観点: 授業に真面目に出席する。					
成績評価方法(総合)					
レポート、授業態度、出席などから総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
レポートがたくさんあります。がんばって下さい。					
連絡先					
najima@yamaguchi-u.ac.jp 083-933-5465					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021102022
開設科目名	臨床心理査定演習 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	木谷 秀勝			区分	
授業の概要					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021102023
開設科目名	家族心理学特論			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	沖林 洋平 [OKIBAYASHI Yohhei]			区分	
授業の概要					
家族心理に関して、その原理や要因、心理学的発達課題、発達段階の特徴などについて、学校、家庭、地域社会など身近な画面で、子どもから高齢者、また生涯のある児童生徒や成人の発達や教育の視点も含めて、家族の観点に当てながら概観する。					
授業の一般目標					
家族について、心理学の視点から概観し、発達段階とその課題、パーソナリティや社会性の発達、教育的問題など、いくつかの側面から理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 自己の深い理解の上に立って、家族倫理学に関する知識を確実に吸収する。					
思考・判断の観点: 与えられる知識やデータを受動的に受け入れるだけでなく、自ら考え、自らの判断に基づいて理解を深める。					
関心・意欲の観点: 日常生活に密接に関連した内容を多く含むことになり、興味・関心の多大な学問として、意欲的に取り組む姿勢を身につける。					
態度の観点: 展開される授業を単に授業的に参加するのではなく、積極的な態度で臨むことができる。					
技能・表現の観点: 研究のあり方や分析の方法などの基本的な技能について理解し、それを適切に表現できる。					
その他の観点: 科学としての「心理学」として位置づける。					
成績評価方法(総合)					
出席、授業態度、発言、作成資料の内容などを総合的に判断して評価する。					
教科書					
学校心理学 / 石隈利紀: 誠言書房, 1999					
参考書					
メッセージ					
積極的な授業参加を期待する					
連絡先					
沖林研究室 yoki@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021102024
開設科目名	臨床心理面接特論Ⅱ			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	大石 英史			区分	
授業の概要					
様々な学派の文献を通して、関係性を重視した心理臨床に関する理解を深めていきます。特に人間性心理学の立場からのアプローチに重点を置いて授業を進めていきます。					
授業の一般目標					
この授業の目標は、関係性を重視した心理臨床に携わるときの援助者の態度と実践的知識とを身につけることです。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 心理臨床の様々なアプローチの方法とそれが依拠する理論を一通り習得する。特に人間性心理学の立場からのアプローチに関する知識と理解を深める。					
思考・判断の観点: 心理臨床場面で展開していく関係性を適切に省察することができる。					
関心・意欲の観点: 援助的なかわりとは何かについての深い関心と意欲を持つ。					
態度の観点: 心理臨床場面で展開していく関係性を、自分自身を素材に見ていくことができる。					
技能・表現の観点: 発表担当箇所において、しっかりと問題提起ができる。レポート課題において自分の考えを自分の言葉で表現できる。					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021102025
開設科目名	臨床心理基礎実習			単位	1 単位
対象学生				学年	～
担当教員	名島 潤慈			区分	
授業の概要					
講義や事例検討を通して、心理臨床場面における実践上の基本的な事柄を具体的に学ぶ。					
授業の一般目標					
心理臨床場面における実践上の基本的態度や事項に関して具体的に修得し、心理面接場面における基本的態度などについて、体験的に理解を深める。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
授業への出席や発表によって評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
具体的な実践上の諸課題について体験的に学ぶので、積極的に参加してください。					
連絡先					
名島潤慈 : 083-933-5465, najima@yamaguchi-u.ac.jp					
田邊敏明 : 083-933-5453, ttanabe@yamaguchi-u.ac.jp					
大石英史 : 083-933-5454, eohishi@yamaguchi-u.ac.jp					
木谷秀勝 : 083-933-5464, kiya@yamaguchi-u.ac.jp					
恒吉徹三 : 083-933-5446, whiteowl@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021102026
開設科目名	臨床心理実習			単位	1単位
対象学生				学年	～
担当教員	名島 潤慈			区分	
授業の概要					
心理臨床の実際場面で実習を行う。本実習においては、2種類の実習を行う。(1)院生には山口大学大学院教育学研究科附属「臨床心理センター」で実際にケースを担当させ、ケースカンファレンスにおいて面接の進め方について指導を行う。(2)「山口県精神保健福祉センター」において実習を行う。					
授業の一般目標					
心理臨床の実際場面で実習を行い、ケースを担当し、面接の進め方について学習する。特に、臨床場面における具体的な面接相談において、基本の方針を確認し、心理臨床家として直面する諸問題への対処の仕方について学ぶ。また、外部の臨床機関(山口県精神保健福祉センター)における実習を通して、さまざまなクライアントについて理解を深める。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席、発表態度、レポートによって採点する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
「実習」としての意義を理解し、積極的に参加して下さい。					
連絡先					
名島潤慈 : 083-933-5465, najima@yamaguchi-u.ac.jp 田邊敏明 : 083-933-5453, ttanabe@yamaguchi-u.ac.jp 大石英史 : 083-933-5454, eohishi@yamaguchi-u.ac.jp 木谷秀勝 : 083-933-5464, kiya@yamaguchi-u.ac.jp 恒吉徹三 : 083-933-5446, whiteowl@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	前期集中	曜日時限	集中	時間割コード	2021110130
開設科目名	学校教育実践研究			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	未定			区分	
授業の概要					
学校教育に関する諸問題を教育学、心理学、障害児教育、幼児教育、情報教育、国際理解教育等の観点から実践的に考察する。					
授業の一般目標					
(1) 学校教育に関する諸問題を実践的な観点から理解する。					
(2) 学校教育の諸問題について関心を持ち、主体的に考えることができる。					
(3) 学校教育の諸問題を実践的な観点から研究する方法を学び、理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1. 学校教育に関する諸問題を実践的な観点から理解できる。					
思考・判断の観点: 1. 学校教育の諸問題を実践的な観点から思考し、判断することができる。					
関心・意欲の観点: 1. 教育についての実践的な関心を広げ、問題意識を高めることができる。					
態度の観点: 1. 教育についての実践的な態度を養い、高めることができる。					
成績評価方法(総合)					
各担当教員が評価したものを総合して平均値を出す。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
授業には欠席しないようにして下さい。					
連絡先					
各授業担当の教員					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021201027
開設科目名	国語科教育特論 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	藤原 マリ子			区分	
授業の概要					
国語科教育の理論や実践に関する先行研究論文や実践記録等を参照しつつ、今日的課題の評価に努める。レジメの作成や発表・自由討議を経て、課題への理解の深化を図る。					
授業の一般目標					
1・国語科教育が抱える今日的課題についての認識を深め、自分の見解をまとめて適切に発表する字脳を身につける。 2・先行研究に学びつつ、広い視野から学習改善の方途を探る態度を修得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 国語科教育が抱える課題について背景を理解し、説明することができる。					
思考・判断の観点: 問題点について広い視野から検討し、考察することができる。					
関心・意欲の観点: 国語科の諸問題について関心をもち、授業改善への強い意欲をもつことができる。					
態度の観点: 様々な問題について積極的関心をもち、主体的に考えることができる。					
技能・表現の観点: 自分の見解を口頭や文章で的確に表現することができる。					
成績評価方法(総合)					
授業における発表内容を基に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021201028
開設科目名	国語科教育特論Ⅱ			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	岸本 憲一良			区分	
授業の概要					
国語科教育における諸課題について、各自の見解を踏まえて発表し、検討する。					
授業の一般目標					
国語科教育における諸課題について調査、研究を行い、発表、討議を通して認識を深める。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 国語科教育の諸課題について理解し、説明することができる。					
思考・判断の観点: 各課題について多角的に考察し、自分なりの考えを述べることができる。					
関心・意欲の観点: 国語科教育における課題に関心をもつことができる。					
態度の観点: 積極的に調査、研究にあたることができる。					
技能・表現の観点: 調査結果や自己の見解を適切に表現することができる。					
成績評価方法(総合)					
各自の発表の内容、討議への参加態度等により、総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021201029
開設科目名	国語学特論 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	有元 光彦			区分	
授業の概要					
現代日本語文法の基本的項目を、いわゆる学校文法と比較しつつ、斬新な観点から考察していく。					
授業の一般目標					
(1)現代日本語文法の基本的項目を客観的に考察できる。					
(2)言語教育・文法教育に高い関心を持ち、主体的に考えることができる。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1. 現代日本語文法の基本的項目を体系的に分析できる。					
思考・判断の観点: 1. 言語教育・文法教育に関して、言語学的な観点から分析できる。					
成績評価方法(総合)					
(1)授業中の議論への参加度を評価する。					
なお、出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
先入観を捨ててください。					
連絡先					
arimoto@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021201030
開設科目名	国文学特論 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	吉村 誠			区分	
授業の概要					
万葉集の歌人、柿本人麻呂を取り上げ、その作品を概説する。					
授業の一般目標					
人麻呂の歌の意味を理解出来るようにする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
レポート					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021201031
開設科目名	国文学特論II			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	林 恒徳			区分	
授業の概要					
<p>「平家物語」を取り上げる。「平家物語」は琵琶法師などの「語り」を通して生成し展開を遂げ、後に「読む」という形でも享受されるようになった作品である。本年は平家滅亡への物語を語る巻九から巻十一を読む。特に「最期章段群」と称される物語を中心に読む。</p>					
授業の一般目標					
<p>1) 古典教育の初期の段階で、扱われることが多い本作品への理解を深め、古典への読解力を高める。</p> <p>2) 本作品は、語りを通して成立した作品であり、音読、朗読に耐えうる文体を備えている。そこで、音読についても意を用いたい。</p>					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
授業中のレポートに基づいて評価する。					
教科書					
新日本古典文学大系 平家物語上／梶原正昭:岩波書店, 1991					
新日本古典文学大系 平家物語下 /梶原正昭:岩波書店, 1993					
参考書					
平家物語／石母田正:岩波新書, 1957					
平家物語の女性たち／永井路子:文藝春秋, 1979					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021201032
開設科目名	国文学特論Ⅲ			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	村上 林造			区分	
授業の概要					
先行研究論文を読み、文学研究の実際に触れる中で研究の方法を理解し、作品分析力を養う。					
授業の一般目標					
作品分析の方法を理解し、自ら作品を分析する力を身につける。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 作品分析の知識を身につける。					
思考・判断の観点: 作品分析に必要な思考力を身につける。					
関心・意欲の観点: 作品分析に意欲的に取り組むことができる。					
態度の観点: 作品分析に真面目かつ熱心に取り組むことができる。					
技能・表現の観点: 作品分析において必要な技能と表現力を身につける。					
成績評価方法(総合)					
演習への参加態度とレポートによって、総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021201033
開設科目名	漢語漢文学特論			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	南部 英彦			区分	
授業の概要					
中国の歴史・文学・思想のいずれかの領域に関わる漢文資料を選読していく。					
授業の一般目標					
漢文資料を通して、その時代性や思想構造、表現形式の特徴などを考究する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 十分な予備知識のもとで資料読解に当たり、その結果適切な理解を得ているか。					
思考・判断の観点: 資料読解に当たり、適切に自分の思考を展開できているか。					
態度の観点: 受講時、真摯な姿勢で学問に臨んでいるか。					
成績評価方法(総合)					
基本的には、レジュメ発表の内容と、それに対する討議の姿勢とを勘案して行う。場合によっては、学期末にレポートを書いてもらうこともある。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
漢和辞典を一冊用意されたい。					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021201034
開設科目名	国語学特論演習Ⅲ			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	中野 伸彦			区分	
授業の概要					
演習形式で、近世の国語資料を読みながら、そこにあらわれた問題について考えていく。					
授業の一般目標					
資料を基に、歴史的観点から、日本語について考えていく方法を身につける。					
授業の到達目標					
思考・判断の観点: 資料に基づいて、歴史的観点から日本語について自ら考えることができる。					
関心・意欲の観点: 歴史的観点から、日本語について考えていくことに興味を持つことができる。					
成績評価方法(総合)					
授業時の発表やそれについての討論への参加状況により評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
メールアドレス:n_nakano@yamaguchi-u.ac.jp					
研究室:教育学部4階					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021201035
開設科目名	国語科教育実践研究			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	藤原 マリ子			区分	
授業の概要					
課題研究で取り組んでいるあっくじのテーマを中心に、授業実践計画を立て、実際に小学校や中学校で実践を行う。実施後に問題点や課題について検討を加える。					
授業の一般目標					
国語科教育理論と授業実践との融合をはかる。授業改善の方途探る。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 各自の研究課題について、先行研究を踏まえて深く理解することができる。					
思考・判断の観点: 研究を実践課するための工夫を行うことができる。					
関心・意欲の観点: 理路を実践に活かすことに強い関心をもつことができる。					
態度の観点: 積極的に実践化に向け、取り組むことができる。					
技能・表現の観点: 授業実践において、適切に言語活動を行うことができる。					
成績評価方法(総合)					
授業実践の結果により評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021201036
開設科目名	国語科教育支援実践研究			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	藤原 マリ子			区分	
授業の概要					
学校教育現場や教育関連機関において、異文化交流や会教育に関連した教育支援活動を行う。					
授業の一般目標					
日本の学校や社会に興味・関心を抱き、積極的に学ぼうとする態度を培う。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
実践の内容により評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021202037
開設科目名	社会科教育特論 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	外山 英昭			区分	
授業の概要					
各自が、日本史討論学習の具体的な題材・単元を選び、生徒が主体的に学び、豊かな社会認識が育つ授業の工夫を探る。 単元の内容理解を踏まえて、実践事例を分析・整理する。その上で、生徒が主体的に学んだ契機・要因を探り、そこで発揮された教師の指導性を明らかにする。					
授業の一般目標					
各自が、日本史討論学習の具体的な題材・単元を選び、実践紹介する。 その上で、生徒が主体的に学び、豊かな社会認識が育った、授業の工夫、教師の指導性を探る。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 日本史討論学習の具体的な題材・単元を選び、実践紹介することができる。					
思考・判断の観点: その実践の優れた点とそれを生み出した要因を指摘することができる。					
技能・表現の観点: 実践の紹介と分析をしたうえで、質問に答えることができる。					
成績評価方法(総合)					
日本史討論学習の具体的な題材・単元を選び、実践紹介できたか。 生徒が主体的に学び、豊かな社会認識が育った、授業の工夫、教師の指導性を探ることができたか。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021202038
開設科目名	日本史学特論			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	森下 徹			区分	
授業の概要					
日本近世史の近年の議論を取り上げ、文献を読みつつ検討する。					
授業の一般目標					
日本近世史の近年の議論を理解すること。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
報告内容および討論への参加状況による					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021202039
開設科目名	西洋史学特論			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	岩崎 好成			区分	
授業の概要					
受講生と相談の上で、テキストを決め、講読していく。					
授業の一般目標					
西洋史上の史実・事項について理解を深める。と同時に、理解に際しての視角や方法を吟味する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
取組み姿勢と内容で評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021202040
開設科目名	人文地理学特論			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	荒木 一視			区分	
授業の概要					
人文地理学に関する研究成果を論文を通じて吸収する。基本的に授業は演習形式でおこなう。					
授業の一般目標					
修士課程での研究に資する課題を選定し、それにかかわる文献をもみ進めることを通じて、現代の人文地理学の問題点を共有するとともに、研究のアプローチを体得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 最近の人文地理学の成果に対する知識と理解を深める。					
思考・判断の観点: 地理学的な思考能力を身につける。					
技能・表現の観点: 地図をはじめとしたの地理学的な表現技法を体得する。					
成績評価方法(総合)					
演習形式でおこなう。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021202041
開設科目名	地誌学特論			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	MIKHOVA DIMITRINA JORDANOVA			区分	
授業の概要					
<p>This course is rather flexible. Students get individual program of education, negotiated with the teacher and depending on their research interests. Basically it aims at exploring the world regions, their environmental, demographic, economic and cultural features. A key point is that students learn how to use GIS (Geographic Information Systems) in teaching Regional Geography. Students obtain practical skills of working with GIS and see an operational GIS.</p>					
授業の一般目標					
<ol style="list-style-type: none"> 1. To learn more about world regions 2. To learn how to teach Geography with GIS 3. To attain simple skills in working with GIS 					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: Both theoretical and practical					
思考・判断の観点: International					
関心・意欲の観点: Understanding new ways of studying Regional Geograpy and teaching Geography as a part of the "Social studies" subject					
態度の観点: Learning to communicate in an international environment					
技能・表現の観点: To attain some basic skills in using GIS in class					
その他の観点: The calss in held in English, which contributes to students' better understanding the Geography of the World, as well as international expertise in teaching Geography					
成績評価方法(総合)					
Attendance					
Practical work in class					
Doing assignments in class					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021202042
開設科目名	憲法学特論			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	松原 幸恵			区分	
授業の概要					
憲法学の基本的文献の講読、判例研究を行う。					
授業の一般目標					
憲法問題についての知識及び理解を深める。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
報告内容の出来及び出席状況によって評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021202043
開設科目名	社会科教育特論演習			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	外山 英昭			区分	
授業の概要					
子ども主体の学びを創造する立場からの社会科教育論を歴史的・理論的に考察するとともに、社会科授業構成、指導方法の実際について検討する					
授業の一般目標					
すぐれた社会科実践者の実践を系統的に取り上げ、その実践の背後にある社会科観、子ども観を精査する。 個別事例の分析検討を通して、今日求められる社会科教育のあり方を探る。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
個別事例の分析検討を通して、今日求められる社会科教育のあり方を探ることができたか。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021202044
開設科目名	歴史学特論演習			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	岩崎 好成			区分	
授業の概要					
受講生と相談の上で、テキストを選定し、講読していく。					
授業の一般目標					
史実あるいは史的概念等を理解し、同時に、その際の視角や方法を吟味する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
報告内容と取組み姿勢を評価する					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021202045
開設科目名	地理学特論演習			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	貞方 昇			区分	
授業の概要					
地理学で修士論文を書く学生に対する具体的な指導を行う。					
授業の一般目標					
地理学で修士論文を書く学生に対し、論文作成に向けた具体的な指導を行う。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
修士論文作成へ向けた演習に対する取組を総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
修士論文内容の準備に直接関わる内容を扱います。					
連絡先					
sadakata@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
火曜日 11:50～12:50					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021202046
開設科目名	社会科学特論演習			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	阿部 新 [ABE Arata]			区分	
授業の概要					
近年の社会科学における中心的な議論について文献講読を通して学ぶ。指定した文献について分担者はレジュメを用意し、ゼミ内での発表を行なう。					
授業の一般目標					
現代社会が抱えるさまざまな問題、矛盾を読み解き、解決策を探るための実証的分析手法の習得を目指す。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
受講者の発表(プレゼン)を評価点とする。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021202047
開設科目名	哲学倫理学特論演習			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	岡村 康夫			区分	
授業の概要					
哲学・宗教学関連のテキストを読解する。					
授業の一般目標					
現代における思想・宗教の問題を理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1.宗教とは何であるかを説明できる。					
2.現代はどのような時代であるかを説明できる。					
思考・判断の観点: 1.授業で学んだことを取り纏め、自分なりに批判的に述べるができる。					
関心・意欲の観点: 1.哲学および宗教にかんする関心を深め、生き方に関する反省を促すことができる。					
態度の観点: 1.学生生活において人生観や世界観を考え直して直することができる。					
成績評価方法(総合)					
毎回のレポート及び最終報告書による。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021202048
開設科目名	社会科教育実践研究			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	外山 英昭			区分	
授業の概要					
小・中学校の社会科教材を取り上げ、最近の専門諸科学の視点を生かした内容構成と教材開発を行う。その上で、各自独自の授業構想を立て、最終段階では、付属学校または公立学校において実際に授業を行い、社会科教育について実践的に研究する					
授業の一般目標					
各自が、修士論文作成に向けて研究している視点を生かして、ユニークな単元を構成したり、授業を構成する。そのプランを集団で深め、実際に学校で授業を行うことで、その可能性を検討する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021202049
開設科目名	社会科教育支援実践研究			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	岡村 康夫			区分	
授業の概要					
研究テーマを深化させるための実践的な研究指導をする。					
授業の一般目標					
研究テーマを完成させる。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
レポート報告及び最終報告書による。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021203050
開設科目名	数学教育特論 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	関口 靖広			区分	
授業の概要					
数学教育における質的研究方法について、講義する。					
授業の一般目標					
数学教育における質的研究方法について理解し、簡単な場合について実践できる。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 数学教育における質的研究方法について理解できる					
技能・表現の観点: 数学教育における質的研究方法を簡単な場合について実践できる。					
成績評価方法(総合)					
授業の参加とレポートによって評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
大学院の授業は積極的参加が絶対必要です。					
連絡先					
連絡は、ysekigch の後に@yamaguchi-u.ac.jp をつけてメールしてください。					
オフィスアワー					
火曜日 11:00-12:00					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021203051
開設科目名	数学教育特論演習 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	関口 靖広			区分	
授業の概要					
数学教育研究における最近の話題に関する文献を取り上げ、セミナー形式で検討する。					
授業の一般目標					
数学教育研究における最近の話題について理解を深める					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 数学教育研究における最近の話題について基本的な理解をする。					
思考・判断の観点: 数学教育研究における最近の話題について、考察することができる。					
成績評価方法(総合)					
授業における議論への貢献によって評価する					
教科書					
参考書					
メッセージ					
文献は最新のもので、受講生の関心に応じて選択する。積極的に授業に参加することが絶対条件です。					
連絡先					
連絡は、ysekigch の後に、@yamaguchi-u.ac.jp をつけてメールでお願いします。					
オフィスアワー					
火曜日 11:00-12:00					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021203052
開設科目名	代数学特論 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	笠井 伸一			区分	
授業の概要					
代数学周辺のテキストを用いて、輪講形式で授業を行う。					
授業の一般目標					
代数学周辺のテキストを用いて、代数的な考え方を学習する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 代数的な考え方。					
思考・判断の観点: 代数的な考え方。					
関心・意欲の観点: 授業における意見発言等による参加。					
態度の観点: 発表を担当する際の準備状況。					
技能・表現の観点: 数学に関する内容の発表力、表現力。					
成績評価方法(総合)					
授業態度や授業への参加度、 発表の際の知識・理解、技能・表現 出席 = 欠格条件					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021203053
開設科目名	幾何学特論 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	佐藤 好久			区分	
授業の概要					
幾何学の分野から選択したテーマについて解説する。幾何学の考え方がわかるように、解析学や代数学と関係する話題を選び、それらとの関連について解説する。					
授業の一般目標					
幾何学の考え方がわかる。それを表現し、伝えることができるようになる。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
レポートや受講態度により、総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021203054
開設科目名	解析学特論 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	北本 卓也			区分	
授業の概要					
解析学に関するトピックを選んで講義する。					
授業の一般目標					
解析学に関する理解を深める。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席状況、授業態度、レポート等から総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021203055
開設科目名	数理情報特論 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	北本 卓也			区分	
授業の概要					
数理科学に関するトピックを選んで講義する。					
授業の一般目標					
数理科学に関する理解を深める。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席状況、授業態度、レポート等から総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021203056
開設科目名	数理情報特論演習			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	飯寄 信保			区分	
授業の概要					
数理情報科学にあらわれる数学、特に離散的な代数系についての演習をセミナー形式で行う。					
授業の一般目標					
情報においてだけではなく、数学活動において必ず現れる数についての基礎知識を充実させる。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 抽象的な思考と実際の現象を結びつけて考察できるような力を身につける。					
成績評価方法(総合)					
授業の演習・レポートを総合的に判断し評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
飯寄研究室(教育 286 室)					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021203057
開設科目名	数学科教育実践研究			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	関口 靖広			区分	
授業の概要					
学校現場において、算数・数学科に関する実践研究を行なう。					
授業の一般目標					
算数・数学科の授業実践に関わり、その理解を深め、教育現場における実践的研究の進め方を理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 算数・数学科の授業実践のさまざまな側面を理解する。					
思考・判断の観点: 教育実践において自分なりの研究課題を設定することができる。					
技能・表現の観点: 教育現場における実践的研究を簡単な場合について遂行することができる。					
成績評価方法(総合)					
参加度とレポート					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
連絡は ysekigich に、@yamaguchi-u.ac.jp をつけてメールでお願いします					
オフィスアワー					
火曜日 11:00-12:00					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021203058
開設科目名	数学科教育支援実践研究			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	渡邊 正			区分	
授業の概要					
附属学校や地域の学校等で実践的な教育を通して、教師としての高度な素養を身につける。					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 必要な知識の習得する。					
思考・判断の観点: 実習での適切な判断を行う。					
関心・意欲の観点: 目的意識の育成。					
態度の観点: 参加態度を涵養する。					
技能・表現の観点: 実習をする技能を修得する。					
成績評価方法(総合)					
輪読及び実習への参加貢献度に応じて総合的に評価をする。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021204059
開設科目名	理科教育特論 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	池田 幸夫			区分	
授業の概要					
理科教育の現代的課題を取り上げ、科学史と科学哲学に関連づけながら考察する。次に理科の授業づくりの考え方と方法を提示し、最後に、理科の授業評価の方法について解説する。					
授業の一般目標					
理科授業を科学的に分析する力を育成する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 理科教育に関わる考え方、理科授業づくりと評価に関する基礎的な知識と技能					
思考・判断の観点: 理科授業を科学的に分析ができる					
関心・意欲の観点: 様々なテーマについて、理科の授業づくりを行う					
態度の観点: 積極的・主体的に授業に参加する					
技能・表現の観点: 授業評価の統計的手法を習得する					
成績評価方法(総合)					
試験と課題レポートおよび授業への参加状況によって総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
教育学部218					
オフィスアワー					
随時					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021204060
開設科目名	物理学特論 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	未 定			区分	
授業の概要					
相転移や対流現象など身の回りの秩序形成を取り上げ、ミクロとマクロにおける現象の違いや共通点を考える。					
授業の一般目標					
普段目にする自然現象を物理学的観点から観察・考察できる能力をもてるようにする。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 身の回りの物理現象を数理的に記述・処理する方法を学ぶ。					
思考・判断の観点: 身の回りの種々の巨視的物理現象は共通する数理的側面をもつことを理解する。					
関心・意欲の観点: 毎回出席し、議論に加わることが出来る。					
成績評価方法(総合)					
レポート、発表、授業への取り組み態度、出席状況などに基つき総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
:					
メッセージ					
授業担当予定者は4月着任の予定であり内容の詳細については、未定であるが、開講の予定である。					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021204061
開設科目名	物理学特論演習 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	未定			区分	
授業の概要					
理科教育実一般について、論文購読・討論・実地研究などの方法によって学習する。					
授業の一般目標					
理科教育の諸問題を統計的に分析する手法を修得する					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 理科教育の考え方やデータ処理に関する知識理解					
思考・判断の観点: 理科教育に関わる問題点を発見する力と客観的に判断できる思考力					
関心・意欲の観点: 積極的に課題を認識する意欲					
態度の観点: 積極的に取り組む態度					
技能・表現の観点: 統計的手法を利用する技能					
成績評価方法(総合)					
レポート、授業への取り組み態度、出席状況などに基づき、総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
E-mail habe@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021204062
開設科目名	化学特論 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	和泉 研二			区分	
授業の概要					
結晶成長に関する文献講読を行なう。特に学校の実験室レベルで行える水溶液からの結晶成長に重点をおき、水溶液中の溶質の状態についても解説する。					
授業の一般目標					
結晶成長の機構を原子・分子レベルから理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 結晶成長の機構を原子・分子レベルで説明できる。					
思考・判断の観点: 結晶形態の変化など巨視的に観察される現象を結晶成長の観点から考察できる。					
関心・意欲の観点: 身近な結晶や様々なかたちで役立っている結晶に興味をもつ。					
成績評価方法(総合)					
授業中の質疑応答およびレポートを下記の割合で評価する。					
教科書					
参考書					
結晶は生きている：その成長と形の変化のしくみ(ライブラリ物理の世界；3)/黒田登志雄:サイエンス社					
結晶成長(応用物理学選書；2)復刊/大川章哉著:裳華房					
結晶 成長、形、完全性/砂川一郎:共立出版					
結晶成長/斉藤幸夫:裳華房					
結晶成長/後藤芳彦:内田老鶴圃					
メッセージ					
連絡先					
5355					
オフィスアワー					
木曜、午後					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021204063
開設科目名	化学特論演習 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	和泉 研二			区分	
授業の概要					
理科教育や日常生活に関連した結晶を具体的に取り上げ、その特性や構造を理解するとともに、実験を通して、それぞれの結晶に適した育成法や観察法を習得する。					
授業の一般目標					
結晶成長機構の基礎的理解に基づいた適切な育成法・観察法を習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 具体的な結晶の構造や成長機構を説明でき、適切な育成法を説明できる。					
思考・判断の観点: 成長した結晶の良否を判断し、育成条件をコントロールするパラメータを、どのように調整すべきか判断できる。					
関心・意欲の観点: 結晶の育成を通し、理科教育に関心を持つ。					
技能・表現の観点: 適切な試料調整・観察・実験・記録ができる。					
成績評価方法(総合)					
下記の観点で評価する。特に目的の結晶をうまく成長させるために、どのような手立てが必要になってくるのかを自ら追求する思考力や判断力を重視する。					
教科書					
参考書					
結晶は生きている：その成長と形の変化のしくみ(ライブラリ物理の世界；3)/黒田登志雄:サイエンス社					
結晶成長(応用物理学選書；2)復刊/大川章哉著:裳華房					
結晶 成長、形、完全性/砂川一郎:共立出版					
結晶成長/斉藤幸夫:裳華房					
結晶成長/後藤芳彦:内田老鶴圃					
メッセージ					
連絡先					
5355					
オフィスアワー					
木曜、午後					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021204064
開設科目名	地学特論 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	武田 賢治			区分	
授業の概要					
地質構造と岩石変形組織の解析を通して地球内部でどのような変形テクトニクスがおこってきたのかを探ることができる。本講では、その解析手法と地殻のさまざまな深度レベルでの変形様式を解説する。					
授業の一般目標					
地質構造の形成過程や変形様式についての理解を深める。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
レポートと授業態度・授業の参加度をもとに総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021204065
開設科目名	地学特論演習 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	武田 賢治			区分	
授業の概要					
地学特論Iの内容をさらに深く理解するために、構造地質学・マイクロテクトクスに関連した文献講読と、実際のさまざまな変形岩を用いた構造解析法の実習を行う。					
授業の一般目標					
地質構造の種類とその形成機構についての知識・理解を深め、変形構造の解析ができるようになる。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
レポート、授業態度・授業への参加度、プレゼンテーションにより総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021204066
開設科目名	生物学特論演習Ⅱ			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	北沢 千里			区分	
授業の概要					
生物学にかかわる重要な文献や先端技術の現状に関する文献講読や実験実習等を行いながら、生物学特論Ⅱの内容の理解を深める。					
授業の一般目標					
論文や著作の内容を理解し、自分自身で問題点を見つけ、それを探求する科学的態度を育成する。また、レポート作成、授業内における発表などを通じて、科学的なスキルやコミュニケーション能力を習得する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
レポート、発表、出席状況を総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
ダイナミックワイド図説生物／石川紘まか編:東京書籍, 2004 無脊椎動物の多様性と系統／白山義久編:裳華房, 2005					
メッセージ					
連絡先					
E-mail: chisak@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
水曜日 13:00-14:30					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021204067
開設科目名	地学特論演習Ⅱ			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	千々和 一豊			区分	
授業の概要					
堆積学・有機地球科学に関連した文献講読や実習を通して、地学特論Ⅱの内容をさらに深く理解するための演習を行なう。					
授業の一般目標					
原著論文講読を通して、地質学・堆積学・有機地球科学に関わる専門用語を理解するとともに、同分野の考え方、新しい知見について理解を深める。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1.専門用語について、正しく内容を説明できる。					
思考・判断の観点: 1.地球科学の課題を類別し、課題解決の手法やデータの収集法、解析法を指摘できる。					
関心・意欲の観点: 積極的に、外国語論文を読破できる。					
技能・表現の観点: 専門用語を使って、正しく現象を表現できる。					
成績評価方法(総合)					
専門論文の読解に対する積極性、読解力、課題レポートを総合的に判断して評価を行なう。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
chijwa@yamaguchi-u.ac.jp 千々和研究室:教育学部4階					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021204068
開設科目名	理科教育実践研究			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	佐伯 英人			区分	
授業の概要					
近年の理科教育における学習論や教材論に基づいた授業設計と授業分析に関する実践研究を行う。					
授業の一般目標					
近年の理科教育における学習論や教材論に基づいた授業設計を理解し、授業分析をすることができる。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 近年の理科教育における学習論や教材論に基づいた授業設計と授業分析の方法を理解することができる。					
思考・判断の観点: 近年の理科教育における学習論や教材論に基づいた授業設計と授業分析の方法について考えることができる。					
関心・意欲の観点: 近年の理科教育における学習論や教材論に基づいた授業設計と授業分析の方法に興味・関心をもつことができる。					
態度の観点: 学習論や教材論、授業分析の方法について主体的に調べ、調査し、分析することができる。					
技能・表現の観点: 学習論や教材論に基づいた授業設計ができ、授業分析をすることができる					
成績評価方法(総合)					
レポートと活動のようすで評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021204069
開設科目名	理科教育支援実践研究			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	野村 厚志			区分	
授業の概要					
企業や社会における活動を通して、自然環境や情報に関する教育を支援する理論やシステムについて実践的に学習する。					
授業の一般目標					
理科教育を支援するためのトピックについて文献を読み、よりよい支援とはどのようなことか、議論できるようになる。さらには、自らが支援の計画を構築できるようになる。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
レポート課題による評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
anomura@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021205070
開設科目名	音楽科教育特論 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	高橋 雅子			区分	
授業の概要					
本授業では、音楽科教育の基本的な文献の購読を通じて、今日の音楽科教育の現状及び問題を明らかにし、音楽科教育のあり方について考察する。					
授業の一般目標					
音楽科教育の基本的な問題を把握する能力の獲得、音楽教育についての基礎的な文献を読み込む力の獲得、その他					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 広く音楽科教育の理論について理解する。					
思考・判断の観点: 課題に沿った、適切なレポート作成をし、プレゼンテーションする。					
関心・意欲の観点: 課題に意欲的に取り組む。					
態度の観点: 遅刻・欠席厳禁。					
技能・表現の観点: プレゼンテーションにおける適切な表現。					
成績評価方法(総合)					
課題の達成度、レポート					
教科書					
参考書					
メッセージ					
自ら文献・論文を探して読み、レポートにまとめる力をつけて欲しい。					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021205071
開設科目名	器楽特別研究 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	西村 順子			区分	
授業の概要					
ピアノ演奏の技法的部分に重点を置いた研究を、文献による研究と実践により行う。					
授業の一般目標					
各自の研究目的と課題に沿って、授業のスタート時に目標を定める。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: ピアノの作品を簡単な楽曲分析ができる。					
技能・表現の観点: 演奏表現に必要な技能の説明ができる。					
成績評価方法(総合)					
受講態度と研究意欲、そして出席にて評価					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
内線5363					
jun_n@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021205072
開設科目名	器楽特別研究Ⅱ			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	成川 ひとみ			区分	
授業の概要					
鍵盤楽器(ピアノ)の音楽史を中心とした研究。					
授業の一般目標					
J.S.バッハ以前の鍵盤楽器の為の音楽を知る事により、バロック時代以降のピアノ作品への理解を深める。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: テキストの内容を理解する事ができる。理解に必要な知識を持って、授業に参加できる。					
思考・判断の観点: テキストの内容を、自らの音楽経験と照らし合わせて試行する事ができる。					
関心・意欲の観点: テキストを自主的に読み進める事ができる。必要があれば、資料を探し求める意欲を持つ事ができる。					
成績評価方法(総合)					
研究意欲及び授業内容の理解度により、評価を行う。					
教科書					
ピアノ音楽史/ウィリ・アーペル:音楽之友社					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
nr1103@yamaguchi-u.ac.jp Tel. 083-933-5364					
オフィスアワー					
火～金曜日昼休み					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021205073
開設科目名	声楽特別研究			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	林 満理子			区分	
授業の概要					
この授業では、声楽のアンサンブルを行う。レベルに合わせた課題を教材として、声を合わせながらお互いの声を聴き、音楽的な表現を目指す。授業の最後に発表を行う。発表は公開で行う場合がある。					
授業の一般目標					
お互いの声を聴きながら、アンサンブルができる。 発表の場で、歌詞の内容に合わせた適切な表現ができる。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
毎回の授業への参加度、取り組み方、発表内容を併せ総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021205074
開設科目名	作曲演習			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	池上 敏			区分	
授業の概要					
<p>様々な楽曲の作曲法について学習、実作するとともに、教材作成としての実用的な編曲についても検討対象にします。学生の研究課題や内容により多少の変更もあり得ます。</p>					
授業の一般目標					
<p>様々な形式、様々な手法、様々なジャンルの作曲ができる能力の獲得、その応用として、教材作成としての編曲ができるようになることを目標とします。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 作曲法の様々な知識とその仕組みの理解。 思考・判断の観点: 作曲における様々な事象に対する高度な判断力、思考力の育成。 関心・意欲の観点: 作曲に対する強い関心と、積極的に作曲をしてみよう、という強い意欲の持続。 態度の観点: 自分なりの表現、音楽を大切に、積極的に作曲をしようとする態度の育成。 技能・表現の観点: 作曲についての高度な技能の育成、表現の高度な練磨。</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>実際の作・編曲の課題のでき具合を中心に評価。</p>					
教科書					
参考書					
メッセージ					
<p>音楽における創作指導は低迷している。その原因の大部分は時間的な少なさに起因するにしても、指導する教師自身が創作・作曲についての基礎能力が決定的に不足していることも大きいだろう。実際に作曲できれば子どもたち、生徒たちにも創作、作曲させてみたくなろうし、また作曲についての関心も高まる。教師自身が作曲の力を付けると共に、教材開発としての自作曲の作曲能力も、既成楽曲の編曲能力もまた求められる。</p> <p>より高度な作・編曲能力を獲得しよう！</p>					
連絡先					
<p>音楽棟109研究室</p>					
オフィスアワー					
<p>新年度に時間割が決定後に通知します。</p>					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021205075
開設科目名	音楽学特論演習			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	斎藤 完			区分	
授業の概要					
履修生の研究課題に則した課題を設定し、考察を深めていく。					
授業の一般目標					
概要に同じ。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
発表、ならびに出席(積極的な発言)を重視する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021205076
開設科目名	音楽科教育実践研究			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	高橋 雅子			区分	
授業の概要					
院生の修士論文に関係ある内容について、研究を深める。					
授業の一般目標					
修士論文に関連したテーマについて、文献研究を行う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 論文のテーマについて、深く掘り下げる。					
思考・判断の観点: 関連論文を読み、思考する。					
関心・意欲の観点: レポート作成。					
態度の観点: 遅刻・欠席厳禁					
技能・表現の観点: プレゼンテーションの技能を高める。					
成績評価方法(総合)					
出席、レポート					
教科書					
参考書					
メッセージ					
自分に厳しく。いろいろな論文を読みましょう。					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021205077
開設科目名	音楽科教育支援実践研究			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	池上 敏			区分	
授業の概要					
学校教育における音楽科授業を側面的に援助する方法を考究する。					
授業の一般目標					
学校教育における音楽科授業は必ずしも学校のみによって達成される訳ではない。学校周辺の地域、家庭、場合によっては企業などの側面的な支援があれば飛躍的に効果が上がる場合もあり得る。そのような様々なケースについて考究する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 音楽科教育への基礎的な知識の獲得と、音楽科教育の理解。					
思考・判断の観点: 音楽科教育への側面的支援の思考方法の獲得、判断力の育成。					
関心・意欲の観点: 音楽科教育、及びその支援実践への関心、支援実践への意欲。					
態度の観点: 音楽科教育への支援的研究の適切な態度の育成。					
技能・表現の観点: 支援実践のための表現能力の獲得、技能の練磨。					
成績評価方法(総合)					
実践的な支援策のアイデア、その有効性などにより評価。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
直接音楽科教育に関わらない人たちが、どのようにすれば学校の音楽教育に貢献できるのか、真剣に考えて欲しい。それが音楽を、人生を豊かにするのではないだろうか。					
連絡先					
担当教員研究室(音楽棟109研究室)					
オフィスアワー					
授業時間割が確定してから通知します。					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021206078
開設科目名	美術教育特論 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	福田 隆真			区分	
授業の概要					
美術教育に関して、歴史、理念、教育課程について講義する。併せてアジアの美術教育課程について解説する。					
授業の一般目標					
美術教育の教育課程、学習指導要領、考え方を理解する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021206079
開設科目名	美術教育特論Ⅱ			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	吉田 貴富			区分	
授業の概要					
現代の教育思潮や近年の美術教育研究の成果をもとに、美術教育の今日的課題を論じる。					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
疾病等、特別な事情を除き、原則として欠席を認めない。					
教科書					
美術科教育の基礎知識／宮脇理監修:建帛社, 2001 大学生と大学院生のためのレポート・論文のかき方【第2版】／吉田健正:ナカニシヤ出版, 2004					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021206080
開設科目名	絵画特別研究			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	中野 良寿			区分	
授業の概要					
<p>絵画における古典技法の習得および表現力をつける実習をおこなう。古典技法は西洋のテンペラ技法を中心に模写をし、顔料や絵具の組成や性質について研究する。また東西の絵画史、視覚芸術の原理に関する考察など、幅広い時間と空間を意識した芸術に関する思考方法について学習する。</p>					
授業の一般目標					
<p>絵画における古典技法を習得し、支持体の上に表現することができる。</p> <p>西洋のテンペラ技法を中心に、顔料や絵具の組成や性質について研究することができる。</p> <p>東西の絵画史、視覚芸術の原理に関する考察など、幅広い時間と空間を意識した芸術に関する思考することができる。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 東西の絵画史、視覚芸術の原理に関する考察など、幅広い時間と空間を意識した芸術に関する思考することができる。</p> <p>思考・判断の観点: 絵画や芸術全般における質の違いについて思考・判断できる。</p> <p>関心・意欲の観点: 絵画や芸術全般における古典技法や現在主流ではない技法についても興味をもつことができる。</p> <p>態度の観点: 絵画や芸術全般における様々な表現、技法について探求する姿勢がある。また、持続的に研究する姿勢があるかどうか。</p> <p>技能・表現の観点: 古典技法について過去の作家の高度な技法を読み取り、模写を中心にして追体験できる。</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>実習を中心とした授業内容における宿題・授業外レポート、授業態度・授業への参加度、受講者の発表(プレゼン)・授業内での制作作品、出席による総合評価。</p>					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
<p>nakano-y@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>083-933-5366(中野)</p> <p>090-9003-6944</p>					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021206081
開設科目名	彫刻特別研究			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	上原 一明			区分	
授業の概要					
最新の彫刻事情について学習する。アジア現代美術(主に台湾)の動向を視野に入れ、彫刻表現の可能性や					
授業の一般目標					
現代彫刻の事情について学び、作品と現代社会の関係を考察し知識を高める。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 彫刻の歴史の変遷とコンテンポラリー・アートの動向について知識を高める。					
思考・判断の観点: 現代社会に対し、芸術作品がいかなる作用をしているのかを考察し、自己の思考能力を高める。					
関心・意欲の観点: 材料と形体の関係性を把握し、作品制作による実践を通して意欲を高める。					
態度の観点: 共同作業における制作態度の重要性を学ぶ。					
技能・表現の観点: 彫刻制作に関する高度な技法を習得し、表現力を高める。					
その他の観点: 協調性を養う。					
成績評価方法(総合)					
出席状況及び作品制作における態度や完成作品で評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
自分の感覚を大事にし、もっと引き伸ばしましょう。					
連絡先					
上原研究室					
オフィスアワー					
水曜日 12:00～14:00					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021206082
開設科目名	デザイン特別研究			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	堀家 敬嗣			区分	
授業の概要					
イメージ(映像)理論として注目すべき新旧の文献を精読し、その今日的な意義および可能性を検討する。					
授業の一般目標					
学生それぞれの関心と問題意識に応じたイメージ理論を把握し、そのうえで各自の課題を展開することを目標とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
授業のみで評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021206083
開設科目名	工芸特別研究 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	吉賀 将夫			区分	
授業の概要					
総合的な工芸の観点から陶芸をとらえ、作品制作と理論的な面と併せて研究する。					
授業の一般目標					
総合的な工芸の観点から陶芸をとらえ、作品制作と理論的な面と併せて研究し陶芸への理解を深める。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021206084
開設科目名	工芸特別研究Ⅱ			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	河野 令二			区分	
授業の概要					
もののデザイン、制作をととして、工芸の意味、特質を考察する。					
授業の一般目標					
工芸制作とその記述を通して、工作。工芸教育の教材の視点、視野を理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 学習課題に対して、広い視野と明確な視点から記述できる。					
思考・判断の観点: 工作・工芸学習の教材化の視点と視野について、制作過程を的確に記述できる。					
関心・意欲の観点: 自分の学習を工作・工芸教育へ方向付けができる。					
態度の観点: 課題を明らかにし、主体的に取り組む。					
技能・表現の観点: 豊かな発想と構想力を持って制作ができる。					
記述したものをまとめ、論理的に表現できる。					
成績評価方法(総合)					
学習の最後のレポートの発表を重点的な観点になります。					
制作過程の記述と課題への主体的な取り組みや、課題解決への展開等を総合的に評価します。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021206085
開設科目名	美術史特論			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	菊屋 吉生			区分	
授業の概要					
日本美術史、とくに近世、近代絵画史上の諸問題について講義をする。また受講生に対応して史料を読み解きながら、講義を行うことも想定される。					
授業の一般目標					
(1)日本美術史の諸問題を理解し、それに対する自らの考察を加える基本的能力を養う。 (2)美術史の基本史料を読みこなし、そこに存在する問題を抽出し、検討する能力の養成。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 日本美術史に関する全般的な理解を基礎としつつ、各論としての美術史のテーマをもつ。					
思考・判断の観点: 美術史の理解として得たテーマを、史料をもとに考察し、検討する。					
関心・意欲の観点: 設定したテーマに対する基礎的な研究意欲を醸成する。					
態度の観点: 史料の読解、探索など積極的な授業参加を期待する。					
技能・表現の観点: 史料の読解、分析の基礎的能力を養う。それに伴う、文献探索能力の育成にもつとめる。					
成績評価方法(総合)					
史料の内容を理解し、十分な吟味検討ができるかどうか。美術史に関する総合的かつ基礎的な研究能力を身につけることができたかどうかを判断したい。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
自主的な学習を期待したい。プレゼンテーションに関しては、なるべくヴィジュアルに行い、文献探索を広く行なってほしい。					
連絡先					
kikuya@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021206086
開設科目名	美術教育実践研究			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	福田 隆真			区分	
授業の概要					
美術教育に関する実践を観察し、授業研究、評価、教材の検討などを行う。主に、附属学校の実践を対象とする。					
授業の一般目標					
美術教育の実践を観察し、題材の目的を達成するための授業実践を構想することが出来る。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021207087
開設科目名	体育科教育特論 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	海野 勇三			区分	
授業の概要					
現代における子どもの生活の変容と発達疎外の状況に関して、各自がテーマを設定し、体育・スポーツという視点から関連する先行研究を検討する。					
授業の一般目標					
子どもの生活スタイルと発達疎外の状況について、各自が担当したテーマに関する先行研究の考察と報告を通じて、テーマについての理解を深めるとともに、レポートのまとめ方・発表の仕方を習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 各自のテーマに関し、これまでの先行研究の概要と問題点について説明できる。					
思考・判断の観点: 現代の子どもの生活課題・発達課題を理解し、体育科教育の課題について自説を展開できる。					
関心・意欲の観点: テーマに関する様々な問題について、主体的に考えることができる。					
技能・表現の観点: 各自のテーマで考察してきた成果を、レポートまたは口頭発表でわかりやすく表現することができる。					
成績評価方法(総合)					
授業時のレポートおよび総括レポートの作成過程と完成度により、総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
自他の研究テーマ・報告内容に関心を持ち、活発な論議を通じて理解を深めてください。					
連絡先					
yunno@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021207088
開設科目名	体育科教育特論Ⅱ			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	岡村 豊太郎			区分	
授業の概要					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021207089
開設科目名	体育学特論 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	池田 恵子			区分	
授業の概要					
<p>体育・スポーツ事象における主要な問題を取り上げ、哲学・歴史学的アプローチによる文献の講読を通して、体育・スポーツ哲学、体育・スポーツ史研究領域における現代的視角を深める。研究課題にアプローチするための方法論とその潮流について学習する。</p>					
授業の一般目標					
<p>学術論文の読解、ディスカッションを通して体育・スポーツが直面している現代的な問題を哲学・歴史学的視野から理論的に説明できるようになる。これまでの体育・スポーツ史研究の方法論の潮流について理解し、研究課題に適切なアプローチを選択することができる。</p>					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 学術論文を正確に読解することができる。					
先行研究の研究方法に即して、内容を適切に集約し、説明することができる。					
思考・判断の観点: 学術論文の方法論を自らの関心に引き付けて再構成し、発展的テーマの可能性および限界点を指摘することができる。現代的視点から論文の意味について思考を深めることができる。					
関心・意欲の観点: 主体的に演習テーマに即した文献を収集し、参照することができる。					
ディスカッションに加わり、質疑に対応することができる。					
技能・表現の観点: ポイントを整理し、プレゼンテーションすることができる。					
成績評価方法(総合)					
授業参加時の演習およびレポートにより評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
研究室直通電話 933-5381、176 池田研究室、E-mail:kikeda@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
随時					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021207090
開設科目名	体育学特論II			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	上地 広昭			区分	
授業の概要					
行動変容に関する理論およびその応用方法についての説明を行う。					
授業の一般目標					
最新の行動科学の基礎知識を身につける。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
基本的には出席状況をそのまま成績に反映させる。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021207091
開設科目名	運動学特論 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	曾根 涼子			区分	
授業の概要					
運動を生理学(主に心肺機能系)の面から捉え、運動の効果および発現機序などについて論じる。					
授業の一般目標					
運動を生理学(主に心肺機能系)の面から捉え、運動の効果および発現機序などについて理解することを目標とする。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1.運動を生理学(主に心肺機能系)の面から捉え、運動の効果および発現機序などについて説明できる。					
思考・判断の観点: 1.心肺機能系に対する各種運動の効果や発現機序について説明できる。					
関心・意欲の観点: 1.心肺機能系に対する各種運動の効果や発現機序について関心を持つ。					
成績評価方法(総合)					
2/3 以上出席が単位認定の最低必要条件である。					
教科書					
新運動生理学, / 宮村実晴: 真興交易医書出版部, 2001					
参考書					
メッセージ					
基本的な生理学的知識が必要である。					
連絡先					
教育学部101-1					
オフィスアワー					
水曜日13～15時					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021207092
開設科目名	体力学特論 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	森田 俊介			区分	
授業の概要					
運動を行動体力からとらえ、体力・健康づくりや体力測定法に関する国内・外の論文を紹介し、解説する。					
授業の一般目標					
健康・体力づくり、体力測定法、トレーニング法に関する国内・外の論文を受講者が読み、理解したうえで発表する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 体力づくり、トレーニング法、体力測定法について生理・生化学的に理解できる。					
思考・判断の観点: 体力づくり、トレーニング法、体力測定法に関する国内・外の論文を受講者が読み、自分の課題研究との関連を思考できる。					
関心・意欲の観点: 体力づくりや体力測定法に関する国内・外の論文を受講者が読み、自分の課題研究の関心を高めることができる。					
技能・表現の観点: 体力づくりや体力測定法に関する国内・外の論文を受講者が読み、まとめて発表する能力を高めることができる。					
成績評価方法(総合)					
読んだ論文の内容を理解し、その背景を含めて発表できる能力を評価する					
教科書					
参考書					
メッセージ					
課題研究テーマと直接・間接に関連する論文を読破して内容を整理しておくこと					
連絡先					
shunsuke@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021207093
開設科目名	学校保健特論			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	友定 保博			区分	
授業の概要					
学校保健研究(特に保健教育)に関する文献を講読し、研究課題の設定と研究方法論の学習の観点から、授業で設定したテーマに関する研究論文を検討する。					
授業の一般目標					
授業で設定したテーマに関する研究論文を検索・収集し、レポート作成と発表・討論ができるようになること					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 授業で設定したテーマに関する理解を深める					
思考・判断の観点: 授業で設定したテーマに関する報告・討論で自らの意見を主張できる					
成績評価方法(総合)					
授業内レポート60%、最終レポート20%					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
tomo-y@yamahgichi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021207094
開設科目名	健康処方特論			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	塩田 正俊			区分	
授業の概要					
各ライフステージにおける健康づくりのあり方について、生活習慣とくに運動との関わりから、これまでの研究成果をふまえて論じる。					
授業の一般目標					
各ライフステージにおける健康づくりのあり方について、生活習慣とくに運動との関わりを理解し、生活習慣改善の方策を考える。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 各生活習慣病の原因について理解し、生活習慣改善の方策を説明することができる。					
思考・判断の観点: 生活習慣の異常、改善がどのような変化をもたらすかを推論することができる。					
関心・意欲の観点: 生活習慣と疾病の関連について関心を持ち、各ライフステージ毎にその方策を自ら考える姿勢が見られる。					
技能・表現の観点: 生活習慣と疾病の関連について解説し、各ライフステージ毎にその方策を考え指導できる。					
成績評価方法(総合)					
課題レポート、課題プレゼンテーションなどから評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021207095
開設科目名	保健体育科教育実践研究			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	海野 勇三			区分	
授業の概要					
受講者の関心に即して実践的な課題を設定し、小学校または中学校において体育授業を実験的に実践する。そして実験結果を集团的に検討することを通して教育実践の改善を図る。					
授業の一般目標					
体育・健康教育に関する教育課程および授業実践の中から課題を発見し、これを解決するための方略を構想・実施し、総括する経験を通して、授業研究の方法を獲得すると共に教育的実践力を育成する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 自己の関心に即して、学校教育現場、特に体育・健康教育をめぐる実践的な課題について説明できる。					
思考・判断の観点: 自己の設定した実践的な課題の解決に向けて、授業研究をデザインして実証的に取り組むことができる。					
態度の観点: 実験授業に対し誠実に取り組むことができる。					
技能・表現の観点: 実践的研究の成果を、統計ソフトやプレゼンテーションソフトを用いて、文章または口頭でわかりやすく報告することができる。					
成績評価方法(総合)					
研究の計画―実施―分析―総括の全体を通じて総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
附属学校等の協力を得て授業研究を実施する関係で、一部集中開講や時間割変更等、変則的な開講形態となる。					
連絡先					
yunno@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021207096
開設科目名	保健体育教育支援実践研究			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	森田 俊介			区分	
授業の概要					
公的施設や民間運動施設において、運動の指導方法を教授する。					
授業の一般目標					
運動を通した健康と生きがいづくりなどの課題に対応できるように、公的施設や民間運動施設において運動の指導方法を実習し、専門的な知識を理解し指導技術などを習得することを目標とする。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 運動を通した健康と生きがいづくりなどの課題に対応できるように、公的施設や民間運動施設において運動の指導方法を実習し、専門的な知識を理解できる。					
レクリエーションプログラムや運動プログラムの計画・立案ができるための知識を習得できる。					
思考・判断の観点: 実際に運動指導を行う時に、指導の方法や内容が対象者にふさわしいものかについて思考・判断できる。					
関心・意欲の観点: 運動を通した健康と生きがいづくりなどの課題に対応できるように、公的施設や民間運動施設において実際に運動の指導をすることに関心を持つことができる。					
態度の観点: 公的施設や民間運動施設において、対人関係が良好にたもつことができる。					
技能・表現の観点: 運動を通した健康と生きがいづくりなどの課題に対応できるように、公的施設や民間運動施設において運動の指導方法ができる。					
成績評価方法(総合)					
実習先での態度・指導力・人間関係などについて総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
実習期間は1週間以上になることがある。公的施設や民間運動施設への就職を熱望する学生が望ましい。					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021208097
開設科目名	技術科教育特論			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	阿濱 茂樹			区分	
授業の概要					
技術科教育の教育方法, 教材などに関する研究成果や実践事例などについての文献講読および解説を行う。					
授業の一般目標					
技術科教育に関する課題について主体的に考えることができ, 研究方法についての理解を深める。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 技術科教育に関する課題について理解が出来る。					
思考・判断の観点: 技術科教育に関する調査や実験について適切な方法を考えることができる。					
関心・意欲の観点: 技術科教育に関する課題について主体的に取り組むことができる。					
技能・表現の観点: 技術科教育に関する課題について妥当な解決法を説明できる。					
成績評価方法(総合)					
課題に対するレポートを課す。これらにより評価する。出席が所定の回数に達しない者には単位を与えない。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					
随時受け付け(研究室)					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021208098
開設科目名	技術科教育支援研究 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	岡村 吉永			区分	
授業の概要					
技術科教育の特徴や性格について考察し、教材や題材の面から学習指導のあり方を検討する。					
授業の一般目標					
技術科教育の目的や性格について理解し、ここで育成すべき学習内容との関連で教材および題材の意味を説明することができる。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 教科の指導に必要な知識を有し、その意義や特徴について正しく理解している。					
思考・判断の観点: 教科の置かれた現状を正しく認識し、課題とその対策について思考・判断することができる。					
関心・意欲の観点: 教育を取り巻く環境や、技術的な動向について関心をもち、主体的に学ぶ意欲を有している。					
態度の観点: 主体的・実践的に課題に取り組もうとしている。					
技能・表現の観点: 技術教育の課題を解決するために必要な技術的能力を有している。また、課題や成果を客観的かつ分かりやすく整理し、表現することができる。					
成績評価方法(総合)					
技術教育の特徴や意義を正しく理解しているか。また、教科の置かれた現状を正しく理解し、指導を拡充するために必要な方策等について、自らの考えを論理的に説明することができるか。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
okasun@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
いつでもどうぞ					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021208099
開設科目名	情報科教育特論			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	鷹岡 亮			区分	
授業の概要					
<p>情報科教育特論では、情報科教育に関する学習環境、学習形態、指導方法について学ぶ。また、授業実践例の分析や問題把握、模擬授業の実施を通して、効果的な指導内容・方法について検討する。さらに、情報システムを活用した教材開発を実践的に研究し、学習効果を高める教材開発方法論について学ぶ。結果として、教科「情報」に関する学習指導計画ならびに学習指導案の立案能力を向上させ、実践的な指導力を身につけることを目指す。</p>					
授業の一般目標					
<p>(1)教科「情報」に関して高度な学習指導計画・学習指導案を立案できるようになること。 (2)授業実践の分析、模擬授業の実施を通して、情報教育の実践的な指導力を身につけること。 (3)情報システムやツールを活用した学習効果の高い教材開発が行えるようになること。 (4)具体的な授業内容に対して、指導内容を決定して効果的な指導方法をとることができること。</p>					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
授業内レポートや課題、授業態度・授業への参加度、発表、出席等を総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
情報科教育法／岡本敏雄他編著:丸善株式会社, 2002					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021208100
開設科目名	機械情報工学特論 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	森岡 弘			区分	
授業の概要					
機械工学と電気工学の総合技術であるメカトロニクスの基礎とマイコンを用いた機械システム(ロボット等)の計測・制御技術を学習する。					
授業の一般目標					
ロボットを含む機械システムの設計を通して、メカトロニクスおよび情報工学の知識を総合的に習得することを目標とする。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: ロボットの設計製作を通して、中学校技術科教員に必要と考えられる機械工学と電気工学の総合的な知識の習得を目指す。					
関心・意欲の観点: ものづくりに関して関心を高め、みずからの手を使って製作に積極的に参加できるようになることを目標とする。					
技能・表現の観点: 総合的な機械システムの設計製作能力を習得することを目標とする。					
成績評価方法(総合)					
成績評価はレポート(製作品を含む)、授業態度・授業への参加度を総合的に評価して行う					
教科書					
参考書					
PIC マイコンではじめる作って遊べるロボット工作／後閑哲也:技術評論社 ロボット改造工作マニュアル②／後閑哲也:技術評論社					
メッセージ					
連絡先					
E-mail: morioka@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
木 1, 2					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021208101
開設科目名	工業材料特論 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	澤本 章			区分	
授業の概要					
工業用材料として用いられている非鉄金属材料(ニッケル合金、銅合金、アルミニウム合金、マグネシウム合金、すず、亜鉛合金、セラミックスなど)、非金属材料(レンガ、モルタル、皮、ゴム、プラスチック、潤滑材)及び電子材料の特徴と使用方法について解説する。					
授業の一般目標					
工業材料についての知識を広める。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1.工業材料を説明できる。 2.工業材料を関係づける。					
思考・判断の観点: 1.工業材料を類別できる。 2. 工業材料の機能を指摘できる。					
関心・意欲の観点: 1.工業材料の種類を討議できる。 2.工業材料の知識の修得に寄与できる。					
態度の観点: 1.工業材料の効果的使用法を考える態度を養う。 2.工業材料に関する知見を修得し、これらを使用した機器と協調できる。					
技能・表現の観点: 1.材料を有効に活用する技術を身につける。2.材料を使用してものを作り表現する力を育む。					
その他の観点: とくなし					
成績評価方法(総合)					
出席状況(25%)、授業中の態度(5%)、レポート(70%)により総合評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
ニッケル合金、銅合金、アルミニウム合金、マグネシウム合金、セラミックス、プラスチック、電子材料、情報機器材料などの種類と役割について解説します。					
連絡先					
〒753-8513 山口市吉田 1677-1 山口大学教育学部技術教育金属加工澤本章 TEL/FAX083-933-5395					
オフィスアワー					
水曜日、10:20～11:50					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021208102
開設科目名	情報科学特論			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	永久 洋治			区分	
授業の概要					
順序機械から始めて、オートマトンについて学習する。					
授業の一般目標					
有限オートマトンを正確に定義し、諸々の機械の状態の遷移を理解すること。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1. 言語と関係の理解。					
2. いろいろな有限オートマトンの理解。					
思考・判断の観点: 1. 論理的に証明する力,					
技能・表現の観点: 1. いろいろな機械の働きを状態遷移図に表現する力。					
成績評価方法(総合)					
定期試験, レポート, 参加度, プレゼン, 出席で評価する。					
教科書					
参考書					
有限オートマトン入門/岩田茂樹 笠井琢美: 森北出版株式会社, 1994					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021208103
開設科目名	電気回路特論			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	古賀 和利			区分	
授業の概要					
アナログ信号解析のためのフーリエ変換など離散信号解析手法について学習する。					
授業の一般目標					
フーリエ変換、逆フーリエ変換の考え方を理解し、計算法と利用法を習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1. 周期関数とフーリエ級数の関係を理解する					
2. 非周期関数とフーリエ積分の関係を理解する					
3. 畳み込み積分とフーリエ変換の関係を理解する					
技能・表現の観点: ゼミで与えられた範囲のテキストを読んで内容を理解し、人に説明することができる。					
成績評価方法(総合)					
ゼミ形式の発表とレポートによる。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021208104
開設科目名	情報回路網特論			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	葛 崎偉			区分	
授業の概要					
<p>本科目では、ネットワーク理論に基づいて、情報ネットワークにおける通信の原・仕組みやネットワーク構築に当たっての技術や情報ネットワークの利用に関するセキュリティについて論じる。また、実践的にコンピュータ・ネットワークの構築および管理運用を行う。</p>					
授業の一般目標					
<p>情報ネットワークの知識やその活用に関する技術を身につけることを通して、技術教育の資質を高めることを目標とする。</p>					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
<p>授業内外のレポートを中心に評価する。</p>					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021208105
開設科目名	情報処理言語特論			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	中田 充			区分	
授業の概要					
学部の授業内容を前提として、より高度な情報処理技術の習得を目指す。					
授業の一般目標					
新たなプログラミング言語を独学で習得できるための、学習法、演習法等を身につける。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 新たなプログラミング言語を独学で習得できる。					
態度の観点: 自ら調査し、試行錯誤できる。また、その内容を的確に表現できる。					
成績評価方法(総合)					
レポートにて評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021208106
開設科目名	グラフ・ネットワーク特論			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	葛 崎偉			区分	
授業の概要					
<p>本科目では、グラフ・ネットワークの定義、性質から、グラフ・ネットワーク理論における各種問題とその解決のためのアルゴリズム設計について論じる。また、応用として、情報通信ネットワークにおける経路決定問題の紹介とその問題解決のためのアルゴリズム設計を行う。</p>					
授業の一般目標					
<p>グラフ・ネットワークに関する理論的な知識やその応用力を身につけさせ、情報教育に必要とされている理論的な問題解決能力を高めることを目標とする。</p>					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
<p>授業内外のレポートを中心に評価する。</p>					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021208107
開設科目名	技術科教育実践研究			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	阿濱 茂樹			区分	
授業の概要					
技術科教育の教育方法, 教材などに関する研究成果や実践事例などについての文献講読および演習を行う。					
授業の一般目標					
技術科教育に関する課題について主体的に考えることができ, 研究方法についての理解をする。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 技術科教育に関する課題について理解が出来る。					
思考・判断の観点: 技術科教育に関する調査や実験について適切な方法を考えることができる。					
関心・意欲の観点: 技術科教育に関する課題について主体的に取り組むことができる。					
技能・表現の観点: 技術科教育に関する課題について妥当な解決法を説明できる。					
成績評価方法(総合)					
課題に対するレポートを課す。また、発表や演習も行う。これらにより評価する。出席が所定の回数に達しない者には単位を与えない。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					
随時受け付け(研究室)					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021208108
開設科目名	技術科教育支援実践研究			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	岡村 吉永			区分	
授業の概要					
技術科の学習指導を支援する教材の開発を通して、教科の特性に沿った実践的指導力を身につける。					
授業の一般目標					
教科の特性や性格を理解し、学習を効果的にする教材の提案をすることができる。また、提案した教材を実際に製作し、その効果や使い勝手等を客観的に評価することができる。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 教科の意義や特性、教育課程等を正しく理解している。					
思考・判断の観点: 指導場面に応じた適切な教材を提案することができる。					
関心・意欲の観点: 加工技術や IT 技術に関心を持ち、教科の学習に関連付けようとしている。					
態度の観点: 教材の提案や開発に当たって、積極的に工夫や改善を行おうとしている。					
技能・表現の観点: 製作した教材の加工精度が高く、美観等にも優れている。					
成績評価方法(総合)					
教科の意義や内容、教育課程等を理解したうえで、適切な教材を提案できているか。 またその具体化(製作)に際して、優れた工夫や学習がなされているか。 製作した教材の効果や使い勝手に関して、客観的な評価を行うことができるか。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
Windows パソコンでのプログラム作成を含みます。どのようなプログラム言語でも構いませんが、利用可能な状態にしておいてください。					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021209109
開設科目名	家庭科教育特論 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	入江 和夫			区分	
授業の概要					
現在の家庭生活の諸問題と対比しながら家庭科教育の歴史の変遷をたどり、何が家庭科に求められてきたかを考察し、これからの家庭科教育によって何がもたらされていくべきかを探る					
授業の一般目標					
環境問題や戦後誕生した家庭科の内容について理解するとともに家庭科教育の教材開発を検討する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 生活から見た環境問題や家族問題を理解するとともに今回の学習指導要領の改訂の趣旨に沿って説明できる。					
思考・判断の観点: 現在の家庭科教科書に必要な内容を判断できる。					
成績評価方法(総合)					
家庭科における家族関係や健康などに関する内容が理解できていること。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					
水曜日					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021209110
開設科目名	家庭科教育特論Ⅱ			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	西 敦子			区分	
授業の概要					
家庭科教育理論(目標、内容、指導計画、学習・指導方法、評価)について学習し、小・中・高等学校の家庭科実践例を考察する。					
授業の一般目標					
家庭科教育理論に基づき、小・中・高等学校家庭科の実践例を分析し、問題・課題を考察する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 家庭科教育理論を理解したか。					
思考・判断の観点: 実践例を分析し、問題・課題を考察出来たか。					
関心・意欲の観点: 家庭科教育理論に関心・意欲を持ち、実践例を分析したか。					
態度の観点: 授業態度は真面目であったか。					
技能・表現の観点: 実践例の分析方法が適切であったか。					
成績評価方法(総合)					
レポート					
知識・理解(家庭科教育理論)					
思考・判断(実践例の分析、問題・課題の把握)					
技術・表現(実践例の分析方法)					
関心・意欲・態度(授業態度、家庭科教育理論への関心、授業分析への意欲)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021209111
開設科目名	食物理学特論 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	山田 次郎			区分	
授業の概要					
学童期における「食育」の重要性について、食事のあり方、栄養や食品の安全性などの点から討議する。特に、安全性の問題では、現在、社会的問題になっている環境汚染物質などについて考える。					
授業の一般目標					
学校現場での食育の重要性を深く理解し、具体的な指導方法などを考えることができる。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 食育に必要な基礎的知識を深く理解し、説明できる。					
食生活の安全性上の問題点の理解を理解し、説明できる。					
思考・判断の観点: 食育の本質を理解している。					
関心・意欲の観点: 現代の子どもの食生活の諸問題について高い関心・興味を持ち、視点別に理解している。					
態度の観点: 子どもたちの食生活上の問題に対して、改善していこうという態度を持っている。					
技能・表現の観点: 学校現場で、真に有効な教育内容を構築できる指導案、指導技術を持っている。					
成績評価方法(総合)					
レポートと出席で総合評価を行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021209112
開設科目名	食物理学特論II			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	五島 淑子			区分	
授業の概要					
この授業では、食生活について、歴史的視点および比較文化の視点から論究する。また、現代の食生活について討議する。講義と演習形式の授業である。					
授業の一般目標					
1) 食の文化について、知識を深める。 2) 食の変遷について理解を深める。 3) 全体を通じて、小中学校における食物の教材への知識・理解を深める。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1食文化を学ぶ意義を理解する。 2世界の食文化の概要を理解する。 3日本の食生活を歴史的な流れで理解する					
思考・判断の観点: 1現在の食生活の問題点について、自分の考えを述べることができる。					
関心・意欲の観点: 1食文化に関心を持つ。 2食生活史に関心を持つ。					
態度の観点: 1食への関心を深める					
成績評価方法(総合)					
課題レポートおよび授業への参加度を総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
授業内容は、受講者との話し合いにより、変更することもあります。					
連絡先					
goto@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
金曜日 16:10～17:40					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021209113
開設科目名	被服学特論			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	星野 裕之			区分	
授業の概要					
繊維材料を構成している高分子の構造と、弾性率・強度等の物性、染色論について、物理化学論に沿って論述する。					
授業の一般目標					
繊維材料の構造、染色の過程について、物理化学的な視点で捉え、より専門的な学力を修得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1. 高分子の構造と性質を物理・化学の観点から説明できる。					
2. 染料の染着原理を説明できる。					
思考・判断の観点: 繊維材料のみならず、日用品としてあるプラスチック製品についても高分子化学の視点から構造、性質について考えることができる。					
成績評価方法(総合)					
毎回のレポート提出および授業への取り組み方、討論の参加度で評価する。					
教科書					
参考書					
高強度・高弾性率繊維／高分子学会編:共立出版, 1988					
高分子化学序論／岡村誠三ほか6名共著:化学同人, 1985					
染色の化学(改訂版)／黒木宣彦著:横書店, 1997					
染色加工の事典／日本学術振興会繊維・高分子機能加工第120委員会編:朝倉書店, 1999					
染色の物理化学／高島直一・生源寺治雄・根本嘉郎共著:丸善, 1957					
メッセージ					
連絡先					
E-mail: hhoshino@yamaguchi-u.ac.jp					
研究室:教育学部300号室					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021209114
開設科目名	住居学特論			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	山本 善積			区分	
授業の概要					
住居及び地域空間の問題とそれに対する計画理論を中心に講義する。これらを歴史的に追いながら、現代の生活空間における居住問題のとらえ方とその計画的な解決について考える。さらに高齢者等の居住問題を考える。					
授業の一般目標					
住居・地域空間の計画理論を説明できることとあわせて、教育現場に関わる空間・環境の問題を指摘でき、解決方向を提案できることを目標とする。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1. 住居・地域空間の計画理論を説明できる。					
思考・判断の観点: 1. 教育に関わる環境の問題を指摘できる。					
2. 問題解決の方法や方向を提案できる。					
関心・意欲の観点: 1. 児童・生徒が暮らす住居・地域空間に一般的な計画理論をひきつけて考えられる。					
成績評価方法(総合)					
演習、レポートを中心に評価する。出席態度も加味する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021209115
開設科目名	保育学特論			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	友定 啓子			区分	
授業の概要					
テキスト「幼児期—子どもは世界をどうつかむか」を購読しながら、幼児の心身の発達に関する概括的な理解を得る。また、それ応じた幼児理解、保育のあり方など保育学の基礎を学ぶ。					
授業の一般目標					
幼児期の心の発達における「遊び」「表現」「しつけ」の保育的意義について理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 幼児の発達の姿を理解する。幼児教育方法の独自性を理解する。					
思考・判断の観点: テキストに書かれている事例をめぐって、幼児理解を広げ、保育者としての判断の仕方を学ぶ。					
関心・意欲の観点: 幼児と保育についての関心を深める					
成績評価方法(総合)					
演習に参加するための課外レポート、および討議への参加を総合的に評価する					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
友定啓子					
オフィスアワー					
水 12:00-12:50					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021209116
開設科目名	食生活科学特論			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	山田 次郎			区分	
授業の概要					
この授業では、学校現場で実際に起こっている食生活上の諸問題を洗い出し、それを踏まえて、関連する文献、情報(国・県・市・町等の行政、学校、地域)を広く収集し、その分析を通して、より効果的な指導内容、方法を討議していく。この授業は、フィールドワークを主な手段とした学外での活動を中心に進めていく。					
授業の一般目標					
子どもの食生活上の諸問題の本質を正しく捉え、より正確な情報収集・分析を通して実態に即した指導内容・方法等を考える力をつける。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 子どもの食生活上の諸問題の本質を正しく理解できる					
思考・判断の観点: 多くの氾濫する情報に正しく対処できる					
関心・意欲の観点: 子どもの食生活上の諸問題に常に高い関心を持っている					
態度の観点: 子どもたちの食生活上の諸問題を是正しようと努力する					
成績評価方法(総合)					
レポートおよび受講態度等を総合して評価する					
教科書					
参考書					
メッセージ					
本授業は、食物分野で修士論文を執筆する院生を対象に開講している。					
連絡先					
内線5407					
オフィスアワー					
随時					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021209117
開設科目名	衣生活科学特論			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	星野 裕之			区分	
授業の概要					
衣生活分野に関わる今日の問題について、より広範な情報収集およびその分析等を通して、より高度な専門的学力や技術の修得、蓄積を行う。					
授業の一般目標					
繊維を構成している高分子について学び、衣料用繊維にとどまらず、日常生活にある日用品について、さまざまな領域で高分子材料が使われていることを理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 高分子の構造や反応性を説明できる。					
思考・判断の観点: 衣料用以外に活用されている高分子材料を指摘できる。					
関心・意欲の観点: 関連する情報を自分で収集できる。					
成績評価方法(総合)					
毎回課題を与え、それに対するレポートとプレゼンで評価する。					
教科書					
参考書					
ハイテク繊維の世界／本宮達也著: 日刊工業新聞社, 1999					
ニューフロンティア繊維の世界／本宮達也・梶原莞爾著: 日刊工業新聞社, 2000					
よくわかる新繊維のはなし／林田隆夫著: 日本実業, 1998					
繊維の百科事典／本宮達也ほか7名編: 丸善, 2002					
メッセージ					
連絡先					
E-mail: hhoshino@yamaguchi-u.ac.jp					
研究室: 教育学部 300 号室					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021209118
開設科目名	住生活科学特論			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	山本 善積			区分	
授業の概要					
住生活分野に関わる今日の問題について、より広範な情報収集及びその分析等を通して、高度な専門的学力や技術の習得・蓄積を行う。					
授業の一般目標					
住生活に関わる今日の問題について、その概要や分析の方法を説明できる。また、実際に分析してみることができる					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 研究テーマと関連する住生活に関する文献等の講読を通して、今日の問題の概要を理解し、それを説明できる。					
思考・判断の観点: 問題の認識を深めるために、文献やデータの調査を行い、分析・考察することができる。					
成績評価方法(総合)					
主体的な文献調査、文献の批判的検討、それをまとめて発表する力などを総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021209119
開設科目名	保育学特論演習Ⅱ			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	友定 啓子			区分	
授業の概要					
保育学・発達心理学・認識論などの文献を購読し、保育実践記録と読み合わせることに よって、幼児理解の方法について考える。					
授業の一般目標					
関連諸分野の研究動向について理解し、自分の研究に活用することができる。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 他分野の資料を読み、理解できる。					
思考・判断の観点: 保育研究との関連・活用を考えることができる。					
関心・意欲の観点: 関連他分野に関心を持つ					
成績評価方法(総合)					
演習参加のためのレポートおよび演習での発表・討論への参加等を総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
両義性の発達心理学／鯨岡 峻:ミネルヴァ書房, 1998					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021209120
開設科目名	家庭科教育実践研究			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	入江 和夫			区分	
授業の概要					
小・中の附属学校の授業参観並びに先行授業実践例の分析を通して問題点を把握し、授業改善を図る。					
授業の一般目標					
小・中の附属学校の授業参観並びに先行授業実践例の分析を通して問題点を把握し、授業改善を図ることが出来る。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 授業改善における具体的な内容について、理解できたか。					
思考・判断の観点: より良い授業づくりに向けて、じっくりと考え、判断しながら授業改善ができたか。					
関心・意欲の観点: より良い授業づくりに対する関心・意欲があるか。					
態度の観点: 授業に対して積極的に、真面目に取り組んでいたか。					
技能・表現の観点: 授業改善に向けて、適切に改善点を指摘することが出来たか。					
成績評価方法(総合)					
小テストや演習を実践し、宿題・授業内レポートにより評価する					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					
水曜日					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021209121
開設科目名	家庭科教育支援実践研究			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	友定 啓子			区分	
授業の概要					
<p>学校現場のみならず、家政教育の専門性と関わりのある他の多様な社会的現場での実践的研究をとおして、より現実的問題の把握とその対処等について討議する。</p> <p>授業の一般目標</p>					
授業の一般目標					
各自の専攻分野に関連した諸活動に関する学習をし、実際の活動に参加し、多面的な実践力を身につける。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
実践現場でのレポート作成と報告を評価の対象とする。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					
友定啓子					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021210122
開設科目名	英語科教育特論 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	猫田 和明			区分	
授業の概要					
この授業では英語教育に関するテキスト(英文)を読み進めながら解説を加える。受講者には担当箇所について内容をまとめ、プレゼンテーションをしてもらいます。					
授業の一般目標					
英語の教授・学習に関わる専門的な知識を深めるとともに、英語教育の諸問題における意識を高め、専門的な知識を活用して論理的に問題解決を図る力を養う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 英語教育に関する高度な知識をもち、英語教育の諸問題について理解している。					
思考・判断の観点: 英語教育に関する高度な知識を活用し問題解決を図ることができる。					
関心・意欲の観点: 英語教育の諸問題について関心をもち、明確な問題意識をもっている。					
技能・表現の観点: 英文で書かれた専門書の内容を正しく読み、相手にわかりやすく伝えることができる。					
成績評価方法(総合)					
プレゼンテーションの内容、期末レポートにより評価する。					
教科書					
The Practice of English Language Teaching / Jeremy Harmer: Longman, 2007					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
nekoda@yamaguchi-u.ac.jp 933-5417 研究室(教育 A354)					
オフィスアワー					
特に設けていません。時間が空いていればいつでも相談にのります。まずはメールください。					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021210123
開設科目名	英語科教育特論Ⅱ			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	高橋 俊章			区分	
授業の概要					
外国語としての英語教育に関する最新の論考をもとに、日本における英語教育の普遍性と独自性について考察する。					
授業の一般目標					
第2言語習得や4技能の指導等に関する最新の研究論文を簡潔に整理し、その内容を発表することが出来る。また、その内容について討論を行うことが出来る。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
発表の内容とテストの成績によって評価を行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021210124
開設科目名	英語学特論 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	松谷 緑			区分	
授業の概要					
現代英語の成り立ちについて講義する。英語を通時的観点に立って観察し、英語の成り立ちから現代の体系に至るまでの変遷について論ずる。					
授業の一般目標					
どのような変化を経て今日の英語が成立したのかについて理解を深め、英語学上の諸問題について、正しく観察し、分析するための考え方を学ぶ。言語事実を踏まえ、諸規則の綿密な観察ができること、英語を外国語として学ぶ学習者の疑問に答えられる知識と能力を培うことを目的とする。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 内外の論文を講読して、その方法論や内容を理解できる。英語学上の諸問題について、正しく観察し、分析するための考え方が理解できる。					
思考・判断の観点: 英語学上の諸問題について、正しく観察し、分析できる。言語事実を踏まえ、諸規則の綿密な観察ができる。					
関心・意欲の観点: 英語学上の諸問題について、主体的に考えることができる。					
態度の観点: 学習のための時間を自ら積極的に作り出すとともに、学習を進めるにあたって生じる諸問題の解決に向けて自主的に取り組むことができる。					
技能・表現の観点: 理解した内容を適切な方法・表現でわかりやすく説明できる。英語学上の諸問題に関連した調査を適切に実践できる基本的な能力を身につける。					
成績評価方法(総合)					
毎回の授業の取り組み・発表と期末のレポートとの総合評価					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
mmatsu@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021210125
開設科目名	英米文学特論 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	未 定			区分	
授業の概要					
<p>アメリカ文学そしてアメリカ文化の基盤を形成したとも言えるアメリカ・ルネサンス期の文学の中から、Henry David Thoreau を取り上げます。Thoreau と言えば、Rachel Carson と共に、エコロジーを早くから提唱していた人物として有名ですが、今回はエコロジストとしての Thoreau ではなく、これも早くから非暴力を訴えていた文学者としての Thoreau を対象とします。</p>					
授業の一般目標					
<p>「暴力」というテーマは、ある意味で、どの文化にも共通してみられる現象であるが、アメリカの場合この「暴力」は特殊な現れ方をします。このアメリカ的「暴力」がどのように表現されてきたかを探っていきます。</p>					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
<p>出席(20%)と授業内での発表(40%)及び授業外レポート(40%)などにより総合的に評価します。</p>					
教科書					
<p>Walden and Civil Disobedience／Henry David Thoreau:Paul Lauter. Houghton Mifflin Company, 2000</p>					
参考書					
<p>『市民の反抗』 飯田実訳／H. D. ソロー :岩波文庫, 1997</p>					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021210126
開設科目名	英米文学特論Ⅱ			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	増田 勉			区分	
授業の概要					
<p>英語の詩(英詩)は様々な決まり(詩の作法、すなわち韻律法)に則って作られている。読む側もそれを承知していなければ十分に鑑賞することができない。大学あるいは大学院で英語を勉強した者(そして教壇に立つかもしれない者)の素養として英詩についての基礎的な知識は必要条件であろう。当授業では英詩の作法(韻律法)について学ぶ。そのあと、実際の詩をいくつか読み、更に英国エリザベス朝の詩劇(詩で書かれた劇)、あるいは状況によっては(詩とは関係のない)散文作品を読む。</p>					
授業の一般目標					
<p>1. 英詩作法上の様々な規則(韻律法)を知り、鑑賞力を高める。</p> <p>2. 英語力の更なる向上を図る。</p>					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 英詩作法上の様々な規則(韻律法)を知り、実際の作品を自らの力で読み解くようにする。					
思考・判断の観点: 詩の中で作者が或る言葉やイメージや語法によって読者に何を伝えようとしているのかを考え、理解し、その詩の真価を正當に判断できるようにする。					
関心・意欲の観点: 英詩に接することによって、言葉を選ぶということがどんなに微妙で難しい頭脳(精神)作業であるかを知り、英語という言葉に対して今までと違った関心を抱くようになる。					
態度の観点: あたった者以外は暇、というのではなく、全員コミット型の授業になるようにしたい。					
技能・表現の観点: 作品の内容・思想・感情・イメージを伝達するための便宜的手段として日本語への翻訳を試みているが、その際安易な言語意識でなく研ぎ澄まされた言語感覚で臨むようになることを期待したい。					
成績評価方法(総合)					
授業中の発表、熱意、試験得点、出席状況、レポート等を総合して評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
楽しくて知的な授業になればいいと思っています。					
連絡先					
個人情報なので授業で伝達します。					
オフィスアワー					
非常勤講師なのでオフィスアワーは設定できません。					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021210127
開設科目名	比較文化学特論演習			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	小粥 良			区分	
授業の概要					
Andrei S. Markovits & Frank E. Sysyn 編『Nationbuilding and the Politics of Nationalism: Essays on Austrian Galicia』を読み、19世紀後半のオーストリア・ハンガリー帝国のガリチア地方を具体的な例として、多民族・多文化の状況の中での「民族」の意味を考察する。					
授業の一般目標					
近代のナショナリズムの問題を体現する19世紀後半オーストリア・ハンガリー帝国の民族問題を深く考察することで、現代における民族、文化的アイデンティティー等に関連する諸問題と比較するための参照点を得る。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: テキストを丹念に読解し、内容を正確に理解する。					
思考・判断の観点: テキストに関連する資料を、テキストに適切に関連付けて論述することができる。					
関心・意欲の観点: 関連する資料、参考文献を主体的に収集し、調査することができる。					
技能・表現の観点: 難解な英文テキストをきちんと解釈して、読みこなすことができる。学術論文にふさわしい分析的・客観的論述を行うことができる。					
成績評価方法(総合)					
期末レポートによる。出席は欠格条件とし、3分の2以上の出席を必要とする。					
教科書					
／Andrei S. Markovits & Frank E. Sysyn 編:Harvard University Press, 1982 Nationbuilding and the Politics of Nationalism: Essays on Austrian Galicia					
参考書					
メッセージ					
英文テキストの指定された箇所を事前にしっかり読んでおくこと。					
連絡先					
小粥研究室(200-4)					
オフィスアワー					
木曜日 16:30-17:30					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021210128
開設科目名	英語科教育実践研究			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	高橋 俊章			区分	
授業の概要					
外国語としての英語教育における授業内容、方法、学習者、教具、評価などの観点から 英語科授業研究を行う					
授業の一般目標					
特定なテーマ(リスニング、文法など)に関して、実際の教材を用い、様々な観点(指導内容、指導方法、学習者要因、教具の利用方法、評価方法など)から分析し、考察することが出来る。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
発表及び授業への参加度により、総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	2021210129
開設科目名	英語科教育支援実践研究			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	松谷 緑			区分	
授業の概要					
学校あるいは地域社会、団体等において外国語および当該外国語圏の文化について指導教員の指導のもとで教育体験をする。あるいは実地に研修を行う。					
授業の一般目標					
多様な社会的現場における英語に関わる実践的な活動を通して、英語教育に関する現実的問題に対処する能力を身につける。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 英語教育に関する現実的問題についての社会的な位置づけやこれまでの先行研究の概要・問題点を理解できる。					
思考・判断の観点: 英語教育に関する現実的問題への対処について、自らの考えを論理的に展開することができる。					
関心・意欲の観点: 英語教育に関わる諸問題について、広く関心をもち、主体的に考えることができる。諸問題への対処のための積極的な活動ができる。					
態度の観点: 積極的に授業に参加し、内容を理解し、討議を行うことができる。					
技能・表現の観点: 英語教育に関わる諸問題について自分の考えを豊かに表現し、的確に他者に伝えることができる。 問題解決のための技能を高める。					
成績評価方法(総合)					
授業での活動、授業時に課す課題、期末の試験により総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期集中	曜日時限	集中	時間割コード	2021210131
開設科目名	英語学特論II			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	中尾 佳行			区分	
授業の概要					
英語文体論の手法を使って、様々なテキストの言語分析を行い、それを拠り所としてテキストの読みを深めることを目的とする。					
授業の一般目標					
英語文体論の手法を使うことで、テキストの言語を分析し、それを通して読み深めることを目指す。このような方法論を身に付けることは英語教育教材の分析や英語授業での発問作成に有益であると考えている。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 言語学の基礎知識を身に付け、言語を体系立てて見ることができる。					
思考・判断の観点: テキストがどのような言語レベルから構成されているかを知る。					
関心・意欲の観点: テキストの構成に対して、課題意識をもって見ることができる。					
態度の観点: テキストの面白さを言語との関係で自然に見ることができる。					
技能・表現の観点: 単に分析だけでなく、分析したことを体系立てて表現することができる。					
成績評価方法(総合)					
授業外レポートと授業態度・授業への参加度で評価する。					
教科書					
Exploring the Language of Poems, Plays / Michael Short					
参考書					
メッセージ					
必ず出席し、授業に参加してください。					
連絡先					
ynakao@hiroshima-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022101132
開設科目名	学校教育総合研究Ⅱ			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	名島 潤慈			区分	
授業の概要					
日本における学校教育の諸問題について、各担当教員の専門領域の観点から、現代の研究動向を踏まえて、総合的に検討する。					
授業の一般目標					
各担当教員がそれぞれの立場で論じる今日の学校教育の諸問題に関して、理解を深め、自己の観点に立って検討・消化する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
各担当教員から提出されたレポート評価を中心に、全体としての評価を算出する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
学校教育総合研究Ⅱは、心理学関係の教員が担当します。					
連絡先					
福田 廣 : 083-933-5455, hfukuda@yamaguchi-u.ac.jp					
名島潤慈 : 083-933-5465, najima@yamaguchi-u.ac.jp					
田邊敏明 : 083-933-5453, ttanabe@yamaguchi-u.ac.jp					
大石英史 : 083-933-5454, eohishi@yamaguchi-u.ac.jp					
木谷秀勝 : 083-933-5464, kiya@yamaguchi-u.ac.jp					
恒吉徹三 : 083-933-5446, whiteowl@yamaguchi-u.ac.jp					
小杉考司 : 083-933-5448, kosugi@yamaguchi-u.ac.jp					
沖林洋平 : 083-933-5369, yoki@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022101133
開設科目名	学校教育総合研究Ⅱ(特別支援教育)			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	松田 信夫			区分	
授業の概要					
わが国の特別支援教育の諸問題について、学校教育全般を視野におきつつ、現代の教育動向を踏まえながら総合的に考察する。特に、特別支援学校並びに小学校・中学校の特別支援学級及び一般学級に在籍する障害児(特別な支援を必要とする児童生徒)への教育的対応のあり方について、教育心理、発達心理、臨床心理等の心理学的観点より講義する。学校教育現場等での具体的な指導事例や取り組みの内容について視聴覚機器等で紹介し、理論と実践の融合をはかる。					
授業の一般目標					
特別支援教育の基本原則である「個に応じた教育的対応」について、心理学的立場からの実践的知識を獲得し、さらに実践事例との融合をはかることで、特別な支援を必要とする児童生徒への教育をめぐる現状と課題を総合的に理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1. 特別支援教育についての概要と課題が理解できる。					
思考・判断の観点: 1. 専門分野の学習を通して、特別支援教育に対する思考力や判断力を高めることができる。					
関心・意欲の観点: 1. 専門分野の学習を通して、特別支援教育に対する関心や意欲を高めることができる。					
態度の観点: 1. 日常生活の中で特別支援教育の諸問題について主体的に考えることができる。					
成績評価方法(総合)					
レポートによる評価を中心とする。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022101134
開設科目名	教育哲学特論演習			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	西村 正登			区分	
授業の概要					
<p>シュプランガーとベッカー（プロイセン文部省の文部次官・文部大臣）との往復書簡等を基に、2人の人間関係の変化を探り、『教員養成論』の出版やプロイセン教育アカデミー設立への影響について考察する。また、シュプランガーの教員養成論を近代ドイツ教員養成史の中に位置づけながら、その功績と問題点について考察する。さらに、現代のドイツ教員養成と日本の教員養成を比較しながら、わが国の教師教育の現状と課題について考察する。</p>					
授業の一般目標					
<p>1. シュプランガーとベッカーとの往復書簡等を基に、2人の人間関係の変化を探り、『教員 養成論』の出版やプロイセン教育アカデミー設立への影響について考察する。</p> <p>2. シュプランガーの教員養成論を近代ドイツ教員養成史の中に位置づけながら、その功績と問題点について考察する。</p> <p>3. 現代のドイツ教員養成と日本の教員養成を比較しながら、わが国の教師教育の現状と課題 について考察する。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点:1. 往復書簡等を基にして、シュプランガーとベッカーとの人間関係の変化が説明できる。</p> <p>2. シュプランガーとベッカーの人間関係の変化が、『教員養成論』の出版やプロイセン教育アカデミー設立に与えた影響について説明できる。</p> <p>3. 現代のドイツ教員養成と日本の教員養成を比較しながら、わが国の教師教育の現状と課題について説明できる。</p> <p>思考・判断の観点:1. シュプランガーとベッカーとの往復書簡等を分析しながら、2人の人間関係の変化と、それが『教員養成論』の出版やプロイセン教育アカデミーの設立にどのような影響を与えたかについて 考察できる。</p> <p>2. 現代のドイツ教員養成と日本の教員養成を比較しながら、教師教育改革の視点について考察できる。</p> <p>3. シュプランガーの教員養成論を近代ドイツ教員養成史の中に位置づけながら、その功罪について考察できる。</p> <p>関心・意欲の観点:1. 人物研究や思想研究の方法として、書物や論文以外に個人的な書簡類等を調査、分析すること への関心や意欲を高めることができる。</p> <p>2. シュプランガーの教員養成論と現代ドイツや日本の教員養成について学ぶことにより、教員養成改革や教師教育(養成・採用・研修)改革への関心や意欲を高めることができる。</p> <p>態度の観点:1. 人物研究や思想研究の方法として、書物や論文以外に個人的な書簡類を調査、分析する態度を養うことができる。</p> <p>2. シュプランガーの教員養成論と現代ドイツや日本の教員養成について学ぶことにより、教員養成改革や教師教育改革への態度を養うことができる。</p> <p>技能・表現の観点:1. シュプランガーの教員養成論の中に強調されている全人教育や実践的教育力の視点を、教育実習や学校での教育実践に活かすことができる。</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>毎時間、発表者が作成するレジュメとプレゼンテーションを中心にしながら、授業への出席状況や授業態度・授業への参加度を加味して評価する。定期試験は実施しない。</p>					
教科書					
シュプランガーの教員養成論と教師教育の課題／西村正登:風間書房, 2008					
参考書					
メッセージ					
<p>シュプランガーの教員養成論がベッカー等との関係を通してどのように展開し、今日の教員養成にどのような功罪を残していったのかについて学び、考察して行って下さい。</p>					
連絡先					
<p>教育学部・教育哲学研究室</p> <p>内線:5450</p> <p>メールアドレス:masaton@yamaguchi-u.ac.jp</p>					
オフィスアワー					

金曜日 12時～12時50分

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022101135
開設科目名	教育史特論演習			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	福田 修			区分	
授業の概要					
本の近代公教育の特質を明らかにし、現代との連続・非連続の問題を考える。					
授業の一般目標					
日本の近代公教育の特質についての深い理解を得る。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 日本の近代公教育の特質について説明できる。					
思考・判断の観点: 授業で取り上げた問題について、自分の考えをわかりやすく論理的に説明できる。					
関心・意欲の観点: 教育問題を歴史的に考察しようとする。					
態度の観点: 教育について継続的に考え議論を積み上げることができる。					
成績評価方法(総合)					
毎回の発表内容を評価する。欠席回数が授業実施回数の3分の1以上に及んだ場合は単位は認められない。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022101136
開設科目名	教育メディア特論演習			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	林 徳治			区分	
授業の概要					
受講生各自が取り組む研究テーマについてのレジュメや資料作成、プレゼン用提示用教材の作成技術について演習を通して実践力を習得する。そこで、プリント教材、OHP、ビデオ、パソコンなどさまざまな教材教具としての教育メディアを活用した教材開発やプレゼンテーション技術(表現伝達能力)の演習を通して実践力を習得する。プレゼンテーションの訓練法としてマイクロプレゼンテーションを実施する。また e ラーニングなどICTを活用した授業技術についてその特徴を習得する。					
授業の一般目標					
1.パソコンなど各種教育メディアを活用した教材作成ができる 2.自己表現伝達技術としての効果的なプレゼンテーションができる 3.インターネットを利用したWeb学習を体験し、ICT を活用した授業技術の特徴を理解できる					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: レジュメの作成方法、プレゼン用提示用ソフトを利用した教材など、各種教育メディアを活用した教材設計・実施・評価					
思考・判断の観点: 論理的、批判的な思考力と判断力					
受容・妥協能力					
討議能力					
内在化した思想を外化、課題解決に向けて連結する能力					
関心・意欲の観点: 他者へ自分の考えを適切に表現伝達する手段としての教育メディアの意義や役割および特徴					
態度の観点: 各自の研究テーマのプレゼンについて自発的、独創的に取り組む					
技能・表現の観点: レジュメ作成					
プレゼン技術					
成績評価方法(総合)					
e ラーニングや本授業を通して作成したレジュメ、プレゼン用教材、プレゼン評価を総合して評価する。					
教科書					
情報社会を生き抜くプレゼンテーション技術/林徳治:ぎょうせい					
参考書					
必携!相互理解のためのコミュニケーション実践学/林徳治・沖 裕貴:ぎょうせい					
情報教育の理論と実践/林徳治・宮田仁:実教出版					
メッセージ					
受講者個々の研究テーマについて、近い将来研究会や学会でプレゼンすることを想定した際に必要なレジュメ作成能力やプレゼン技術(含む演示教材作成)について習得します。					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022101137
開設科目名	教育方法学特論			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	未 定			区分	
授業の概要					
現象学を中心とする教育方法に関する研究書を精読し教育法法学の基礎を学ぶ。テキストを分担精読、発表。					
授業の一般目標					
教育方法研究における自分に適した手法を選択できるようになる					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 精読するテキストを的確に深く読めるようになる					
思考・判断の観点: 教育方法に関し自分の観点から課題、テーマを設定できるようになる					
関心・意欲の観点: 広義での教育の問題、人間理解の問題について多様な考え方を学ぶ					
態度の観点: 分担発表の責任を果たす、他の人の発表を積極的に聴く					
成績評価方法(総合)					
発表					
教科書					
『教育の現象学』 / 中田基昭; 河島書店, 1996					
参考書					
メッセージ					
教育方法に関し自由に発言してもらいます。活発な議論を求めます。					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022101138
開設科目名	教育制度特論演習			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	佐々木 司			区分	
授業の概要					
教育制度について、各自調査研究を行い発表する。					
授業の一般目標					
自分が設定したテーマ、計画に従って調査研究を遂行し、課題や改革案を論理的に提示する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
受講者の発表、発表への準備状況、態度・参加度を総合して評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
授業の詳細については、第1回目の授業(オリエンテーション)で詳しく伝える。相当量の子習を前提としている。					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022101139
開設科目名	教育社会学特論			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	田中 理絵			区分	
授業の概要					
<p>教育社会学の視点から、教育問題を読み解くことを目的とした授業です。教育問題は馴染み深い問題であるため、思いこみによって語られる傾向があります。そこで、本授業では、この「思いこみ」を括弧に入れて、改めて今日問題となっている教育事象について理解しようとするものです。</p>					
授業の一般目標					
<p>(1)現代的教育問題に関する深い知識・理解を習得する。 (2)教育問題を考える際に必要な視点・方法論の再考を行う。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点:①教育社会学における学術用語、問題を見る視点を理解する。 思考・判断の観点:①固定的・画一的な視点から脱し、批判的・客観的に、柔軟な着想をもつことができる。 関心・意欲の観点:①深く、問題関心を抱くことができる。また問題の解決に向けて意欲的に行動ができる。 態度の観点:①真摯な態度で、問題に迫ることができる。</p>					
成績評価方法(総合)					
毎回の発表・質疑応答・討論への参加の様子を総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
真摯な態度で臨んでください。					
連絡先					
田中理絵・教育社会学研究室(ta-na@yamaguchi-u.ac.jp)					
オフィスアワー					
水曜日 10:20-12:00					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022101140
開設科目名	国際理解教育特論演習			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	石井 由理			区分	
授業の概要					
前期で学んだ国際理解教育の基本的な知識をもとに、受講者が特に興味をもっているテーマについてさらに学習を進め、理解を深めることができるよう、受講者の学習を支援する。					
授業の一般目標					
国際理解教育の理念を理解し、特定のテーマについて実践をするために必要な知識を深め、自分自身の意見を持つことができる。 国際理解教育に含まれる地球的視野とはどのようなことかについて、その概念を理解できる。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 国際理解教育とは何かを理解できる 国際理解教育の地球的視野を学ぶための特定のテーマについての知識を広げる。					
思考・判断の観点: 国際理解教育とよばれる分野の複雑さの背景を自分の意見として述べられる。 批判的な思考ができる。					
関心・意欲の観点: 自分の知らなかった事柄について、関心をもち、それに対する自分の意見を述べることができる。					
態度の観点: 自分を他者との相対関係の中で見ようとする態度を持つ。					
技能・表現の観点: 自分の意見を論理的に記述することができる。					
成績評価方法(総合)					
授業中のプレゼンテーションおよび学期末のレポートによる。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
教育学部200-1研究室					
オフィスアワー					
初回授業時に指示。					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022101141
開設科目名	特別支援教育特論演習			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	松田 信夫			区分	
授業の概要					
受講者がこれまで主体的に関心を持ち、あるいは学校教育現場等で取り組み続けてきた内容に関する専門的文献(例「特殊教育学研究」「発達障害研究」「教育心理学研究」等)に掲載された論文をもとに、その内容を詳細に発表し、全員で討論する。この学習活動を通し、障害児への教育的指導の具体について演習する。					
授業の一般目標					
実践事例との融合をはかることで、特別支援教育における現状と課題についての実践的知識を獲得させ、特別な支援を必要とする児童生徒への教育をめぐる現状と課題を総合的に理解させる。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1. 特別支援教育における指導の基本原則である「個に応じた指導」の具体を説明できる。					
思考・判断の観点: 1. 特別支援教育の指導に関する自分自身の課題を把握し、改善策を具体的に講じることができる。					
関心・意欲の観点: 1. 特別支援教育の指導事例を詳細に検討することを通し、知的障害児、自閉症児、肢体不自由児等への望ましい指導のあり方を具体的に探求する態度を身につける。					
成績評価方法(総合)					
(1)レジュメをもとに発表し、討議(協議)するという形式で進める。ポイントを押さえた理解しやすい発表であること、そして、討議(協議)に積極的に参画することが評価の重要な要素である。(2)特別な理由なく、出席が所定回数に満たない者には単位を与えない。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022101142
開設科目名	特別支援教育心理学特論演習 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	松岡 勝彦			区分	
授業の概要					
<p>知的障害、自閉性障害、LD、ADHD、アスペルガー障害等(肢体不自由を含む)の児童生徒に対して、問題解決の心理学(応用行動分析)の立場から具体的な支援のあり方について検討する。さまざまな指導技法や評価方法等が実際の教育、家庭(地域)等の現場でどのように適用されているのかについて学習する。主として、先の現場で行われている実践研究が掲載された論文集を用い、授業の前半は受講生によるプレゼンテーション(質疑の時間も設定する)、後半は重要なポイントの解説およびディスカッションを積極的に取り入れる。</p>					
授業の一般目標					
<p>知的障害、自閉性障害、LD、ADHD、アスペルガー障害等(肢体不自由を含む)の児童生徒への支援方法を習得すること、教育、家庭(地域)等の現場でいかに応用されているのかを知ること、これらを踏まえ、受講生が上記のような現場において適切な支援ができるための基礎力を身につけることを目標とする。</p>					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022101143
開設科目名	特別支援教育心理学特論演習Ⅱ			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	吉田 一成			区分	
授業の概要					
自閉症を中心とする障害児の心理特性と支援の具体に関する先行研究について演習形式で論考する。					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022101144
開設科目名	障害児臨床心理学特論II			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	吉田 一成			区分	
授業の概要					
自閉症をはじめとする発達障害の心理臨床について先行研究・先行指導事例について論考する。					
授業の一般目標					
1. 臨床心理学の視点から発達障害児やその家族に対する支援を論究できるか 2. 教育・医療・福祉・労働等が連携した障害児支援と心理臨床との関係性を理解できるか					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022101145
開設科目名	幼児教育方法特論演習			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	未定			区分	
授業の概要					
保育という営みを学ぶとともに、環境による教育や遊びによる教育の方法、保育の評価や幼小の連携など、実践的な内容について演習を通して考察を深めていく。					
授業の一般目標					
保育の原理を改めて考えるとともに、演習を通して保育の内容と方法、保育の評価、幼小の連携の在り方などを含めた保育の営みについて自分なりのイメージを整理しながら実践的な感覚を身につける。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席、授業への関心・意欲、及び、レポートをもとに総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022101146
開設科目名	幼児臨床心理特論演習			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	白石 敏行			区分	
授業の概要					
乳幼児期の発達等に関する論文を購読し、討議することを通して、乳幼児期の子どもの実態や研究方法等について検討する。					
授業の一般目標					
乳幼児期の子どもの実態および研究方法について理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 乳幼児期の子どもの実態について説明することができる。					
関心・意欲の観点: 他者との討議に積極的に参加することができる。					
成績評価方法(総合)					
出席、討議での質疑応答、論文のプレゼンテーション等をもとに総合的に評価する。 特別な事情を除き、3回以上欠席した場合には、評価対象外とする。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
幼児期の子どもを理解したい方の受講を望みます。 受講までに「幼児臨床心理特論」を履修し、単位を取得していること。					
連絡先					
研究室:教育学部4階 404室 電話・ファックス:083-933-5330 メールアドレス:t-shira@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
随時					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022101147
開設科目名	保育内容特論演習			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	越中 康治			区分	
授業の概要					
各自の興味・関心に基づいて文献の講読を行い、保育内容、幼児教育、幼児心理等に関する討議を行う。					
授業の一般目標					
各自の興味・関心に応じて論文を読み、自らの問題意識を明確にする。					
各自の興味・関心に応じて、研究に必要な基本的事項を理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 各自が興味・関心をもった事柄に関する基本的事項を理解することができる。					
思考・判断の観点: 各自の興味・関心に応じて論文を読み、討議を通して理解を深めることができる。					
関心・意欲の観点: 討議に積極的に参加することができる。					
技能・表現の観点: 各自の興味・関心に応じて論文を読み、その内容を適切な方法・表現でわかりやすく説明できる。					
成績評価方法(総合)					
授業への参加及び授業における発表をもとに評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
教育学部4F(406室)越中研究室					
083-933-5443					
etchu@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
随時					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022101236
開設科目名	課題研究			単位	1 単位
対象学生				学年	～
担当教員	未定			区分	
授業の概要					
研究テーマに関連する国内外の論文を参考に、予備実験や予備調査の計画を立て、それに基づいて予備実験や予備調査を行い、その結果について検討する。					
授業の一般目標					
研究テーマに関連する国内外の論文を参考に、実験や調査の計画立案がある程度できる。					
研究テーマに関連する実験や調査の基本的な方法論が理解でき、それを適切に実践できる能力を身につける。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 研究テーマに関連する実験や調査の基本的な方法論が理解できる。					
思考・判断の観点: 文献の内容を科学的に考察し、問題点・疑問点を的確に指摘することができる。					
関心・意欲の観点: 研究テーマに関する調査の計画立案について、主体的に考えることができる。					
態度の観点: 研究計画の立案および研究の開始にあたり、そのための時間を積極的に作り出そうとすることができる。					
技能・表現の観点: 研究テーマに関連した調査を適切に実践できる基本的な能力を身につける。自らの研究計画を、適切な方法・表現で説明することができる。					
成績評価方法(総合)					
研究計画を科学的に立案し、わかりやすく説明することができるかを主要な評価基準とする。また、文献、調査方法、実験方法・実験機器等に関する知識・理解とともに、文献調査、調査方法、実験方法の検討など研究計画の立案に主体的に取り組もうとしたか、速やかに実質的な研究を開始することができたかも重視する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
各指導教員					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022101237
開設科目名	課題研究			単位	1単位
対象学生				学年	～
担当教員	未定			区分	
授業の概要					
本実験や本調査で得られた結果をまとめ、修士論文として完成させる。また、口頭発表の仕方等についても習得する。					
授業の一般目標					
研究結果やそこから得られる見解を、文章や口頭で適切に表現できる能力を身につける。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 研究結果やそこから得られる見解を、文章や口頭で適切に表現する方法論が理解できる。					
思考・判断の観点: 研究結果から適切な見解を導き出すことができる。					
関心・意欲の観点: 研究をまとめることについて、主体的に考えることができる。					
態度の観点: 研究成果を科学的・客観的にまとめようとする自主的な態度を保つことができる。					
技能・表現の観点: 研究結果やそこから得られる見解を、文章や口頭で適切に表現できる。					
成績評価方法(総合)					
得られた研究成果が修士論文として十分な内容を持つか評価した上で、論文としてのまとめ方、発表の仕方、最終審査会でのプレゼンテーションなどを含めて、総合的に評価する。					
修士論文は下記の項目に基づいて審査される。					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校または地域社会の教育文化の発展に資する内容である。 2. 研究テーマが修士の学位に対して妥当なものであり、論文作成にあたっての問題意識が明確である。 3. 当該研究領域における関連諸研究が十分踏まえられており、その中で研究課題を適確に把握している。 4. 適切な研究方法、調査・実験方法、あるいは論証方法により、具体的な分析・考察がなされている。 5. 論文の記述が十分かつ適切であり、結論に至るまで首尾一貫した論理構成になっている。 6. 当該研究領域の見地から、相当の価値を有するものとなっている。 					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
各指導教員					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022102148
開設科目名	教育心理学特論演習			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	田邊 敏明			区分	
授業の概要					
学校において、教師、児童、生徒が生み出す諸現象を分析し、教科指導、および生徒指導・進路指導を行う上で実際に役立つ知見を、適宜実習を行いながら得ていく。特に現在学校現場で問題とされていることの解決に向けて、その対策を示したい。					
授業の一般目標					
現代の学校が立ち向かっている問題について具体的な対応策が描けるような授業でありたい。たとえば、それは学力低下問題であったり、また子どもたちに見られる意欲の減退であったり、さらにはいじめ、不登校、軽度発達障害、さらには虐待を受けた子どもへのケアであったりする。それら問題のさなかにいる子どもに寄り添えるような、そして心の育ちに貢献できるような方法を考えていきたい。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 現在の学校現場が抱えている問題点を認識する。					
思考・判断の観点: 学校現場が抱えている問題点を、社会的な変化や、その影響を受けた親の観点とか、さまざまな角度から考えていく。					
関心・意欲の観点: 問題点に関して、学校臨床から見てどのような解決法が可能であるか、自分なりの答えを打ち出す。					
態度の観点: 実際に心理臨床家としてどのような行動や態度を示していけばよいかをイメージすることができる。					
成績評価方法(総合)					
各自に関連する研究の発表を義務づける。そして発表の準備状況や内容を評価する。また授業へ参加する態度も重要な評価対象となる。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
単に学校現場の問題点をあげるだけに終わらず、それらの一つひとつに対して自分の視点をもって解決していく姿勢を求めたい。					
連絡先					
E-mail ttanabe@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
火曜日 18:00～19:00					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022102149
開設科目名	発達心理学特論			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	沖林 洋平 [OKIBAYASHI Yohhei]			区分	
授業の概要					
大学院の授業において、発達心理学の諸理論に関する専門的、発展的知識を身につける。					
授業の一般目標					
発達心理学の諸理論に関する発展的、専門的知識を身につけること。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 自己の深い理解の上で、発達心理学に関する知識を確実に吸収する。					
思考・判断の観点: 与えられる知識やデータを受動的に受け入れるだけでなく、自ら考え、自らの判断に基づいて理解を深める。					
関心・意欲の観点: 日常生活に密接に関連した内容を多く含むことになり、興味・関心の多大な学問として、意欲的に取り組む姿勢を身につける。					
態度の観点: 展開される授業を単に受動的に参加するのではなく、積極的な態度で臨むことができる。					
技能・表現の観点: 研究のあり方や分析の方法などの基本的な技能について理解し、それを適切に表現できる。					
その他の観点: 科学としての「心理学」として位置づける。					
成績評価方法(総合)					
出席、授業態度、発言、授業における資料作成等を総合的に評価する					
教科書					
発達心理学特論／内田伸子・氏家達夫: 放送大学出版振興会, 2007					
参考書					
メッセージ					
授業での積極的な発言を求める					
連絡先					
沖林研究室 yoki@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022102150
開設科目名	社会心理学特論			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	小杉 考司			区分	
授業の概要					
現代社会心理学の原理・原則・理論を知り、それに基づいて思考および判断ができるようになる。					
授業の一般目標					
現代社会心理学の原理・原則・理論を知り、それに基づいて思考および判断ができるようになる。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 「社会的な存在」という観点から人間、集団、社会を見ることができるようになる。					
思考・判断の観点: 心理学に於ける客観性の基礎としての、社会の意義を知る。					
関心・意欲の観点: 従来の社会心理学が何を指し、何を得、何を達成できなかったのかを整理して考えることができるようになる。					
成績評価方法(総合)					
レポート及び討論の内容を評価する					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
小杉研究室					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022102151
開設科目名	心理統計法演習			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	福田 廣			区分	
授業の概要					
心理学研究(特に、実証的、因果論的アプローチによる)を行う際に必要な、基本的な研究計画、測定、心理統計法にかかわる諸問題について、国内外の文献を用いて論考する。					
授業の一般目標					
統計解析の結果から意味ある智を導出することができるようになる。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 統計的指標についての基本的な知識を得る。					
思考・判断の観点: 統計的指標から人間の心を理解する情報を導出する。					
成績評価方法(総合)					
以下の観点別評価に基づき、総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
社会調査士のための多変量解析法／小杉考司:北大路書房, 2007					
心理教育のための統計法(第二版)／山内光哉:サイエンス社					
因子分析法／芝 祐順:東京大学出版会					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022102152
開設科目名	心理療法特論			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	恒吉 徹三			区分	
授業の概要					
講義では、面接者とクライアントの関係をいかに理解するかについて講義する。講義は、毎回学生によるプレゼンテーションを行い、議論を深めていく。					
授業の一般目標					
心理臨床場面における、面接者とクライアントの関係を理解する視点について学ぶ。特に、対象関係論の観点からクライアントと面接者の関係の理解の方法や視点について学ぶことを目標とする。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 心理療法の基本的な概念を説明できる。					
思考・判断の観点: 面接者と来談者の関係についての基本的な理解ができる。					
成績評価方法(総合)					
講義では、受講生によるプレゼンテーションを行い、これをもって成績評価を行う。さらに、発表後に発表当日の討論を踏まえてさらに要約をレポートとして提出する。これらにより、総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
劇的な精神分析／北山修:みすず書房, 2007					
患者から学ぶ、ノバトリック・ケースメント(松木訳):岩崎学術出版社, 1991					
さらに患者から学ぶ／パトリック・ケースメント(矢崎訳):岩崎学術出版社, 1995					
対象関係論の基礎／松木邦裕編・監訳:新曜社, 2003					
精神分析事典／小此木啓吾編集代表:岩崎学術出版社, 2002					
メッセージ					
心理療法は、面接者とクライアントの対話を通して自己理解を深める場でもあるので、議論への積極的な参加を期待したい。					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022102153
開設科目名	臨床心理学特論Ⅱ			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	大石 英史			区分	
授業の概要					
主として不登校・ひきこもりに関する文献及び資料をもとに、教育臨床現場が抱えている現代的課題について議論を深めるとともに、臨床心理学を学んだ援助者としてのかかわり方について理解していきます。					
授業の一般目標					
様々な教育臨床場面における実践的知識と人を援助するときの基本的態度を身につけることが目標となります。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 不登校・ひきこもりケースの背景にある問題を、個人、家族、学校、社会という4つの視点から幅広く理解できる。					
思考・判断の観点: 一人の人間を多様な文脈を視野に入れ、常に全体的存在として理解していくことができる。					
関心・意欲の観点: ひとつ一つの臨床ケースに関心を持ち、粘り強くかかわっていくことができる。					
態度の観点: 自分自身への問いを通して、人への援助を考えていくことができる。「省察的態度」の獲得。					
技能・表現の観点: 担当箇所に関する発表において、しっかりとした問題提起ができる。レポート課題において自分の考えをまとめ自分の言葉で表現できる。					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022102154
開設科目名	臨床心理査定演習Ⅱ			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	名島 潤慈			区分	
授業の概要					
臨床的な心理査定の理論・技法について考究する。					
授業の一般目標					
心理査定のやり方を具体的に習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 臨床的な心理査定とは何かということを深く理解できる。					
思考・判断の観点: どのような場面でどのような心理テストを用いたらよいかをきちんと判断できる。					
関心・意欲の観点: 心理査定というテーマを意欲的に考究する。					
態度の観点: 真面目に出席する。					
技能・表現の観点: 心理テストをきちんと実施できる。					
成績評価方法(総合)					
レポート、授業態度、出席などから総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
最終レポートの題目は、「新しい投映法を何か一つ考案して、それを実際に被検者に適用して、その臨床的妥当性を検討する。テストは、既存の投映法をもとにして発展させたものでもよい」というものです。がんばって下さい。					
連絡先					
najima@yamaguchi-u.ac.jp 083-933-5465					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022102155
開設科目名	臨床心理面接特論 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	木谷 秀勝			区分	
授業の概要					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022102156
開設科目名	臨床心理基礎実習			単位	1単位
対象学生				学年	～
担当教員	名島 潤慈			区分	
授業の概要					
心理臨床場面における実践上の基本的な事柄について具体的に学ぶ。心理臨床家としての倫理や心理面接場面における傾聴的態度など、ロールプレイや資料に基づいて体験的に学習する。					
授業の一般目標					
心理臨床場面における実践上の基本的態度や知識を具体的に修得し、心理臨床家としての倫理や心理面接場面における基本的態度などについて、体験的に理解を深める。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
小テスト/授業内レポート = 40～60%					
授業態度や授業への参加度 = 20～40%					
演習 = 20～40%					
出席 = 20～40%					
教科書					
参考書					
メッセージ					
具体的な実践上の諸課題について体験的に学びますので、積極的に参加してください。					
連絡先					
名島潤慈 : 083-933-5465, najima@yamaguchi-u.ac.jp					
田邊敏明 : 083-933-5453, ttanabe@yamaguchi-u.ac.jp					
大石英史 : 083-933-5454, eohishi@yamaguchi-u.ac.jp					
木谷秀勝 : 083-933-5464, kiya@yamaguchi-u.ac.jp					
恒吉徹三 : 083-933-5446, whiteowl@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022102157
開設科目名	臨床心理実習			単位	1単位
対象学生				学年	～
担当教員	名島 潤慈			区分	
授業の概要					
心理臨床の実際場面での実習を行う。本実習においては、以下の2種類の実習を行う。					
(1)山口大学大学院教育学研究科附属「臨床心理センター」で実際にケースを担当し、面接・相談の進め方等について実習する。なお、ケースカンファレンスを2週間に1回の割合で行う。					
(2)病院実習として以下の2施設の中、どちらかを選択して実習する。					
[A]山口大学医学部附属病院「精神科神経科」					
[B]山口県「小郡まきはら病院」					
授業の一般目標					
心理臨床の実際場面での実習を行い、ケースを担当し、相談・面接の進め方について学習する。特に、臨床場面における具体的な事例に直面しながら、基本的方針を確認し、心理臨床家として経験する諸問題への対処の仕方について学ぶ。また、病院実習として、実際の精神科病院で実習を行い、さまざまなクライアントについて理解を深める。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
レポートや出席によって評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
「実習」としての意義を理解し、積極的に参加して下さい。					
連絡先					
名島潤慈 : 083-933-5465, najima@yamaguchi-u.ac.jp					
田邊敏明 : 083-933-5453, ttanabe@yamaguchi-u.ac.jp					
大石英史 : 083-933-5454, eohishi@yamaguchi-u.ac.jp					
木谷秀勝 : 083-933-5464, kiya@yamaguchi-u.ac.jp					
恒吉徹三 : 083-933-5446, whiteowl@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022201158
開設科目名	国語科教育特論演習 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	藤原 マリ子			区分	
授業の概要					
今日の国語科教育が抱える問題のうちから、各自の研究テーマに沿った課題について発表し、全員で討議を加え、各自の研究の深化を図る。					
授業の一般目標					
1・発表・自由討議を経て、広い視野を培い、各自の研究を深める。					
2・研究成果を、実際の学習指導の改善に活かす方途を探る。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 国語科教育の諸問題の背景について説明できる。					
思考・判断の観点: 問題点を指摘し、考察を加えることができる。					
関心・意欲の観点: 国語科の諸問題に強い関心をもち、実際のかきしゅうしどう改善に活かす意欲を持つ。					
態度の観点: 広い視野から、課題を検討することができる。					
技能・表現の観点: 自己の見解を口頭や文書で的確に表現することができる。					
成績評価方法(総合)					
授業中の発表内容等により評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022201159
開設科目名	国語科教育特論演習Ⅱ			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	岸本 憲一良			区分	
授業の概要					
国語科教育において各自が問題意識をもつ事柄について調査、研究を行い、各自の見解を踏まえて発表し、検討する。					
授業の一般目標					
国語科教育において各自が問題意識をもつ事柄について調査、研究を行い、発表、討議を通して認識を深める。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 国語科教育において各自が問題意識をもつ事柄について理解し、説明することができる。					
思考・判断の観点: 国語科教育において各自が問題意識をもつ事柄について考察し、自分なりの考えを述べるすることができる。					
関心・意欲の観点: 国語科教育において各自が問題意識をもつ事柄について、意欲的に探究することができる。					
態度の観点: 積極的に調査、研究にあたることができる。					
技能・表現の観点: 調査結果や自己の見解を適切に表現することができる。					
成績評価方法(総合)					
各自の発表の内容、討議への参加態度等により、総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022201160
開設科目名	国語学特論演習 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	有元 光彦			区分	
授業の概要					
<p>本授業は、前期開講の「国語学特論 I」を踏まえて、斬新な観点からの文法教育教材を開発することを目的とする。受講生自らが開発した教材のプレゼンテーション、及びそれに対する議論が中心となる。</p>					
授業の一般目標					
<p>(1)新しい観点からの文法教育教材を創造できる。 (2)提示された教材に対し、主体的に討議できる。 (3)文法教育教材の開発に高い関心を示す。</p>					
授業の到達目標					
<p>思考・判断の観点: 1. 斬新な観点からの文法教育教材を段階的に組み立てることができる。 2. 提示された教材に対し、論理的に討議できる。 関心・意欲の観点: 1. 文法教育教材の開発に意欲的に参加できる。</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>(1)教材開発の成果・発表の仕方を評価する。 (2)授業中の議論への参加度を評価する。 なお、出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。</p>					
教科書					
参考書					
メッセージ					
斬新なアプローチを開発して下さい。					
連絡先					
arimoto@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022201161
開設科目名	国語学特論Ⅲ			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	中野 伸彦			区分	
授業の概要					
国語史上における近世語、主として江戸語に関わる問題点について、いくつかのテーマをとりあげて考えていく。受講者にも、それぞれが興味を持ったテーマについての調査を行ってもらい、その結果の発表とそれに対する討議を行ないながら、授業を進めていく。					
授業の一般目標					
国語史上の近世語について、理解を深めながら、日本語を歴史的に見ることへの関心を高める。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 国語史上の近世語に関わる問題点について理解できる。					
思考・判断の観点: 日本語について、歴史的に考えていくことができる。					
関心・意欲の観点: 日本語を歴史的に見ることに興味を持つことができる。					
成績評価方法(総合)					
授業時の発表やそれについての討議への参加状況により評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
メールアドレス:n.nakano@yamaguchi-u.ac.jp					
研究室:教育学部4階					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022201162
開設科目名	国文学特論演習 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	吉村 誠			区分	
授業の概要					
万葉集を中心として、各自で問題を設定し、発表する。					
授業の一般目標					
調べ方、プレゼンテーションの方法を身につける。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
対象とする内容の深まり、発表のわかりやすさなど。 最後にはそれをまとめたレポートを作成する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022201163
開設科目名	国文学特論演習Ⅱ			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	林 恒徳			区分	
授業の概要					
各自の研究テーマに即して研究発表を行い、検討を加え、研究の深化を図る。					
授業の一般目標					
各自の研究テーマを深化させ、論文にまとめる。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 各自の課題の先行研究の概要を説明できる。					
思考・判断の観点: 課題について多角的に考察を加えることができる。					
関心・意欲の観点: 課題に強い関心を持ち、意欲的に研究活動を行うことができる。					
態度の観点: 主体的かつ積極的に課題に取り組むことができる。					
技能・表現の観点: 自己の見解を論理的に明快に表現することができる。					
成績評価方法(総合)					
授業における発表内容で評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022201164
開設科目名	国文学特論演習Ⅲ			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	村上 林造			区分	
授業の概要					
作品研究を演習形式で行う。受講生は全員レポートを書き、作品について討議する。					
授業の一般目標					
作品分析の実際を通して、分析力と自分の作品解釈を表現する力を身につける。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 作品分析の知識を身につける。					
思考・判断の観点: 作品分析に必要な思考力を身につける。					
関心・意欲の観点: 作品分析に意欲的に取り組むことができる。					
態度の観点: 作品分析に真面目かつ熱心に取り組むことができる。					
技能・表現の観点: 作品分析において必要な技能と表現力を身につける。					
成績評価方法(総合)					
演習への参加態度とレポートによって、総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022201165
開設科目名	漢語漢文学特論演習			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	南部 英彦			区分	
授業の概要					
中国の歴史・思想・文学のいずれかの領域にわたる漢文資料を担当制により選読していく。(担当者が、漢文読解の成果を発表し、それを受講者全員で討議するという授業形式をとる。)					
授業の一般目標					
漢文読解の成果を発表し、またそれを討議するという訓練を通して、漢文資料の趣意に肉薄するという経験を積もうとする。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 資料読解にあたり、必要な知識を得て、その結果、適切な内容理解が得られているか。					
思考・判断の観点: 資料の綿密な読解に基づき、適切な思考・判断が展開できているか。					
態度の観点: 受講時、真摯な姿勢で学問に臨んでいるか。					
成績評価方法(総合)					
授業中でのレジメによる発表と他の受講者に対する討議の姿勢を勘案して行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
漢和辞典を一冊用意されたい。					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022202166
開設科目名	社会科教育特論Ⅱ			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	吉川 幸男			区分	
授業の概要					
古今内外のさまざまな社会科授業実践における内容構成と学習過程の理論と実際について、認識論、学習論、発達論などの観点から分析検討する。					
授業の一般目標					
1. 学校における社会科授業実践のみならず、さまざまなメディア媒体による社会認識形成的な営みに対し、社会認識形成の視点から分析検討できるようになる。					
2. 上記の分析検討成果に立って、新たな社会認識教育構想への視点を提言できる。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 下記授業計画の「全体」に示すような分析考察の観点について、その概念・論点を述べることができる。					
思考・判断の観点: 分析対象となる資料に対し、社会認識形成の視点から分析考察できる。					
関心・意欲の観点: 社会認識にかかわる対象を自ら見出し、独自の分析観点を提案できる。					
態度の観点: 毎回の授業に出席し、積極的に意見を述べることができる。					
技能・表現の観点: 論点を明確にした議論可能な発表資料を作成でき、発表できる。					
成績評価方法(総合)					
授業参加度、発表時の資料、演習を総合して評価する					
教科書					
参考書					
メッセージ					
本授業は演習であり、積極的な発表と発言が求められる。					
連絡先					
E-Mail: yoshcowr@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022202167
開設科目名	自然地理学特論			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	貞方 昇			区分	
授業の概要					
修士課程レベルの学生にとっての、自然地理学的な見方・考え方を学ぶ。とりわけ地域の自然環境が、そこに住む人々にとってどういう意義を持つものか考えたい。					
授業の一般目標					
修士課程レベルの学生にとっての、自然地理学的な見方・考え方を学ぶ。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
受講者の授業参加の内容を総合的に判断して評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
sadakata@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
火曜日 11:50～12:50					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022202168
開設科目名	経済学特論			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	阿部 新 [ABE Arata]			区分	
授業の概要					
近年の経済学における中心的議論について文献講読を通して学ぶ。					
授業の一般目標					
現代社会が抱えるさまざまな問題、矛盾を読み解き、解決策を探るための経済学的手法の習得を目指す。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
受講者の発表(プレゼン)、期末レポートで評価をする。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022202169
開設科目名	宗教学特論			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	岡村 康夫			区分	
授業の概要					
「宗教とは何か」を宗教学的立場から明らかにする。					
授業の一般目標					
具体的な宗教的文献を読み解きながら、「宗教とは何か」を学ぶ。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 仏教やキリスト教の基本的知識を獲得する。					
思考・判断の観点: 「宗教とは何か」を考える。					
関心・意欲の観点: 宗教に対する関心を喚起する。					
態度の観点: 人生に対する真摯な態度を培う。					
技能・表現の観点: 読解力を養う。					
成績評価方法(総合)					
毎回のレポート報告によって評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022203170
開設科目名	数学教育特論Ⅱ			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	関口 靖広			区分	
授業の概要					
数学教育におけるさまざまな研究動向について概説する。					
授業の一般目標					
数学教育におけるさまざまな研究動向について理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 数学教育におけるさまざまな研究動向について理解する。					
思考・判断の観点: 数学教育におけるさまざまな研究動向について自分なりの考察ができる。					
成績評価方法(総合)					
授業参加度					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
連絡は ysekigch の後に, @yamaguchi-u.ac.jp をつけてメールでお願いします。					
オフィスアワー					
火曜日 11:00-12:00					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022203171
開設科目名	数学教育特論演習Ⅱ			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	関口 靖広			区分	
授業の概要					
数学教育の最近の研究文献についてセミナー形式で検討を行なう。					
授業の一般目標					
数学教育の最近の研究文献について理解し自分なりの考察ができる。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 数学教育の最近の研究文献について理解する。					
思考・判断の観点: 数学教育の最近の研究文献について自分なりの考察ができる。					
成績評価方法(総合)					
授業参加度					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
連絡は ysekigich に, @yamaguchi-u.ac.jp をつけてメールでお願いします					
オフィスアワー					
火曜日 11:00-12:00					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022203172
開設科目名	代数学特論演習			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	笠井 伸一			区分	
授業の概要					
代数学特論 I に続いて、輪講形式で授業を行う。					
授業の一般目標					
代数学特論 I に続いて、代数的な考え方を修得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 代数的な考え方。					
思考・判断の観点: 代数的な考え方。					
関心・意欲の観点: 授業における意見発言等による参加。					
態度の観点: 発表を担当する際の準備状況。					
技能・表現の観点: 数学に関する内容の発表力、表現力。					
成績評価方法(総合)					
授業態度や授業への参加度、 発表の際の知識・理解、技能・表現 出席 = 欠格条件					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022203173
開設科目名	代数学特論II			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	飯寄 信保			区分	
授業の概要					
現代近代の代数学にあらわれる数学についての演習をセミナー形式で行う。					
授業の一般目標					
代数学分野においてだけでなく、数学活動において必ず現れる数についての基礎知識を充実させる。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 抽象的な思考と実際の現象を結びつけて考察できるような力を身につける。					
成績評価方法(総合)					
授業の演習・レポートを総合的に判断し評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
飯寄研究室(教育 286 室)					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022203174
開設科目名	幾何学特論演習			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	佐藤 好久			区分	
授業の概要					
各自が幾何学のテーマを選択し、これにあう専門書を熟読する。その内容を発表する。 特に、幾何学特論Ⅱで講義する内容についての演習をする。					
授業の一般目標					
幾何学の考え方を理解し、それを表現することができるようになる。また、それを伝えることができるようになる。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
レポート、受講態度などから総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022203175
開設科目名	幾何学特論II			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	佐藤 好久			区分	
授業の概要					
<p>微分位相幾何学や微分幾何学、代数幾何学の中からトピックを選んで幾何学の考え方について学習する。特に、初等・中等教育における算数・数学と関連する話題を選び、教材作りの手助けをする。</p> <p>今年度は、前期の幾何学特論 I に続いて、「空間のタイル張り」(tessellation) をテーマに、ユークリッド幾何学における3次元図形の対称性を学習する。輪講形式で授業を行う。</p>					
授業の一般目標					
幾何学の考え方を理解し、それを表現することができるようになる。また、それを教材作りに生かすことができるようになる。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
発表内容、受講態度などから総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022203176
開設科目名	解析学特論II			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	渡邊 正			区分	
授業の概要					
解析学に係る現代的なトピックに関して、適任者が解説する。					
授業の一般目標					
どのような問題が研究されているのかを知る。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 最新の知識を獲得する。					
思考・判断の観点: 最新の問題点を理解する。					
態度の観点: 新しい現代的な問題にチャレンジする態度をもつ。					
成績評価方法(総合)					
レポートによる。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022203177
開設科目名	数理情報特論Ⅱ			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	鷹岡 亮			区分	
授業の概要					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022203178
開設科目名	数理情報特講			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	北本 卓也			区分	
授業の概要					
数理情報学に関するトピックを選んで講義する。					
授業の一般目標					
数理情報学に関する理解を深める。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席状況、授業態度、レポート等から総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022204179
開設科目名	理科教育特論Ⅱ			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	阿部 弘和			区分	
授業の概要					
現代の科学教育や科学観に大きな影響を及ぼしている中立的科学観を創出したクーンのパラダイム理論を彼の原著を購読しながら学ぶ。また、中立的科学観に強く影響されている、グールドの著作もあわせて輪読し、中立的科学観から派生する彼の生命観などを指導する。なお、授業は輪読形式で行う。					
授業の一般目標					
論文や著作の内容を理解し、自分自身で問題点をみつけ、それを探求する科学的態度を育成する。また、レポート作成、授業内における発表などを通じて、科学的なスキルやコミュニケーション能力を修得する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
レポート、発表、授業への取り組み態度、出席状況などに基づき総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
E-mail habe@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022204180
開設科目名	理科教育特論演習			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	池田 幸夫			区分	
授業の概要					
1. 理科教育の現代的課題について、論文や著書の講読をおこない、理科教育に関する課題について討論などによって学習する。 2. 理科教育の統計的調査法について、演習によって学ぶ。					
授業の一般目標					
理科教育の現代的課題を理解し、その解決方法を探る。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 理科教育の考え方やデータ処理に関する基礎的知識の理解					
思考・判断の観点: 理科教育に関する諸問題を発見する力とそれを客観的かつ合理的に分析する力					
関心・意欲の観点: 課題に積極的に取り組む意欲					
態度の観点: 積極的かつまじめに取り組む					
技能・表現の観点: 統計的手法を活用することができる					
成績評価方法(総合)					
レポート授業への参加状況によって評価する					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022204181
開設科目名	物理学特論II			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	糸長 雅弘			区分	
授業の概要					
地球大気を含めた惑星間空間に生起するさまざまな自然現象は、その大部分が太陽から放射される電磁波のエネルギーとプラズマの流れ(太陽風)に起因している。最近では、地上からの宇宙観測に止まらず、観測衛星やロケットによって、遠く大気圏外の宇宙環境を直接に探査することが日常化している。本講義では、太陽から放出されるエネルギーが地球の超高層大気と電離圏、磁気圏、惑星間空間の宇宙環境をどのように決めているかを論じる。					
授業の一般目標					
宇宙環境を決定するメカニズムとその背後にある物理素過程を理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1. 宇宙環境を決定するメカニズムを説明できる。					
2. メカニズムの背後にある物理素過程を説明できる。					
思考・判断の観点: 1. 宇宙環境現象を物理的に思考できる。					
2. 宇宙環境現象にどのような物理法則が関わっているか判断できる。					
関心・意欲の観点: 1. 物の理(ものごと)に関心を持つことができる。					
2. 理科教育における宇宙環境科学の活用に意欲をもやすことができる。					
態度の観点: 1. 物理的な問題にも粘り強く取り組むことができる。					
2. 教育という視点で宇宙環境科学を考えることができる。					
技能・表現の観点: 1. 物事を論理的に説明することができる。					
成績評価方法(総合)					
授業外レポートと出席を総合的に評価する。出席率が80%未満の場合は、不合格になる。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
「物理学特論演習II」を併せて受講すること。					
連絡先					
E-mail: itonaga@yamaguchi-u.ac.jp, 電話: 083-933-5350, 研究室: 教育学部 224 号室					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022204182
開設科目名	物理学特論演習Ⅱ			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	糸長 雅弘			区分	
授業の概要					
コンピュータシミュレーションは、現代科学にとって、なくてはならない研究手段であり、宇宙環境科学においても、重要な役割を果たしている。また、シミュレーションの計算結果を目に見える形でわかりやすく表現する可視化も、その重要性が注目されている。宇宙環境科学におけるコンピュータシミュレーションと可視化について、実習を行う。					
授業の一般目標					
宇宙環境科学におけるコンピュータシミュレーションと可視化の技法を修得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1. コンピュータシミュレーションと可視化の技法を説明できる。					
2. シミュレーションの結果を解釈できる。					
思考・判断の観点: 1. 論理的な思考ができる。					
2. シミュレーションの結果について、その妥当性を判断できる。					
関心・意欲の観点: 1. いろいろなシミュレーション技法に関心を持つことができる。					
2. 新たなシミュレーション技法の開発に意欲をもやすことができる。					
態度の観点: 1. プログラミングの作業に粘り強く取り組むことができる。					
2. 教育という視点でシミュレーションを考えることができる。					
技能・表現の観点: 1. プログラムの簡潔な記述ができる。					
2. 読みやすいプログラムを記述できる。					
成績評価方法(総合)					
授業内レポートと課題を総合的に評価する。出席率が80%未満の場合は、不合格になる。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
「物理学特論Ⅱ」を併せて受講すること。自分の頭で考え、プログラミングに取り組むこと。					
連絡先					
E-mail: itonaga@yamaguchi-u.ac.jp, 電話: 083-933-5350, 研究室: 教育学部 224 号室					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022204183
開設科目名	化学特論Ⅱ			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	村上 清文			区分	
授業の概要					
生体における機能発現に重要な生体関連物質間の相互作用や身近な界面現象について、構造・熱力学・速度論等の物理化学的観点から、学習する。小中学校の理科における指導内容にも関連させて、学習する。					
授業の一般目標					
物質間の相互作用とその機能や界面で起こる多様な現象についての理解を深めるとともに、学校現場における指導に役立つ。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 物質間の相互作用や界面現象の諸事象を理解し、説明できる。					
思考・判断の観点: 物質間の相互作用や界面現象の諸事象について物理化学的観点からの見方ができる。					
関心・意欲の観点: 物質間の相互作用や界面現象の諸事象と理科教育との関わりに関心をもつ。					
成績評価方法(総合)					
授業への取り組みや課題レポートの内容によって評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022204184
開設科目名	化学特論演習 II			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	村上 清文			区分	
授業の概要					
生体関連物質間の相互作用や身近な界面現象の具体例を文献講読や実習を通して学び、理論的・実験的手法を習得する。					
授業の一般目標					
物質間の相互作用とその機能や界面で起こる多様な現象についての理解を深めるとともに、学校現場における実地指導に役立てることができるようにする。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 物質間の相互作用や界面現象の諸事象を理解し、説明できる。					
思考・判断の観点: 物質間の相互作用や界面現象の諸事象について物理化学的観点からの見方ができる。					
関心・意欲の観点: 物質間の相互作用や界面現象の諸事象と理科教育との関わりに関心をもつ。					
技能・表現の観点: 演習課題の遂行によって応用技能を身につけるとともにレポートとしてまとめることができる。					
成績評価方法(総合)					
授業への取り組みや課題レポートの内容によって評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022204185
開設科目名	生物学特論II			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	北沢 千里			区分	
授業の概要					
身近におこる生命現象について、その特性や機構について学習すると共に、生物の基本的な単位である細胞や個体の各レベルにおいて動物の系統進化や種の分化について学習する。					
授業の一般目標					
生物の特性を理解し、その進化過程に関する知識を習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 生物とは何かを理解し、説明できる。					
思考・判断の観点: 生物の系統や種分化について考察できる。					
成績評価方法(総合)					
レポート、発表、出席状況を総合的に判断し評価する。					
教科書					
無脊椎動物の多様性と系統／白山義久編:裳華房, 2005					
参考書					
ダイナミックワイド図説生物／石川統ほか編:東京書籍, 2004					
メッセージ					
連絡先					
E-mail: chisak@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
水曜日 13:00-14:30					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022204186
開設科目名	地学特論Ⅱ			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	千々和 一豊			区分	
授業の概要					
天然資源のうち有機燃料鉱床に関する基本的な事項を解説するとともに、野外観察・鏡下観察をとおして、化石燃料(石油や石炭)の特徴を学習する。					
授業の一般目標					
化石燃料の特徴と成因について理解を深めるとともに、化石燃料と我々生活との関わり、21世紀の課題の一つであるエネルギー問題を考察する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1.化石燃料の特徴・成因・地球科学的意義について説明できる。					
2.エネルギー問題の背景を説明できる。					
思考・判断の観点: 燃料・工業原料としての化石燃料は、一方で地球科学における様々な課題に対する情報源であるという見方・考え方ができる。					
関心・意欲の観点: 1.化石燃料の役割に興味をもち、積極的に調べようとする。					
2.学校教育の現場において、エネルギー問題の学習に有効な視点・教材を提供できる。					
態度の観点: 1.野外観察に参加し、化石燃料の産状を積極的に調べようとする。					
2.鏡下観察においては、様々な試料の観察を積極的に行なう。					
成績評価方法(総合)					
課題レポート、実習レポートを総合して評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
chijwa@yamaguchi-u.ac.jp 千々和研究室:教育学部4階					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022205187
開設科目名	音楽科教育特論演習 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	高橋 雅子			区分	
授業の概要					
本授業では、音楽科教育の基本的な文献の購読を通じて、今日の音楽科教育の現状及び問題を明らかにし、音楽科教育のあり方について考察する。					
授業の一般目標					
音楽科教育の基本的な問題を把握する能力の獲得、音楽教育についての基礎的な文献を読み込む力の獲得、その他					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 広く音楽科教育の理論について理解する。					
思考・判断の観点: 課題に沿った、適切なレポート作成をし、プレゼンテーションする。					
関心・意欲の観点: 課題に意欲的に取り組む。					
態度の観点: 遅刻・欠席厳禁。					
技能・表現の観点: プレゼンテーションにおける適切な表現。					
成績評価方法(総合)					
課題の達成度、レポート					
教科書					
参考書					
メッセージ					
自ら文献・論文を探して読み、レポートにまとめる力をつけて欲しい。					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022205188
開設科目名	器楽演習 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	西村 順子			区分	
授業の概要					
ピアノ作品の演奏において必要な表現技法や演奏解釈を、実践を通して探求する。					
授業の一般目標					
ピアノ演奏作品を最低1曲は演奏完成を目指す。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: ピアノ曲を技巧的な面だけでなく分析的な面から解釈できるようになる。					
関心・意欲の観点: 楽譜を出版社の角度から眺めることができる。					
技能・表現の観点: 楽譜の指示と作曲者の意図を十分に踏まえた演奏を目指す。					
成績評価方法(総合)					
授業態度と演奏に対する意欲、そして出席により評価					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
内線5363					
jun_n@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022205189
開設科目名	器楽演習Ⅱ			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	成川 ひとみ			区分	
授業の概要					
器楽特別研究Ⅱの演奏実践を行う。					
授業の一般目標					
器楽特別研究Ⅱをふまえて、ピアノ作品の時代様式の違いに着目しながら、演奏表現の実践を行う。この実践活動を通して、表現の多様性や可能性を幅広く探求する。					
授業の到達目標					
思考・判断の観点: 器楽特別研究Ⅱで学んだ音楽史上の知識を、演奏表現に生かす事ができる。					
関心・意欲の観点: 楽器の操作に留まらず、楽曲を分析し、楽曲に適した表現を工夫することができる。					
技能・表現の観点: 作品を、作曲者の意図を表出した状態で、演奏することができる。					
成績評価方法(総合)					
1. 作品を的確に表現するための、努力と技術力、及び応用力。					
2. 出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
nr1103@yamaguchi-u.ac.jp Tel. 083-933-5364					
オフィスアワー					
火～金曜日昼休み					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022205190
開設科目名	声楽演習			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	林 満理子			区分	
授業の概要					
この授業では、演技を取り入れた声楽のアンサンブルを行う。レベルに合わせた課題を教材として、歌詞の内容に沿った表現を音楽と演技の両方から探求する。授業の最後に発表を行う。発表は公開で行う場合がある。					
授業の一般目標					
音楽と演技を結びつけ表現ができる。 発表の場で、歌詞の内容に合わせた適切な表現ができる。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
毎回の授業への参加度、取り組み方、発表内容を併せ総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022205191
開設科目名	作曲特別研究			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	池上 敏			区分	
授業の概要					
<p>様々な作曲法について講義します。リズム、旋律、和声、対位法、音楽形式などの学習を基礎に、様々な形式の楽曲、様々な手法の作曲を考究します。学生の研究課題や内容により多少の変更もあり得ます。</p>					
授業の一般目標					
<p>西洋芸術音楽を基にした初歩的なものから始めて、様々な形式、様々な手法の作曲ができる能力の獲得、教材研究としての楽曲分析などができるようになることを目標とします。</p>					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 作曲法の様々な知識とその仕組みの理解。					
思考・判断の観点: 作曲における様々な事象に対する高度な判断力、思考力の育成。					
関心・意欲の観点: 作曲に対する強い関心と、積極的に作曲をしてみよう、という強い意欲の持続。					
態度の観点: 自分なりの表現、音楽を大切にし、積極的に作曲をしてみようという態度の保持、育成。					
技能・表現の観点: 作曲についての高度な技能の育成、表現の高度な練磨。					
成績評価方法(総合)					
<p>学期末に提出してもらう楽曲分析のレポートの内容と作曲理論の理解度を中心に評価。</p>					
教科書					
参考書					
メッセージ					
<p>音楽は感性のみによって、と捉えられ易いが、実は極めて精緻な論理体系をもっている。その理解があれば教材としての楽曲の見方も変わってくるはずで す。楽曲分析を主にして、様々な作曲法を考究します。</p>					
連絡先					
<p>音楽棟109研究室</p>					
オフィスアワー					
<p>新年度に時間割が決定後に通知します。</p>					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022205192
開設科目名	音楽学特論			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	斎藤 完			区分	
授業の概要					
基本的な音楽学の方法論を先行研究から学ぶ。					
授業の一般目標					
基本的な音楽学の方法論を身につける。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
発表、ならびに出席(積極的な発言)を重視する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
mnsaito@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
アポイント制					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022206193
開設科目名	美術教育特論演習 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	福田 隆真			区分	
授業の概要					
シンガポールの美術教科書を読み解く。					
授業の一般目標					
教育課程と教材の関係をシンガポールを例に考察することが出来る。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022206194
開設科目名	美術教育特論演習Ⅱ			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	吉田 貴富			区分	
授業の概要					
日米の美術教育ジャーナルに掲載された論文を講読することにより、最新の動向を把握し、今日の問題について考える。 対話的ギャラリートークの理論と方法を学び、演習を行う。					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
疾病等、特別な事情を除き、原則として欠席を認めない。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022206195
開設科目名	絵画演習			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	中野 良寿			区分	
授業の概要					
<p>絵画における古典技法の習得および表現の実習。絵画特別研究の内容を踏まえて、テンペラ技法を中心とした技法の応用・発展をともなう作品制作を行う。作品制作の主題は自主制作の主題にしたが、技法に関しては、油絵の具とテンペラ絵具を併用した混合技法を行う。また、水性、油性を問わないマチエール研究を行う。</p>					
授業の一般目標					
<p>絵画における古典技法の習得および表現の実習。 絵画特別研究の内容を踏まえて、テンペラ技法を中心とした技法の応用・発展をともなう作品制作ができる。 油絵の具とテンペラ絵具を併用した混合技法の性質を理解する。 水性および油性のマチエールのバリエーションをつくる事ができる。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 絵画における古典技法について、正しく理解し、経験を伴った知識をもつことができる。 思考・判断の観点: 素材の性質をよく理解し、正しい知識をもって混合液や溶剤をつくることができる。 絵画や芸術作品の組成を理解し、総合的に優劣の判断ができる。 関心・意欲の観点: 絵画や芸術における技法的な側面に意識的に関心をよせることができる。 態度の観点: 実習に使用する素材について積極的に取り扱うことができる。 技能・表現の観点: 絵画において適切な技法に関する知識をもち、創作的に作品制作の中に生かしてゆける。</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>実技内容を主体にした授業で、宿題・授業外レポート、授業態度・授業への参加度、受講者の発表(プレゼン)・授業内での制作作品、出席などから総合的に評価する。</p>					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
<p>nakano-y@yamaguchi-u.ac.jp 083-933-5366(中野) 090-9003-6944</p>					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022206196
開設科目名	彫刻演習			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	上原 一明			区分	
授業の概要					
創造的な彫刻表現の実践、及び制作技術や技法を学習する。石彫(ルートハンマー、ディスクグラインダー等石彫用機械の使用)、金属(アーク溶接の使用)、塑造用型取り(FRP、シリコン等)等、受講生のニーズに合わせて対応する。					
授業の一般目標					
より幅広い彫刻制作の技術・技法を習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 彫刻制作における道具類の知識を高め、その使用方法を理解する。道具を正しく操作・使用し、安全管理及び危機管理の方法を学習する。					
態度の観点: 共同作業における制作態度の重要性を学ぶ。					
成績評価方法(総合)					
出席状況や授業態度、作品制作状況と提出作品で評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
彫刻表現の世界を広げてください。					
連絡先					
上原研究室					
オフィスアワー					
水曜日 12:00～14:00					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022206197
開設科目名	デザイン演習			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	熊谷 武洋			区分	
授業の概要					
コンピュータ・グラフィックスおよびデジタル動画像を用いて視聴覚教材を想定した制作を行う。したがって芸術性ではなく有用性が評価の対象となる。また成果物だけではなくそれこいたる計画なども途中課題として学生自身によるプレゼンテーションを行う。					
授業の一般目標					
本講義は、コンピュータを駆使して視聴覚教材を制作できる、もしくはその工程を計画できる技術を修得し、その有用性や可能性についても理解を深めることを目標としている。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 画像情報処理の基本技術、概念、有用性、社会性について自分自身の視座を獲得しているか					
思考・判断の観点: 与えられた条件から有用性のある成果物を計画・制作できるか					
技能・表現の観点: 自分が策定した計画にしたがってコンテンツ(含視聴覚教材)を完成レベルにまで制作できるか					
成績評価方法(総合)					
課題を中心に、専門知識の理解度、受講態度を含めて総合的に判断する					
教科書					
参考書					
メッセージ					
作品自体の完成度もさることながら成果物が自分の立場や考え方の中にきちんと位置付けられていることが重要です。					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022206198
開設科目名	工芸演習 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	吉賀 将夫			区分	
授業の概要					
総合的な工芸の観点から陶芸をとらえ、陶芸の制作を行う。					
授業の一般目標					
総合的な工芸の観点から陶芸をとらえ、陶芸の制作を行い、作品を完成する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022206199
開設科目名	工芸演習Ⅱ			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	河野 令二			区分	
授業の概要					
ものに関わる様々な要素、条件を理解し、工芸の制作および考察を行う。					
授業の一般目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・機能性、社会性、環境等のものである複合的な要素を理解する。 ・制作について、広い視野から考察し、報告をする。 					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: ものに関わる様々な要素、条件を理解する。					
思考・判断の観点: ものに関わる様々な要素、条件をデザインに生かし、制作をする。					
関心・意欲の観点: 材料の加工に実験的に望み、その可能性を確かめる。					
態度の観点: 課題を明らかにし、主体的に取り組む。					
技能・表現の観点: 豊かな発想と構想力を持った制作し、その成果を報告する。					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022206200
開設科目名	美術史演習			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	菊屋 吉生			区分	
授業の概要					
受講生の研究領域に対応したテーマを設けて、研究発表形式で授業をもち、討論、討議も行う。					
授業の一般目標					
(1)設定したテーマに対する研究方法の見極めと、アプローチの仕方を検討する。					
(2)修士論文作成を念頭に、問題点の整理と分析を深める。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 自らの研究テーマの全体を把握し、的確な知識と理解のもと、他者への説明が簡潔になされることをめざす。					
思考・判断の観点: 研究テーマの確立と、その研究のための基礎的な考え方の方向性の確立をめざす。					
関心・意欲の観点: 史料の研究、探索に関して意欲的なあり方を期待したい。					
態度の観点: 授業内での積極的な発言を期待したい。調査研究への真摯な態度も期待したい。					
技能・表現の観点: 的確なプレゼンテーション能力の獲得をめざす。					
成績評価方法(総合)					
プレゼンテーションの内容、その精緻さを評価したい。またゼミでの発言、質問の内容等も評価の対象としたい。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
修士研究に向けて、それぞれの専門分野に対する美術史的観点からのアプローチを試みてほしい。					
連絡先					
kikuya@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022206201
開設科目名	美術教育支援実践研究			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	福田 隆真			区分	
授業の概要					
美術教育の実践を学校教育以外で実施する。その目的、方法、発展について考察する。					
授業の一般目標					
社会的場面における美術教育の意義と方法を理解する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022207202
開設科目名	体育科教育特論演習 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	海野 勇三			区分	
授業の概要					
体育科教育特論Ⅱで子どもの生活スタイルと発達状況に関する先行研究の考察を踏まえて、実際に研究課題を絞って調査票を作成し、実態調査を試みる。そして、調査結果を分析・考察する。					
授業の一般目標					
各自の設定したテーマについて、先行研究を踏まえて必要な調査方法を構成し、実施する。また調査結果を分析・考察することを通して、テーマについての理解を深める。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 先行研究を踏まえて、適切な調査方法を構成できる。調査結果を先行研究のそれと関連で適切に解釈することができる。					
思考・判断の観点: 先行研究を踏まえて、適切な研究デザインを構想することができる。					
技能・表現の観点: 調査で得られたデータを統計的手法を用いて適切に処理し、分析することができる。各自の研究成果をレポート・口頭発表でわかりやすく表現することができる。					
成績評価方法(総合)					
調査計画－実施－分析と考察の過程、および、調査報告レポートの完成度により総合的に評価する					
教科書					
参考書					
メッセージ					
自分で調査を試みる経験を通じて、実証的研究の方法論を習得してください。					
連絡先					
yunno@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022207203
開設科目名	体育学特論演習			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	池田 恵子, 上地 広昭			区分	
授業の概要					
現代スポーツ事象における主要な問題を取り上げ、関連文献の講読を通して現代的視角を深める。哲学・歴史学的アプローチ、心理学的アプローチのどちらかを選択し、それぞれの授業教室において演習形式で行う。					
授業の一般目標					
体育学特論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲにおける学習をふまえ、学術論文の読解、ディスカッションを通して体育・スポーツが直面している哲学・歴史学的および心理学的問題を理解する。それぞれの学術的方法論を通して現代的な研究視角を認識し、関連事象を理論的に説明できるようになる。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 学術論文を正確に読解することができる。					
先行研究の研究方法に即して、内容を適切に集約し、説明することができる。					
思考・判断の観点: 学術論文の方法論を自らの関心に引き付けて再構成し、発展的テーマの可能性および限界点を指摘することができる。現代的視点から論文の意味について思考を深めることができる。					
関心・意欲の観点: 主体的に演習テーマに即した文献を収集し、参照することができる。					
ディスカッションに加わり、質疑に対応することができる。					
技能・表現の観点: ポイントを整理し、プレゼンテーションすることができる。					
成績評価方法(総合)					
授業参加時の演習およびレポートにより評価する。					
教科書					
多様な身体への目覚め—身体訓練の歴史に学ぶ—/山本徳部・杉山重利監修、阿部生雄・山田理恵・榎原浩晃編著:アイオーエム, 2006					
いま奏でよう、身体のシンフォニー—身体知への哲学・歴史学的アプローチ/小田切毅—監修、三井悦子・池田恵子編著:叢文社, 2007					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
哲学・歴史学的アプローチ:研究室直通電話 933-5381、176 池田研究室、E-mail:kikeda@yamaguchi-u.ac.jp					
心理学的アプローチ:研究室直通電話 933-5379、上地研究室、E-mail:uechi@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
随時					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022207204
開設科目名	運動学特論演習			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	塩田 正俊			区分	
授業の概要					
運動学特論(主に心肺機能系)の発展として、自己研究課題を選び、それについて理解を深める。					
授業の一般目標					
運動学特論(主に心肺機能系)の発展として、自己研究課題を選び、それについて理解を深め、教育指導の素養を養う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1.運動時における心肺機能系の反応および調節機序について理解を深める。					
思考・判断の観点: 1.運動の種類による運動時の心肺機能系の反応および調節機序の違いを説明できる。					
関心・意欲の観点: 1.運動時における心肺機能系の反応および調節機序について関心を持つ。					
成績評価方法(総合)					
2/3 以上出席が単位認定のための最低必要条件である。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
運動学特論Ⅱを履修していることが望ましい。					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022207205
開設科目名	体力学特論II			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	杉浦 崇夫			区分	
授業の概要					
運動を行動体力の面から捉え、トレーニング法について、特に骨格筋の生化学的特性から論じる。					
授業の一般目標					
最新の論文を講読することにより骨格筋の生化学的特性を理解し、骨格筋の生化学的变化からトレーニングの特性を理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 骨格筋の生化学的特性やトレーニングによる変化を説明できる。					
思考・判断の観点: 骨格筋の生化学的特性について機能と関連づけて考えることができる。					
関心・意欲の観点: 当該分野における最新の知見を得ることに努める。					
態度の観点: 最新の文献について、背景等も含めて発表することができる。					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
E-mail takahito@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
随時					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022207206
開設科目名	学校保健特論演習			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	友定 保博			区分	
授業の概要					
子どもの健康管理や健康相談活動の視点・内容・方法について学習する。特に子ども・青年の健康や発達にかかわる健康相談実践事例をとりあげ、検討する。					
授業の一般目標					
子どもの健康管理や健康相談活動の視点・内容・方法について理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 子ども理解のための内容・方法を習得する					
思考・判断の観点: 子ども理解へのアプローチを修得する					
関心・意欲の観点: 共同作業ができるようにする					
成績評価方法(総合)					
授業内レポート30%、授業外レポート15%、授業内制作25%、定期試験30%					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
tomo-y@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022207207
開設科目名	健康処方特論演習			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	丹 信介			区分	
授業の概要					
健康の維持増進という点からみた生活習慣、なかでも身体活動と食生活に関する日常生活における評価の仕方と具体的改善方法に関して演習、実習形式で授業を行う。後半は、健康と生活習慣に関する文献をもとに、ディスカッションを行う。					
授業の一般目標					
健康の維持増進という点からみた生活習慣、なかでも身体活動と食生活に関する日常生活における具体的な評価の仕方と具体的改善方法に関して、演習、実習をまじえた授業を通じて理解すると共に、それを実践できる能力を身につける。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 身体活動と食生活に関する日常生活における評価の仕方と具体的改善方法を説明できる。					
思考・判断の観点: 日常生活における身体活動と食生活に関して実際に評価し、その具体的改善方法を提示できる。 生活習慣に関する文献を紹介、解説し、ディスカッションを行うことができる。					
関心・意欲の観点: 生活習慣の評価、改善方法に関心を持つ。					
技能・表現の観点: 日常生活における身体活動と食生活に関して実際に評価し、その具体的改善方法を提示できる。 生活習慣に関する文献を紹介、解説し、ディスカッションを行うことができる。					
成績評価方法(総合)					
小テスト/授業内レポート = 20%未満					
宿題/授業外レポート = 30%					
授業態度や授業への参加度 = 20%未満					
受講者の発表(プレゼン)や授業内での製作作業(作品) = 30%					
出席=欠格条件					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
tan@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
月曜日 13:00-14:00					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022208208
開設科目名	電子回路特論			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	古賀 和利			区分	
授業の概要					
コンピュータで時間波形を扱うための A/D 変換、D/A 変換の技術について、実際の回路作製も含めて学習する。					
授業の一般目標					
コンピュータの機械語と入出力ハードウェアに関するプリント、および A/D 変換 D/A 変換の原理に関する解説書を読んで理解するとともに、実際に D/A 変換回路を作成して信号を取り込む。また、D/A 変換回路を利用し、ソフト的に A/D 変換器を実現し、コンピュータへの信号の入出力の方法を理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1. 機械語を通してコンピュータ動作の理解を深める					
2. ラダー型 D/A 変換回路を理解する					
3. 逐次比較型 A/D 変換の原理を理解する					
思考・判断の観点: 1. D/A 変換器を通して信号を取り込むプログラムが作成できる					
2. 理解した A/D 変換の原理をプログラムにより実現できる					
成績評価方法(総合)					
ゼミ形式の発表とレポートによる。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022208209
開設科目名	情報処理特論			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	中田 充			区分	
授業の概要					
詳細は、初回授業時に面談をして決定する。					
授業の一般目標					
学部の授業内容を前提として、より高度な情報処理技術の習得を目指す。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
レポートにて評価					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022208210
開設科目名	電子計算機特論			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	古賀 和利			区分	
授業の概要					
ノイマン型電子計算機のハードウェアを中心に、オペレーティングシステムとの関連を、ゼミ形式で学習する。					
授業の一般目標					
現在のコンピューターのプログラム実行過程のイメージをハードウェアの構造とともに理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 電子計算機の動作を入出力動作を含めて、機械語レベルの手続きとして理解できる。					
成績評価方法(総合)					
レポートとゼミ発表での理解力による。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022208211
開設科目名	情報システム特論 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	中田 充			区分	
授業の概要					
情報システムの構築について学習する。					
授業の一般目標					
情報システムの構築に関する知識を習得し、実際に構築を行うことができる。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 情報システムの構築に関する知識を持っている。					
技能・表現の観点: 内容の適切な説明や表現					
成績評価方法(総合)					
レポートにて評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022208212
開設科目名	技術科教育特論演習			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	阿濱 茂樹			区分	
授業の概要					
技術科教育の教育方法, 教材などに関する研究成果や実践事例などについての文献講読および演習を行う。					
授業の一般目標					
技術科教育に関する課題について主体的に考えることができ, 研究方法についての理解をする。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 技術科教育に関する課題について理解が出来る。					
思考・判断の観点: 技術科教育に関する調査や実験について適切な方法を考えることができる。					
関心・意欲の観点: 技術科教育に関する課題について主体的に取り組むことができる。					
技能・表現の観点: 技術科教育に関する課題について妥当な解決法を説明できる。 主体的に先行研究を検索することができる。					
成績評価方法(総合)					
課題に対するレポートを課す。また、発表や演習も行う。これらにより評価する。出席が所定の回数に達しない者には単位を与えない。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
文献などは受講生の希望を重視する。					
連絡先					
オフィスアワー					
随時受け付け(研究室)					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022208213
開設科目名	技術科教育支援研究II			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	岡村 吉永			区分	
授業の概要					
技術科の教育効果を高めるために必要な事項、特に教材・教具について、その具備すべき条件を明らかにするとともに、開発や使用にあたっての課題を検討する。					
授業の一般目標					
技術科における教材・教具の意味や具備すべき条件について説明することができる。また、その開発や使用にあたって留意すべき点を指摘できる。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 教科の指導に必要な知識を有し、その意義や特徴について正しく理解している。					
思考・判断の観点: 教科の置かれた現状を正しく認識し、課題とその対策について思考・判断することができる。					
関心・意欲の観点: 教育を取り巻く環境や、技術的な動向について関心をもち、主体的に学ぶ意欲を有している。					
態度の観点: 主体的・実践的に課題に取り組もうとしている。					
技能・表現の観点: 技術教育の課題を解決するために必要な技術的能力を有している。また、課題や成果を客観的かつ分かりやすく整理し、表現することができる。					
成績評価方法(総合)					
技術教育の特徴や意義を正しく理解しているか。また、教科の置かれた現状を正しく理解し、指導を拡充するために必要な方策を提案し、実践的にこれを具現化することができる。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
技術科指導上の問題点を解決するための教材・教具の開発を想定しています。					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022208214
開設科目名	機械情報工学特論Ⅱ			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	森岡 弘			区分	
授業の概要					
機械情報工学特論Ⅰで修得した、メカトロニクスの基礎とマイコンを用いた機械システム(ロボット等)の計測・制御技術をもとにして、赤外線通信による遠隔操作可能なマイコン搭載ロボットの設計製作を行う。					
授業の一般目標					
マイコン搭載ロボットの設計製作を行い、特に機械関連のものづくりに必要となる総合的な設計製作能力を習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: ロボットの設計製作を通して、中学校技術科教員に必要と考えられるメカトロニクスの基礎とロボットの遠隔操作技術の習得を目指す。					
関心・意欲の観点: ものづくりに関して関心を高め、みずからの手を使って製作に積極的に参加できるようになることを目標とする。					
技能・表現の観点: マイコン搭載ロボットの設計製作を行い、特に機械関連のものづくりと計測制御に必要となる総合的な設計製作能力を習得する。					
成績評価方法(総合)					
成績評価はレポート(製作品を含む)、授業態度・授業への参加度を総合的に評価して行う					
教科書					
参考書					
PIC マイコンではじめる作って遊べるロボット工作／後閑哲也:技術評論社					
ロボット改造工作マニュアル②／後閑哲也:技術評論社					
メッセージ					
連絡先					
E-mail:morioka@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
木1, 2					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022208215
開設科目名	情報通信ネットワーク特論			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	葛 崎偉			区分	
授業の概要					
<p>本科目では、情報通信ネットワークの原理・仕組み、情報通信ネットワークの構築・管理、さらに情報通信ネットワークの運用に関するセキュリティについて論じる。また、学校現場を想定した、情報通信ネットワークの設計、構築などを行う。</p>					
授業の一般目標					
<p>情報通信ネットワークの知識や技術を身につけさせ、ネットワーク構築の実践力を高めると同時に、学校現場で求められる情報教育の資質を高めることを目標とする。</p>					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
<p>授業内外のレポートを中心に評価する。</p>					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022208216
開設科目名	視覚情報処理特論			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	熊谷 武洋			区分	
授業の概要					
マルチメディアをはじめとする各種画像を計算機上で扱うための理論や技術に関して講義を行う。加えて、実際の応用事例や作品などの鑑賞をビデオ、ネットなどの各メディア、および山口情報芸術センターにて行う。					
授業の一般目標					
画像情報処理に関わる技術について学習し、最新の映像資料を鑑賞することにより、教育分野における視聴覚教材としての有用性、活用法について理解を深める。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 講義において説明した概念を、別の用語を用いて説明できるか					
関心・意欲の観点: 当該分野における表現技術に関する知識欲があるか					
態度の観点: 積極的に自主学習、技術情報収集、作品閲覧等を行っているか					
成績評価方法(総合)					
課題を中心に、専門領域の置ける理解度を含め総合的に判断する					
教科書					
参考書					
メッセージ					
復習を積極的に行うこと					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022208217
開設科目名	情報産業職業特論			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	永久 洋治			区分	
授業の概要					
コンピュータやインターネットが我々の生活, ビジネス, 労働環境や価値観をどのように変えたか, どのように支えたか等を事例を検証しながら学習する.					
授業の一般目標					
情報化社会後, 社会形態が急激に変化したことを認識すること.					
授業の到達目標					
思考・判断の観点: 新たに成り立つようになるビジネスと成り立たなくなるビジネスを見極める力を付ける.					
成績評価方法(総合)					
事前調査の程度, 授業態度, プレゼンおよび定期試験で評価する.					
教科書					
情報と職業/駒谷昇一, 辰巳丈夫, 楠元範明:株式会社オーム社, 平成 14					
参考書					
メッセージ					
調査は詳しく, プレゼンは短く					
連絡先					
y_nghs69@c-able.ne.jp					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022208218
開設科目名	情報科教育実践研究			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	葛 崎偉			区分	
授業の概要					
<p>本科目では、情報機器や情報通信ネットワークを活用した情報科教育法を主眼に置き、情報及び情報技術の教育に関する課題を予め設定し、その課題を解決するための教育法を検討する。さらに PowerPoint やホームページなどを用いて、検討した教育法に関するプレゼンテーションを行う。</p>					
授業の一般目標					
<p>情報機器や情報通信ネットワークを活用した情報科教育法の実践研究を行うことにより、情報科教育に必要な不可欠な情報の収集・処理・発信の能力を高めることを目標とする。</p>					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
<p>授業内外のレポートを中心に評価する。</p>					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022208219
開設科目名	工業材料特論Ⅱ			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	澤本 章			区分	
授業の概要					
金属材料は近代文明を支えており、構造用材料としても多く活用されている。構造用材料として使用する場合には、安全性の観点から、その機械的性質を十分に把握する必要がある。そこで、工業材料として用いられている金属材料の機械的特性(疲労、摩耗、曲げ強さ、硬さ、衝撃強さ、クリープ、非破壊検査)について概説する。また、情報機器材料、プラスチック、セラミックス複合材料の摩耗特性についても解説する。					
授業の一般目標					
工業材料として用いられている金属材料の機械的特性(疲労、摩耗、曲げ強さ、硬さ、衝撃強さ、クリープ、非破壊検査)を理解する。また、情報機器材料、プラスチック、セラミックス複合材料の摩耗特性についての知見を得る。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
授業への出席状況(25%)、授業態度(5%)、レポート(70%)により総合評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
社会問題となっている金属疲労、金属摩耗などについても解説します。この他、金属材料の性質を把握するために、工業的に行なわれている評価方法、検査方法を知ることが出来ます。また、情報機器、プラスチック、セラミックス材料の使用にもなって生ずる摩耗についても学習します。					
連絡先					
〒753-8513 山口市吉田 1677-1 山口大学教育学部技術教育金属加工澤本章 TEL/FAX083-933-5395、E-mail: sawamoto@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
水曜日 10:20～11:50					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022209220
開設科目名	家庭科教育特論演習 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	入江 和夫			区分	
授業の概要					
家族問題と生活環境問題について説明し、調査や実験を通して課題を追求する。					
授業の一般目標					
家族問題解決に向けた調査研究を行うとともに生活の何がどのような環境汚染を導き、それが我々の健康にどのような影響を与えるのかを実験を通して理解する					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 家族問題の内容や環境汚染の要因と生活環境について説明できる					
思考・判断の観点: どのように家族問題や生活環境を改善したらよいか判断できる。					
態度の観点: 家庭生活を家族問題や環境保全の観点から改善しようとする。					
成績評価方法(総合)					
課題に対してプレゼンや教材作成の結果や演習の結果を併せて評価する					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					
水曜日					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022209221
開設科目名	家庭科教育特論演習Ⅱ			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	西 敦子			区分	
授業の概要					
家庭科教育特論Ⅱで学習したことを基に授業課題を設定し、小・中・高等学校の家庭科カリキュラムと授業計画についてレポートする。					
授業の一般目標					
小・中・高等学校の家庭科カリキュラムと授業計画を作成することが出来ることを目標とする。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 家庭科のカリキュラム構成と授業計画について理解したか。					
思考・判断の観点: 授業課題に沿って、小・中・高等学校の家庭科のカリキュラムと授業計画を作成することが出来たか。					
関心・意欲の観点: 意欲をもって家庭科のカリキュラムと授業計画作成に臨んだか。					
態度の観点: 授業態度は真面目であったか。					
技能・表現の観点: 分かりやすいカリキュラムと授業計画が作成出来たか。 分かりやすい発表であったか。					
成績評価方法(総合)					
レポート内容及び発表、出席状況を勘案して行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
家庭科教育特論Ⅱを履修していること					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022209222
開設科目名	食物流特論演習 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	山田 次郎			区分	
授業の概要					
この授業では、主に食品の安全性について、国内外の文献を中心に、幅広く情報を収集し、その分析を行う。また、学校現場で利用可能な安全性に関する簡単な実験教材開発などの実験、演習を行う。					
授業の一般目標					
食品の安全性について、基本的な考え方をもち、それを学校教育現場における指導に生かすことができる					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 食生活上の安全性に関する諸問題を正しく理解できる					
思考・判断の観点: 氾濫する多くの情報に対して正しく対処できる					
関心・意欲の観点: 食生活上の安全性の諸問題に常に高い関心を持っている					
態度の観点: 食生活改善に向けての指導に努力できる					
成績評価方法(総合)					
毎回の授業での討議、議論における態度、熱意等およびレポートで総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
食物流特論 I を履修しておくことが望ましい。					
連絡先					
内線 5407					
オフィスアワー					
随時					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022209223
開設科目名	食物理学特論演習Ⅱ			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	五島 淑子			区分	
授業の概要					
食文化・食物史に関する内外の文献の購読を行い、文献に記載された食物や料理について食物理学の視点から検討する。またそれらに基づいて、調理実習や食品加工実習を行う。授業は、テーマを決めて発表、それに引き続き実習、そして考察を行う。					
授業の一般目標					
食文化、食生活史の視点から、食物や料理についての知識を深める。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1食物や料理について、理解を深める。					
思考・判断の観点: 1食品の適切な取り扱いができる。					
関心・意欲の観点: 1テーマを決めて調べて、報告する。 2食生活の変遷、食文化への関心を持つ。					
態度の観点: 1調理実習に積極的に参加する。					
その他の観点: 1実習を行う場合は安全に行うよう留意する。					
成績評価方法(総合)					
レポート、発表、授業への参加度を総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
内容は、受講生との話し合いにより、変更を加えることがある。					
連絡先					
goto@yamaguchi-u.ac.jp@					
オフィスアワー					
金曜日 16:10～17:40					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022209224
開設科目名	被服学特論演習			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	星野 裕之			区分	
授業の概要					
繊維材料、染色についての文献を購読し、衣料以外への利用の拡大、リサイクル、環境汚染等の問題点について討議する。					
授業の一般目標					
繊維製品の最新技術と利用の拡大を知り、環境問題に絡めて、今後繊維製品がどのように発展すべきかについて自ら考える力を身につける。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 繊維製品のグローバルな用途について説明できる。					
思考・判断の観点: 繊維製品の環境への影響を考えることができる。					
成績評価方法(総合)					
毎回のレポート提出、課題への取り組み方、討論の参加度で評価する。					
教科書					
参考書					
ニューフロンティア繊維の世界／本宮達也・梶原莞爾著:日刊工業新聞社, 2002					
おもしろいバイオ新素材のはなし／松永是・本宮達也著:日刊工業新聞社, 1996					
環境科学(改訂版)／西村雅吉著:裳華房, 1998					
メッセージ					
連絡先					
E-mail: hhoshino@yamaguchi-u.ac.jp					
研究室:教育学部 300 号室					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022209225
開設科目名	住居学特論演習			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	山本 善積			区分	
授業の概要					
住居学関連の内外の文献講読や住居及び地域空間に関する調査演習を通して、生活と空間の課題について検討する。					
授業の一般目標					
各自がテーマを設定して、それに関する調査を行い、発表・討議することを通して、テーマについて理解を深めるとともに、調査の進め方、結果の考察方法、討議による理解の深め方を修得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1. 設定したテーマに関する先行研究や関連研究などの状況と問題を説明できる。					
思考・判断の観点: 1. テーマについて、調査結果に基づいて、自らの考えを論理的に述べることができる。					
関心・意欲の観点: 1. 他の人のテーマに冠する討議にも参加し、意見を述べることができる。					
成績評価方法(総合)					
調査と結果の整理、発表と討議への参加状況、及びテーマに関する考察のレポートにより評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022209226
開設科目名	保育学特論演習 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	友定 啓子			区分	
授業の概要					
受講生の研究テーマと関連させて、保育文献を読む。					
授業の一般目標					
先行研究・文献を理解し、要約する力をつける。自分の研究テーマで、ゼミ報告、プレゼン等を行い、保育記録の考察、資料の分析のしかた、まとめ方などについて力量をつける。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 先行研究・関連文献の内容を理解できる					
思考・判断の観点: 先行研究・関連文献について、自分なりの位置づけができる。					
技能・表現の観点: 自分の研究内容をわかりやすく表現できる					
成績評価方法(総合)					
論文・文献に関するレポートおよび、保育参加観察レポートおよび演習について総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
友定啓子					
オフィスアワー					
水 12:00-12:50					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022210227
開設科目名	英語科教育特論演習 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	猫田 和明			区分	
授業の概要					
この授業では英語教育に関するテキスト(英文)を読み進めながら解説を加える。受講者には担当箇所について内容をまとめ、プレゼンテーションをしてもらいます。					
授業の一般目標					
英語の教授・学習に関わる専門的な知識を深めるとともに、英語教育の諸問題における意識を高め、専門的な知識を活用して論理的に問題解決を図る力を養う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 英語教育に関する高度な知識をもち、英語教育の諸問題について理解している。					
思考・判断の観点: 英語教育に関する高度な知識を活用し問題解決を図ることができる。					
関心・意欲の観点: 英語教育の諸問題について関心をもち、明確な問題意識をもっている。					
技能・表現の観点: 英文で書かれた専門書の内容を正しく読み、相手にわかりやすく伝えることができる。					
成績評価方法(総合)					
プレゼンテーションの内容、期末レポートにより評価する。					
教科書					
The Practice of English Language Teaching / Jeremy Harmer: Longman, 2007					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
nekoda@yamaguchi-u.ac.jp 933-5417 研究室(教育 A354)					
オフィスアワー					
特に設けていません。時間が空いていればいつでも相談にのります。まずはメールください。					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022210228
開設科目名	英語科教育特論演習Ⅱ			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	高橋 俊章			区分	
授業の概要					
英語教育および(応用)言語学、(認知)心理学、第2言語習得研究等の研究成果を踏まえ、英語教材を文法、語彙、言語機能、題材文化等の観点から学習する。					
授業の一般目標					
英語教育および(応用)言語学、(認知)心理学、第2言語習得研究等の研究成果を踏まえ、英語教材を文法、語彙、言語機能、題材文化等の観点から分析・考察することが出来る。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
発表の内容とテストの成績によって評価を行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022210229
開設科目名	英語学特論演習 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	松谷 緑			区分	
授業の概要					
現代英語の背景を考察しながら、個別の言語現象を観察し、分析を行う。必要な知識を補強するための文献講読を行う一方、具体的な言語事象を分析・説明する演習をおこなう。					
授業の一般目標					
英語学上の諸問題について、正しく観察し、分析する。言語事実を踏まえた演習を通して、諸規則の綿密な観察ができること、英語を外国語として学ぶ学習者の疑問に答えられる知識と能力を培うことを目的とする。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 内外の論文を講読して、その方法論や内容を理解できる。英語学上の諸問題について、正しく観察し、分析するための考え方が理解できる。					
思考・判断の観点: 英語学上の諸問題について、正しく観察し、分析できる。言語事実を踏まえ、諸規則の綿密な観察ができる。					
関心・意欲の観点: 英語学上の諸問題について、主体的に考えることができる。					
態度の観点: 学習のための時間を自ら積極的に作り出すとともに、学習を進めるにあたって生じる諸問題の解決に向けて自主的に取り組むことができる。					
技能・表現の観点: 理解した内容を適切な方法・表現でわかりやすく説明できる。英語学上の諸問題に関連した調査を適切に実践できる基本的な能力を身につける。					
成績評価方法(総合)					
毎回の授業の取り組み・発表と期末のレポートとの総合評価					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
mmatsu@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022210230
開設科目名	英米文学特論演習 I			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	未 定			区分	
授業の概要					
<p>「英米文学特論 I」と同じく、アメリカ・ルネサンス期の文学の中から、Herman Melville を取り上げます。Thoreau と関連させる意味で、Melville 作品の中から非「暴力」を描いた短編“Bartleby the Scrivener”を読んでいきます。Thoreau が非「暴力」を提唱する側だったとすれば、この短編はその非「暴力」を行使される側の物語と言えます。この非「暴力」は、「暴力」とはなり得ないのか、或いは「暴力」となり得るのか、を探っていきます。</p>					
授業の一般目標					
<p>「英米文学特論 I」と同じく、アメリカ的「暴力」の表れを探っていきます。</p>					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
<p>出席(20%)と授業内での発表(40%)及び授業外レポート(40%)などにより総合的に評価します。</p>					
教科書					
参考書					
<p>Billy Budd, Sailor and Selected Tales, Ed. by Robert Milder / Herman Melville: Oxford World Classics, 1997 「書写人バートルビー——ウォール街の物語」 柴田元幸訳 『モンキー・ビジネス』 2008 Spring Vol. 1 / ハーマン・メルヴィル: ヴィレッジブックス, 2008 『乙女たちの地獄 I』 杉浦銀策訳 / H. メルヴィル: 国書刊行会, 1983</p>					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022210231
開設科目名	英米文学特論演習Ⅱ			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	増田 勉			区分	
授業の概要					
前期に読み始めた英国エリザベス朝の悲劇(あるいは小説家の散文)を続けて読む。					
授業の一般目標					
1. 更なる英語力を養う。 2. 言葉に対する感覚を磨く。 3. 文学の鑑賞力を養う。 4. 教師として大切なものは何であるかを問い直す。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 作家の置かれた時代背景を知る、作家を知る、作品を知る。					
思考・判断の観点: 作品の中の個々の表現が創出されたその必然性を考量しながら読む。					
関心・意欲の観点: 同作家の他の作品も読んでみる。					
態度の観点: あたった者以外は暇、というのではなく、全員コミット型の授業になるようにしたい。					
技能・表現の観点: 作品の内容・思想・感情・イメージを伝達するための便宜的手段として日本語への翻訳を試みているが、その際安易な言語意識でなく研ぎ澄まされた言語感覚で臨むようになることを期待したい。					
成績評価方法(総合)					
授業中の発表、熱意、試験得点、出席状況、レポート等を総合して評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
楽しくて知的な授業になればいいと思っています。					
連絡先					
個人情報なので授業で伝達します。					
オフィスアワー					
非常勤講師なのでオフィスアワーは設定できません。					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	2022210232
開設科目名	比較文化学特論			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	北西 功一			区分	
授業の概要					
アフリカの言語や文化を通して異文化に対する態度を養う。					
授業の一般目標					
アフリカの地域共通語であるリンガラ語の初歩を理解するとともに、リンガラ語を話す人たちの文化に触れる。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: リンガラ語の初歩的な文法を理解する。リンガラ語を通して中部アフリカの文化を知る。					
関心・意欲の観点: 異文化理解に関心を持つ。					
態度の観点: 異文化を持つ人たちに対して偏見を持たずに接することができるようになる。					
成績評価方法(総合)					
授業時における理解度や授業での態度に基づいて評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
kitanisi@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
随時					